

錦町1号公園整備工事

設計図

令和8年4月

蕨市 都市整備部 道路公園課

図面目録

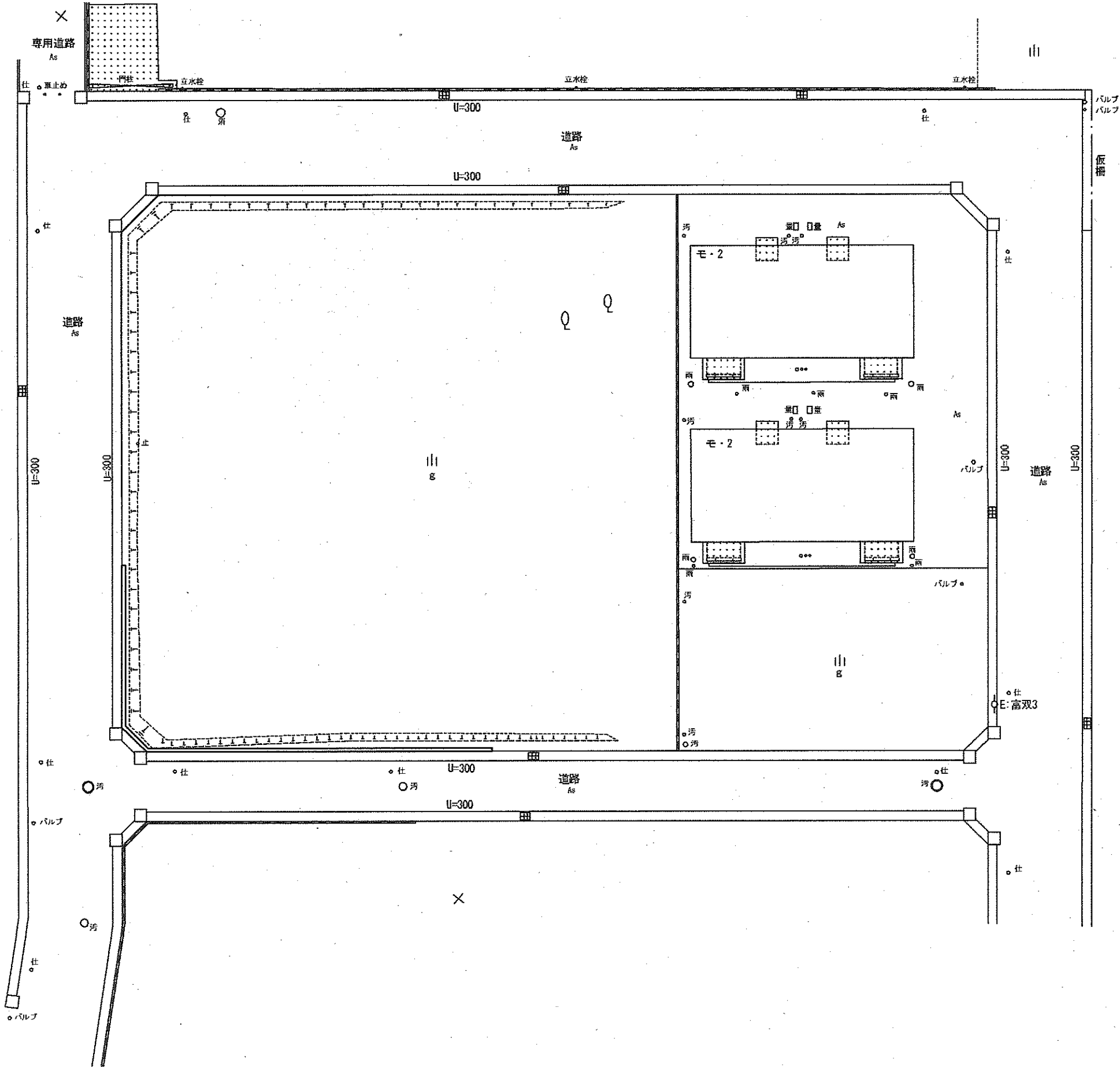
図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	備 考
01	案内図	S=1:10000	
02	現況平面図	S=1:250	
03	求積図	S=1:250	
04	計画平面図	S=1:250	
05	造成平面図	S=1:250	
06	造成断面図 (1)	S=1:200	
07	造成断面図 (2)	S=1:200	
08	割付平面図	S=1:250	
09	園路広場平面図	S=1:250	
10	施設平面図	S=1:250	
11	給水設備平面図	S=1:250	
12	雨水排水設備平面図	S=1:250	
13	汚水排水設備平面図	S=1:250	
14	電気設備平面図	S=1:250	
15	植栽平面図	S=1:250	

図面番号	図面名称	縮尺 (A3)	備 考
16	詳細図 (園路広場)	図 示	舗装、縁石類 視覚障害者用誘導ブロック
17	詳細図 (給水設備)	図 示	止水栓、縦断断面
18	詳細図 (雨水・汚水排水設備) (1)	図 示	浸透枳、汚水管、雨水管、U形側溝 横断側溝、碎石層
19	詳細図 (雨水・汚水排水設備) (2)	図 示	汚水枳、雨水枳
20	詳細図 (電気設備) (1)	図 示	公園灯、ハンドホール
21	詳細図 (電気設備) (2)	図 示	引込柱、分電盤、制御回路図 単線結線図
22	詳細図 (サービス施設) (1)	図 示	水飲み
23	詳細図 (サービス施設) (2)	図 示	立水栓
24	詳細図 (サービス施設) (3)	図 示	手足洗い場
25	詳細図 (サービス施設) (4)	図 示	防災ベンチ、ベンチ
26	詳細図 (管理施設) (1)	図 示	フェンス、落ち葉集積コンポスト
27	詳細図 (管理施設) (2)	図 示	車止め、二脚鳥居 (添木付)
28	詳細図 (管理施設) (3)	図 示	園名版、告知案内板、制札版
	照度分布図 (参考図)	S=1:250	

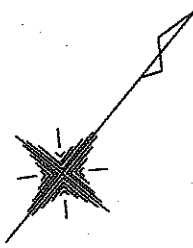
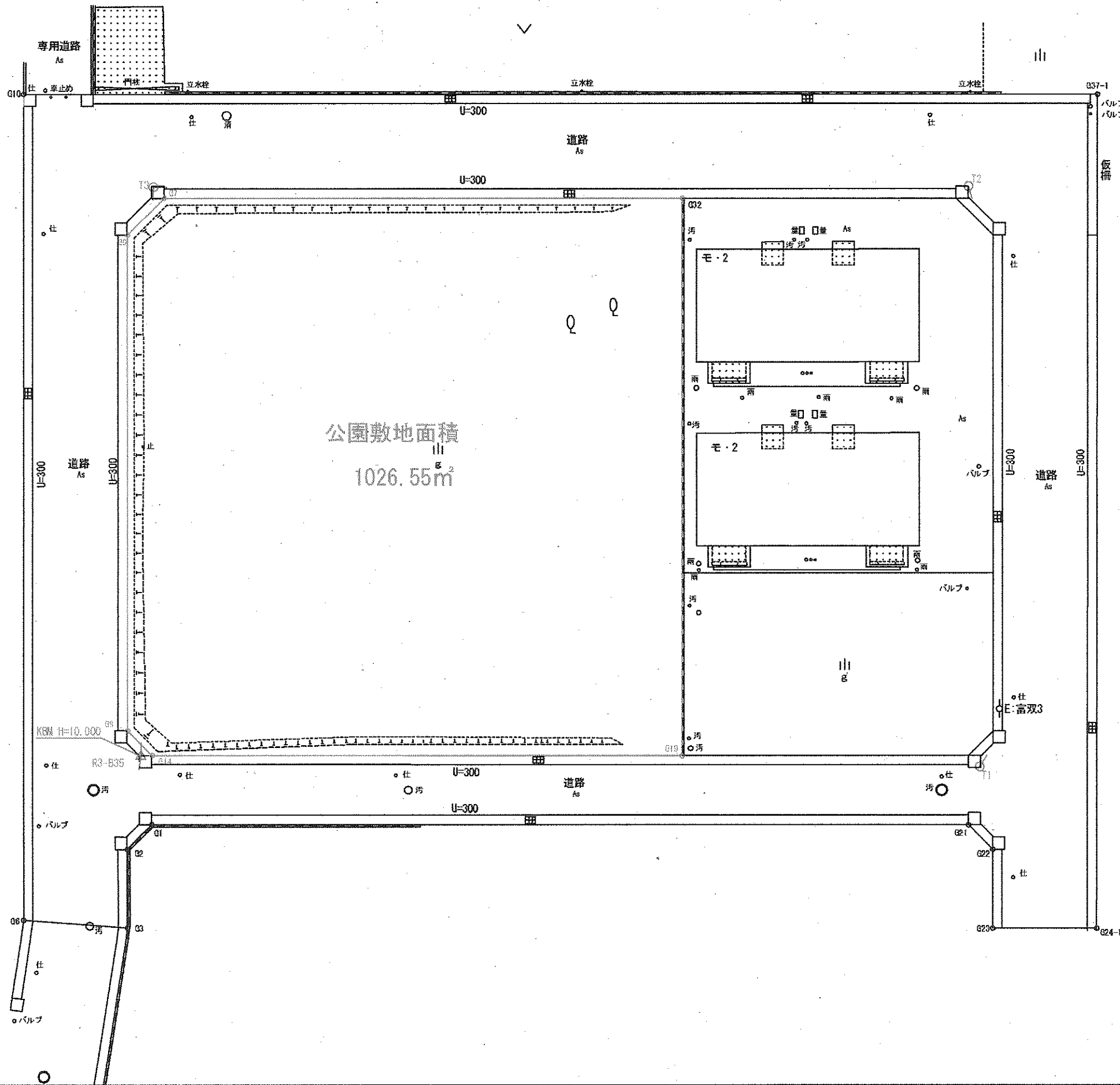


0 100 500M 1,000M

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	案内図				
図面番号	01/28	図面作成	令和8年4月日		
課長		補佐		係長	
設計					
藤市都市整備部道路公園課					



工 事 名		錦町 1 号公園整備工事					
図 面 名		現況平面図					
図面番号		02/28		図面作成		令和 8 年 4 月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							



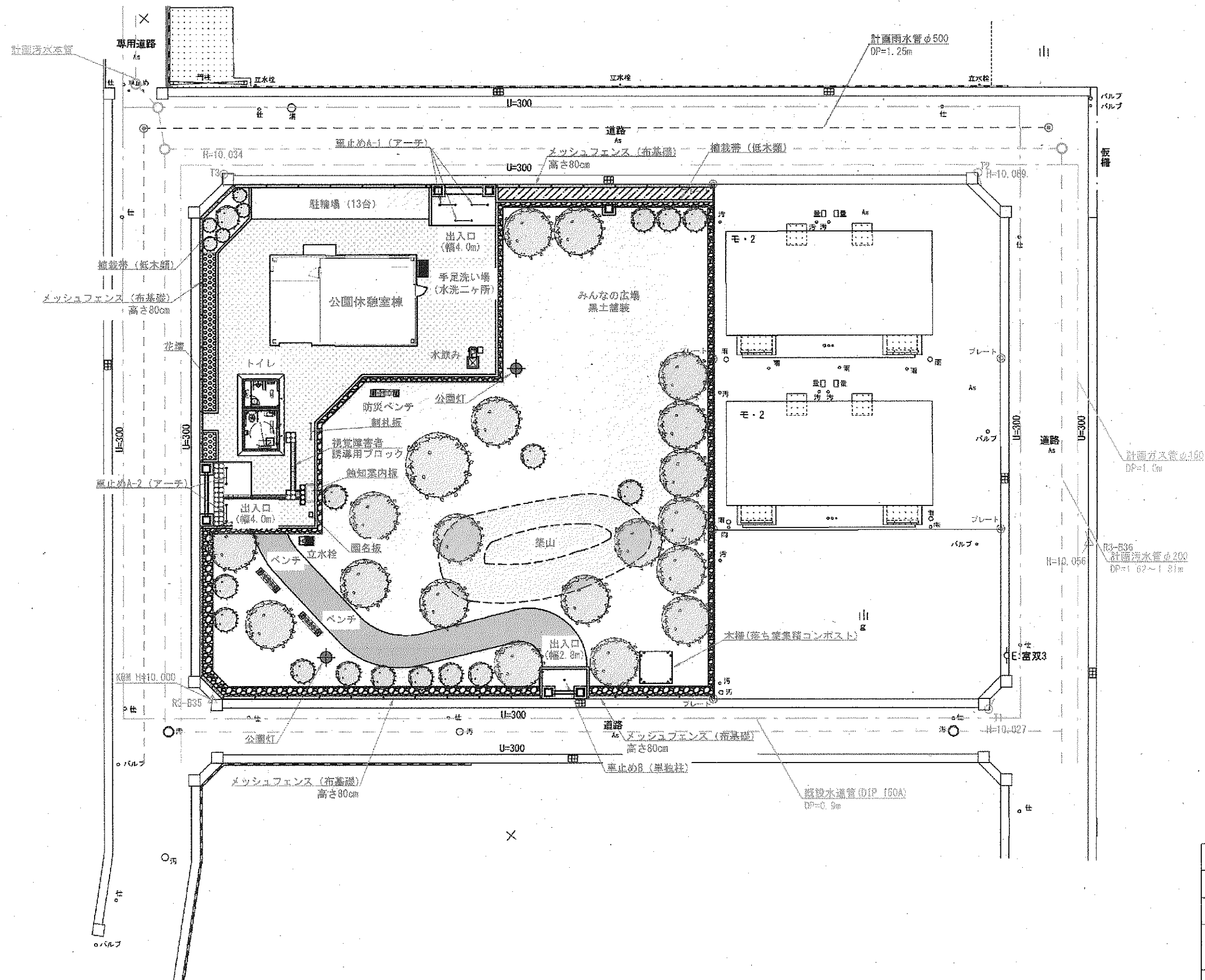
縮尺 1:250

求積表

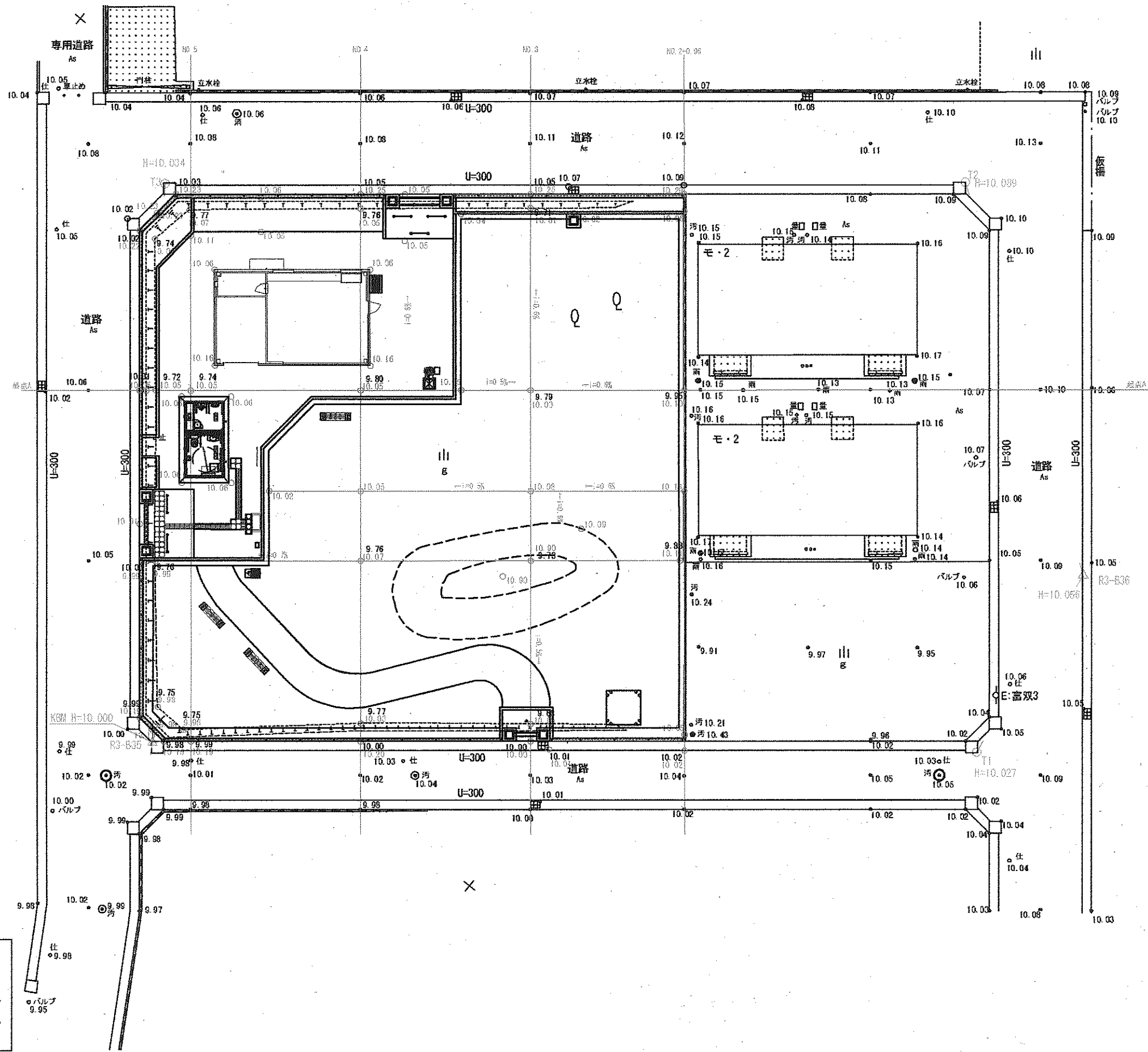
地番	全体面積			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
G10	-19029.971	-14774.206	-17.894	340522.301074
G6	-19066.877	-14744.051	35.090	-669056.713930
G3	-19063.424	-14739.116	2.061	-39289.716864
G2	-19059.913	-14741.990	-2.668	50851.847884
G1	-19057.916	-14741.784	36.743	-700245.007588
G21	-19028.073	-14705.247	38.518	-732923.315814
G22	-19028.272	-14703.266	4.864	-92553.515008
G23	-19031.802	-14700.383	7.532	-143347.532664
G24-1	-19028.009	-14695.734	-25.774	490427.903966
G37-1	-18990.732	-14726.157	-78.472	1490240.721504
合計				-5373.027440
合計面積				2886.5137200
地積				2886.51 m ²

地番	公園面積			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
G7	-19029.486	-14764.110	-23.478	446774.272308
G9	-19032.465	-14764.404	17.795	-338682.714675
G8	-19054.611	-14746.315	20.087	-382749.971157
G14	-19054.818	-14744.317	25.718	-490051.809324
G19	-19035.460	-14720.597	3.391	-64549.244860
G32	-19010.557	-14740.926	-43.513	827206.366741
合計				-2053.100967
合計面積				1026.5504835
地積				1026.55 m ²

工事名	錦町1号公園整備工事						
図面名	敷地求積図						
図面番号	03/28	図面作成	令和8年4月 日				
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							



工 事 名		錦町 1 号公園整備工事	
図 面 名		計画平面図	
図面番号		04 / 28	図面作成 令和 8 年 4 月 日
課長		補佐	係長
			設計 
藤 市 都 市 整 備 部 道 路 公 園 課			



座標リスト

点名	X座標	Y座標	備考
R3-W1	-19072.787	-14734.178	紙
R3-B2	-19056.099	-14673.427	紙
R3-B35	-19055.274	-14744.794	紙
R3-B36	-19013.066	-14708.594	紙
T1	-19025.074	-14706.879	紙
T2	-18999.640	-14728.562	紙
T3	-19029.393	-14764.998	紙

世界測地系 (測地成果2011)

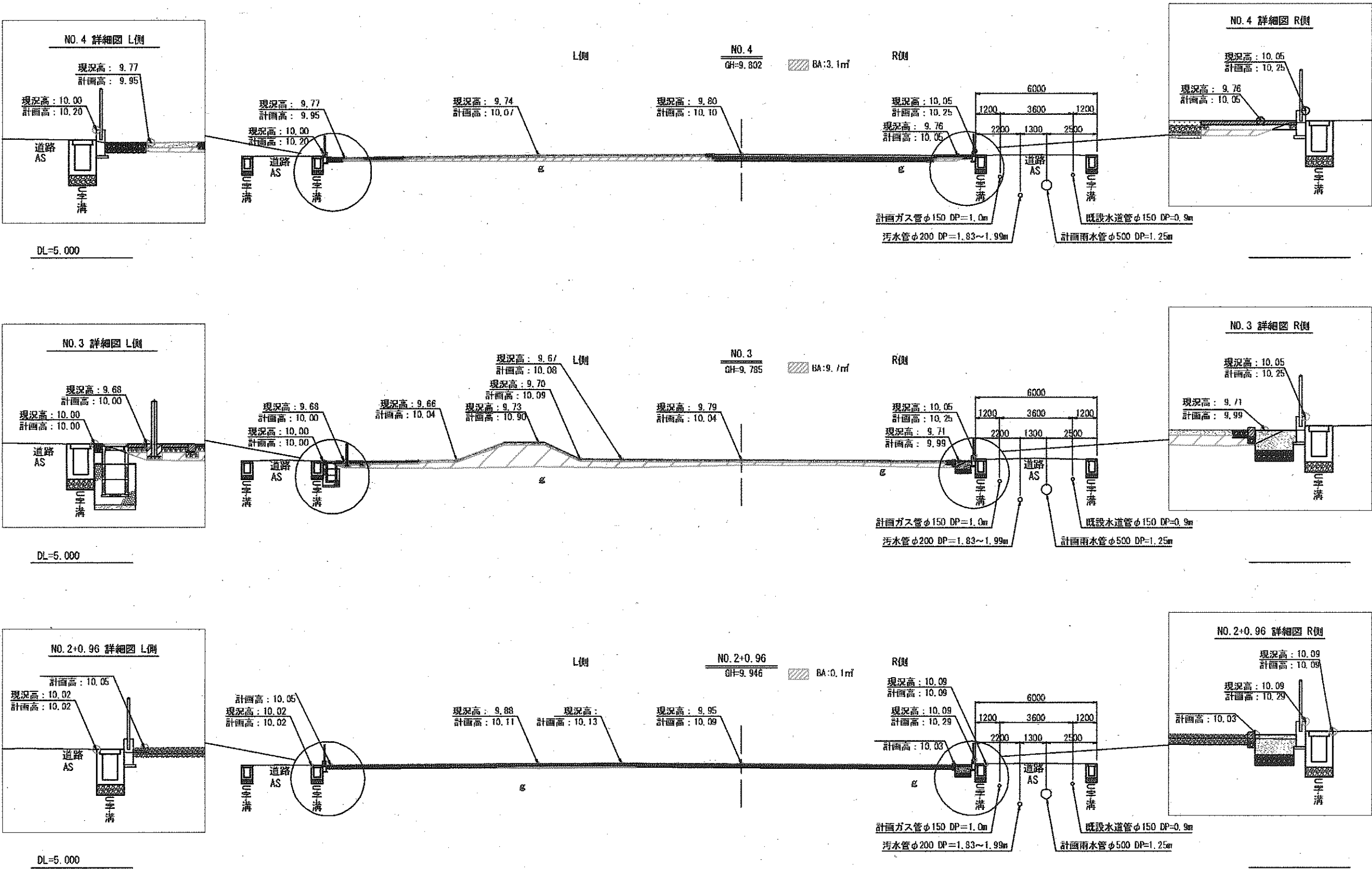
凡例

凡例	
	基準点(既知点)
	4級基準点
	境界点
	U型側溝及び斜
	ブロック塀
	目隠しフェンス
	緑石
	アスファルト舗装
	未舗装
	タタキ
	電柱
	汚水人孔
	雨水人孔
	汚水井
	雨水井
	仕切弁
	止水栓
	量水器
	消化栓
	グレーチング
	法面
	畑
	荒地
	芝生
	地権界
	独立樹
	標高

凡例

10.00 : 計画高
10.00 : 現況高

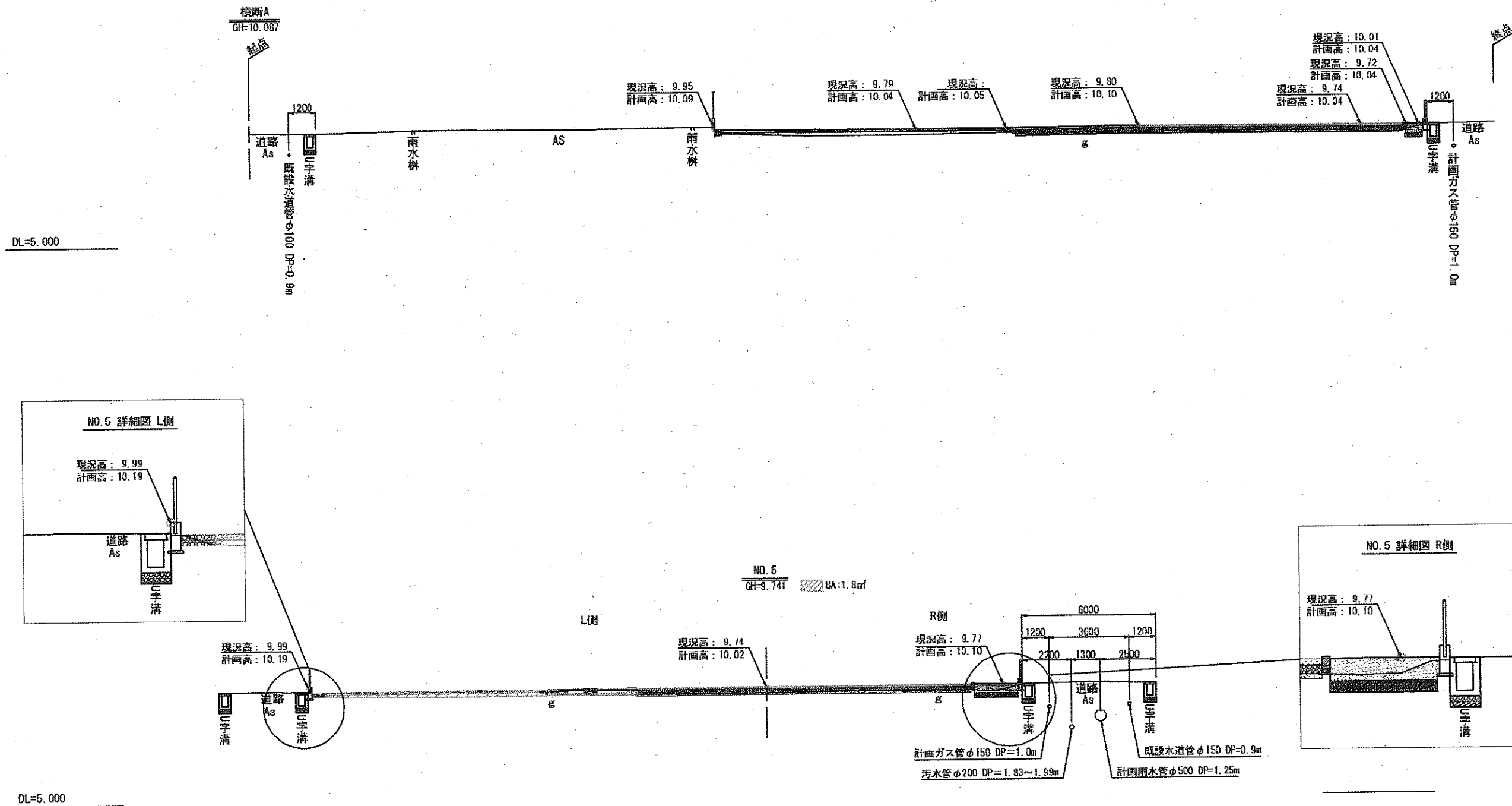
工事名	錦町1号公園整備工事		
図面名	造成平面図		
図面番号	05/28	図面作成	令和8年4月 日
課長		補佐	
係長		設計	
藤市都市整備部道路公園課			



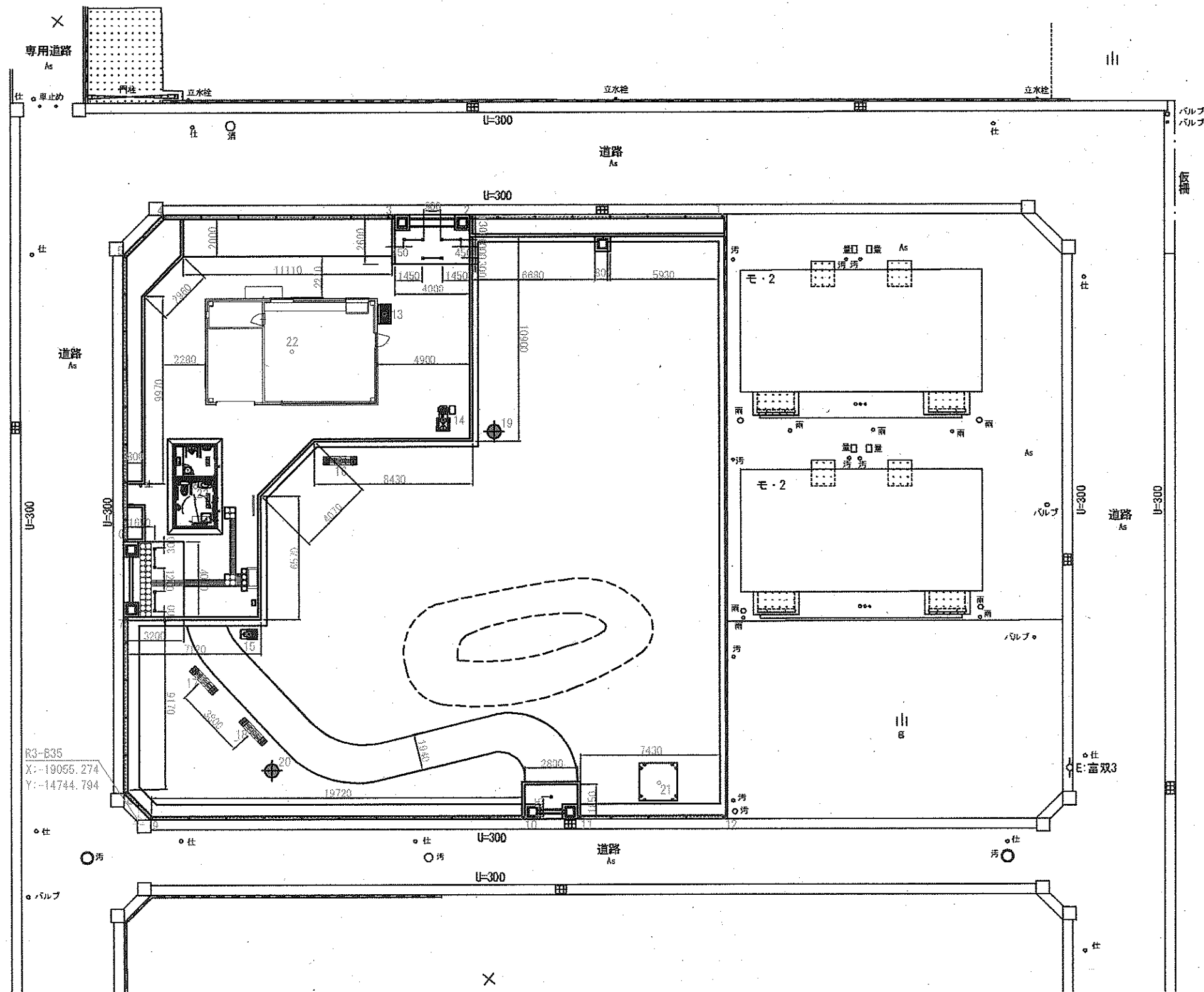
工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	造成横断図 (1)			
図面番号	06/28	図面作成	令和8年4月 日	
課長		補佐	係長	設計
藤市都市整備部道路公園課				

造成横断面図 (2)

S=1:200 (A3)



工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		造成横断図 (2)					
図面番号		07/28	図面作成	令和8年4月 日			
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							



座標一覧表

メッシュフェンス(支柱中心点)		
測点	X	Y
1	-19010.697	-14740.946
2	-19019.150	-14751.296
3	-19021.807	-14754.548
4	-19029.537	-14764.015
5	-19032.436	-14764.304
6	-19044.120	-14754.757
7	-19047.372	-14752.100
8	-19054.517	-14746.263
9	-19054.717	-14744.351
10	-19042.184	-14729.004
11	-19040.286	-14728.681
12	-19035.428	-14720.733

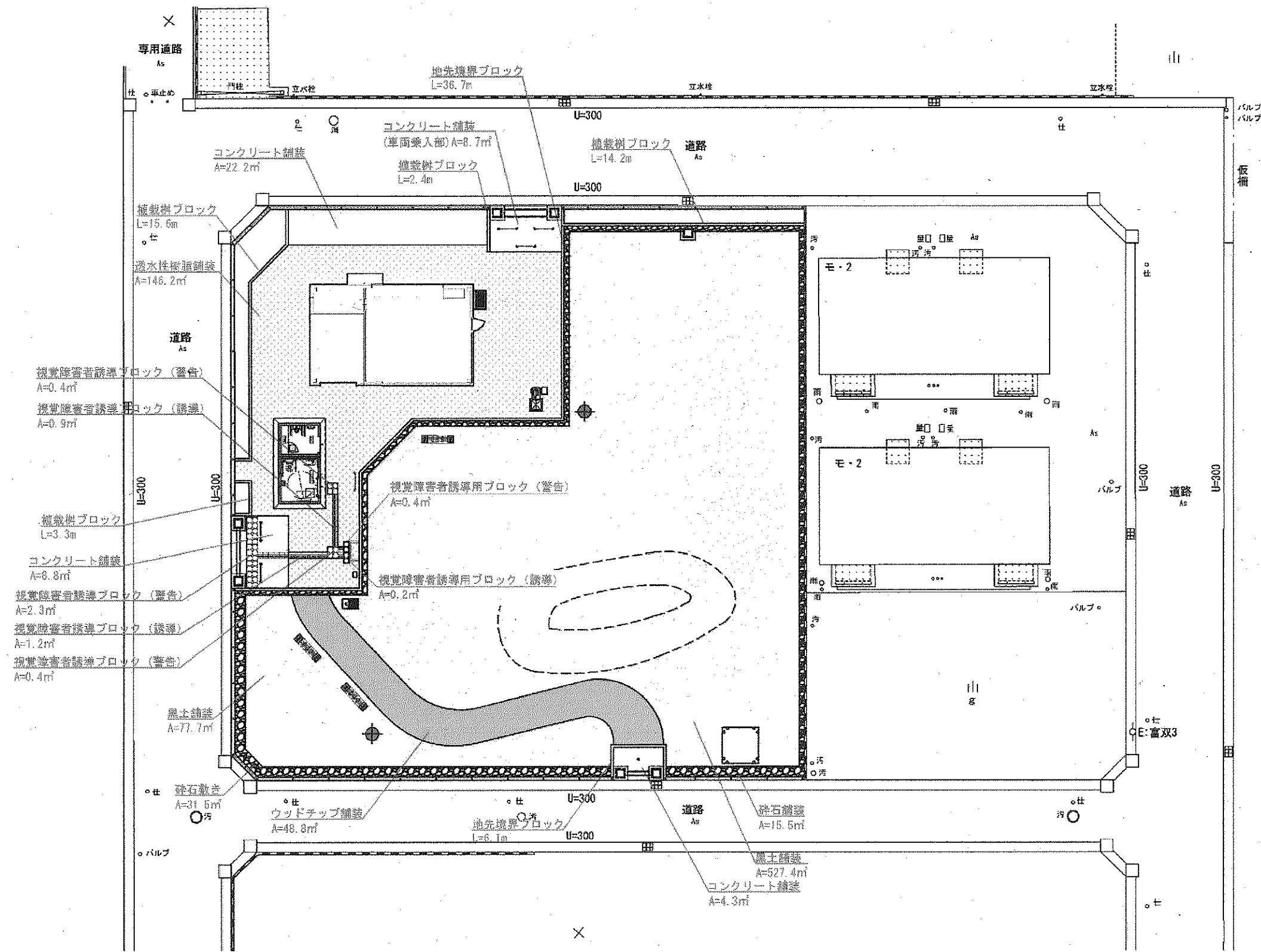
施設(中心点)		
測点	X	Y
13	-19026.416	-14752.094
14	-19028.502	-14745.630
15	-19043.839	-14746.505
16	-19033.640	-14748.545
17	-19047.265	-14746.817
18	-19047.725	-14743.052
19	-19027.252	-14743.151
20	-19048.714	-14740.967
21	-19036.182	-14724.597
22	-19029.208	-14755.780
23	-19030.780	-14754.208

基準点・水準点座標		
測点	X	Y
R3-B35	-19055.274	-14744.794

工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		割付平面図					
図面番号		08/28		図面作成		令和8年4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							

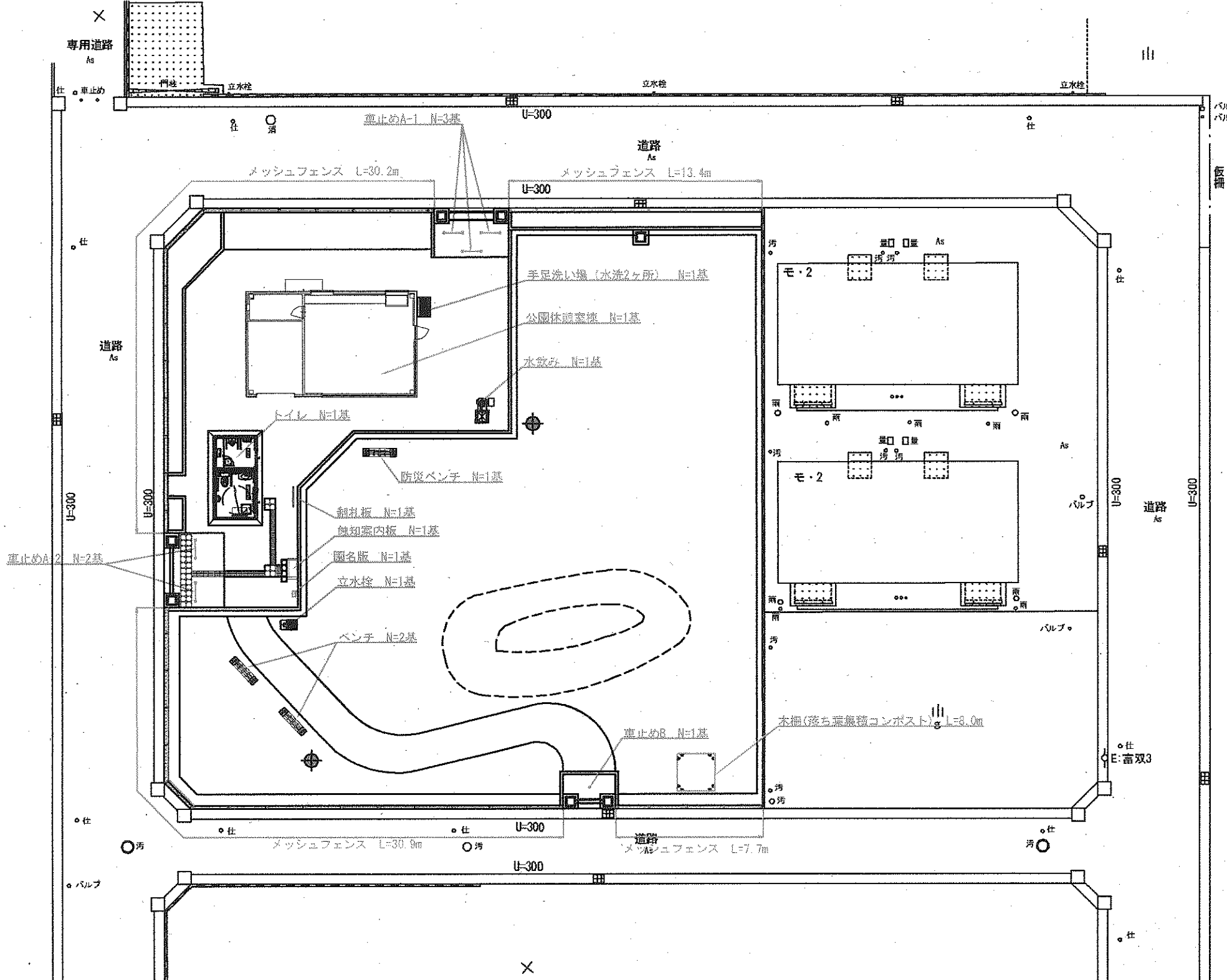
園路広場平面図

S=1:250 (A3)



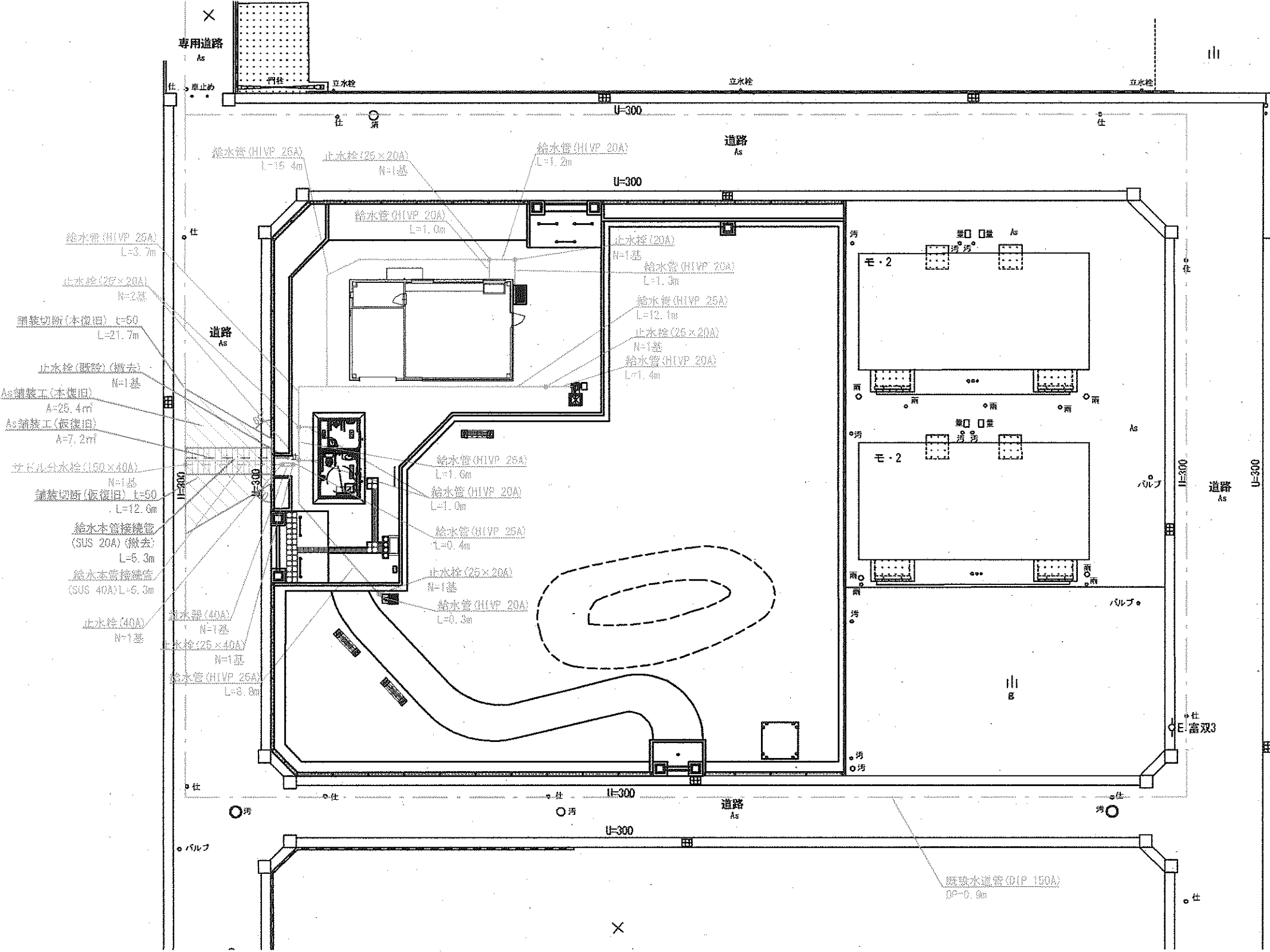
工事区分 工種 種別	表示	細 別	規 格	単位	数量	備 考
施設整備						
園路広場整備工						
土系舗装工		黒土舗装	t-100	m2	605.1	527.4+77.7
		ウッドチップ舗装	t-150	m2	48.8	
コンクリート系舗装工						
		コンクリート舗装	t-170	m2	35.3	22.2+8.6+4.3
		コンクリート舗装(車可乗入部)	t-250	m2	8.7	
透水性舗装工						
		透水性樹液舗装	t-350	m2	146.2	
		砂利敷き	t-200	m2	46.6	31.1+15.5
園路緑化工						
		地先境界ブロック	120×120×600	m	42.8	38.7+6.1
		植栽樹ブロック	150×180×600	m	35.5	15.6+3.3+14.2+2.4
視覚障害者誘導用ブロック工						
		視覚障害者用誘導ブロック	警告	m2	3.5	0.4+2.3+0.4+0.4
		視覚障害者用誘導ブロック	誘導	m2	2.3	0.9+1.2+0.2

工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	園路広場平面図			
図面番号	09/28	図面作成	令和8年4月	日
課長	補佐	係長	設計	
蕨市都市整備部道路公園課				



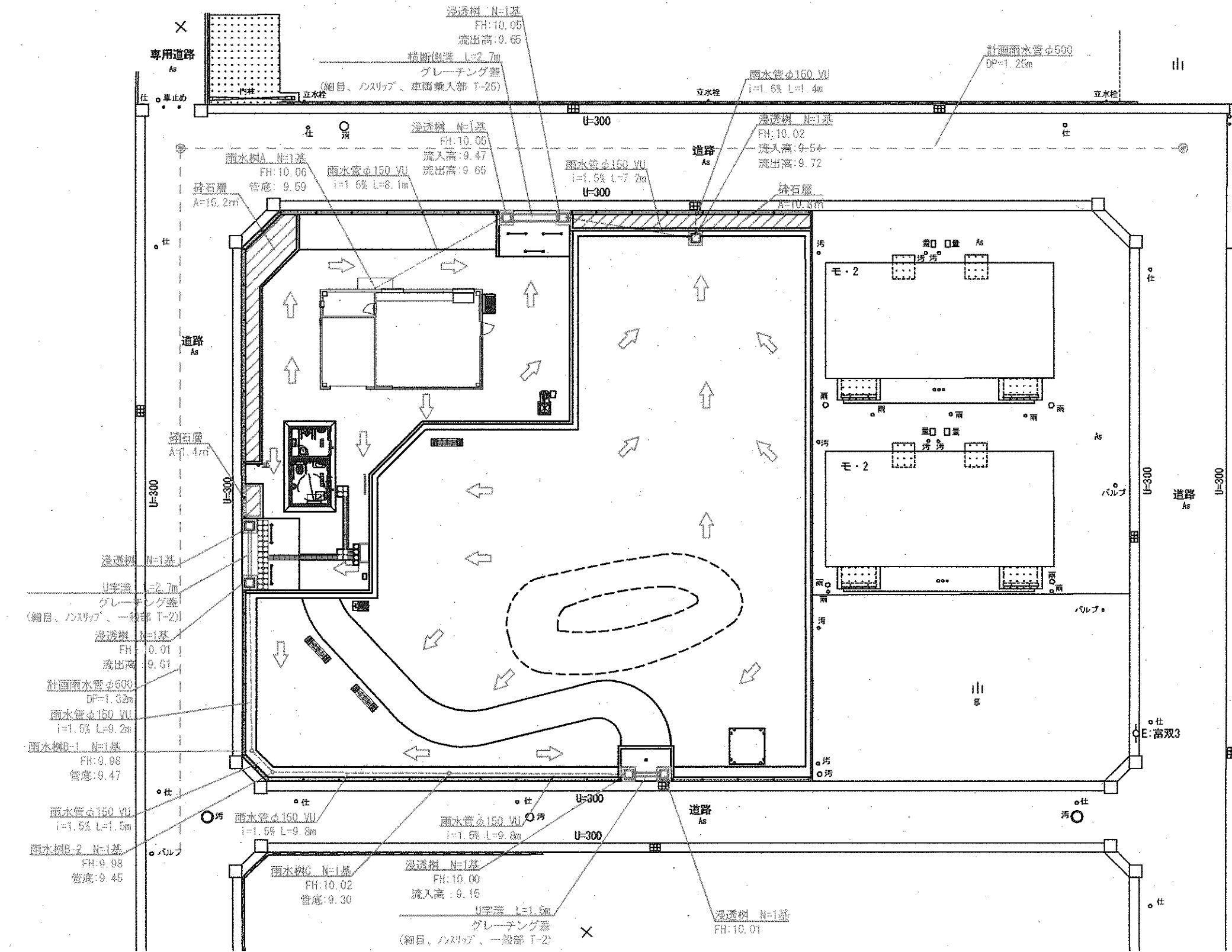
工事区分 工種 種別	表示	細別	規格	単位	数量	備考
施設整備						
サービス施設整備工						
水飲み場工		水飲み	W550×D1275×H760 水洗2ヶ所	基	1	
	洗い場工					
	立水栓	W200×D705×H700		基	1	
	手足洗い場	W1050×D700×H800 水洗2ヶ所		基	1	
ベンチ・テーブル工						
	ベンチ	W1800×D435×H530 貴なし	基	2		
	防災ベンチ	W1400×D335×H540 貴なし	基	1		
管理施設整備工						
柵工						
	メッシュフェンス	H800 布基礎	m	82.2	13.4+30.2+30.9 +7.7	
	木柵	H=1000	m	8.0		落ち葉集積コンポスト
車止め工						
	車止めA-1	アーチ型、着脱式	基	3		サインプレート付
	車止めA-2	アーチ型、固定式	基	2		
	車止めB	単独柱	基	1		
サイン工						
	告知案内板	W390×D105×H1500	基	1		
	制札板	W1102×H1800	基	1		
	園名版	W1100×H1100	基	1		
建築施設起立設置工						
仮所工						
	トイレ		棟	1		
倉庫工						
	公園休憩座席		棟	1		

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	施設平面図				
図面番号	10/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長		補佐		係長	
設計					
蕨市都市整備部道路公園課					



工事区分 工種 工種別	表示	細別	規格	単位	数量	備考
施設設備						
給水設備工						
止水栓取付工						
○	止水栓	20A	基	1		
○	止水栓	20x25A	基	5		
○	止水栓	25x40A	基	1		
○	止水栓	40A	基	1		
○	量水器	40A	基	1		
○	サドル分水栓	150x40A	基	1		
給水管路工						
	給水管	H1VP 20	m	7.2	0.2+1.0+1.0+1.2+1.0+1.3+1.4	
	給水管	H1VP 25	m	42.0	8.8+0.4+1.6+3.7+15.4+12.1	
	給水本管接続管	SUS 40A	m	5.3		
	既設水道管	DIP 150A				
撤去工						
給水設備撤去工						
止水栓撤去工						
○	止水栓	20A	基	1		
給水管路撤去工						
	給水本管接続管	SUS 20A	m	6.3		
舗装切替工						
	舗装切替 (本復旧)	t=50	m	21.7		
	舗装切替 (仮復旧)	t=50	m	12.6		
舗装取替工						
	舗装取替工 (本復旧)	t=50	m ²	25.4		
	舗装取替工 (仮復旧)	t=50	m ²	7.2		

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	給水設備平面図				
図面番号	11/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長		補佐		係長	設計
蕨市都市整備部道路公園課					

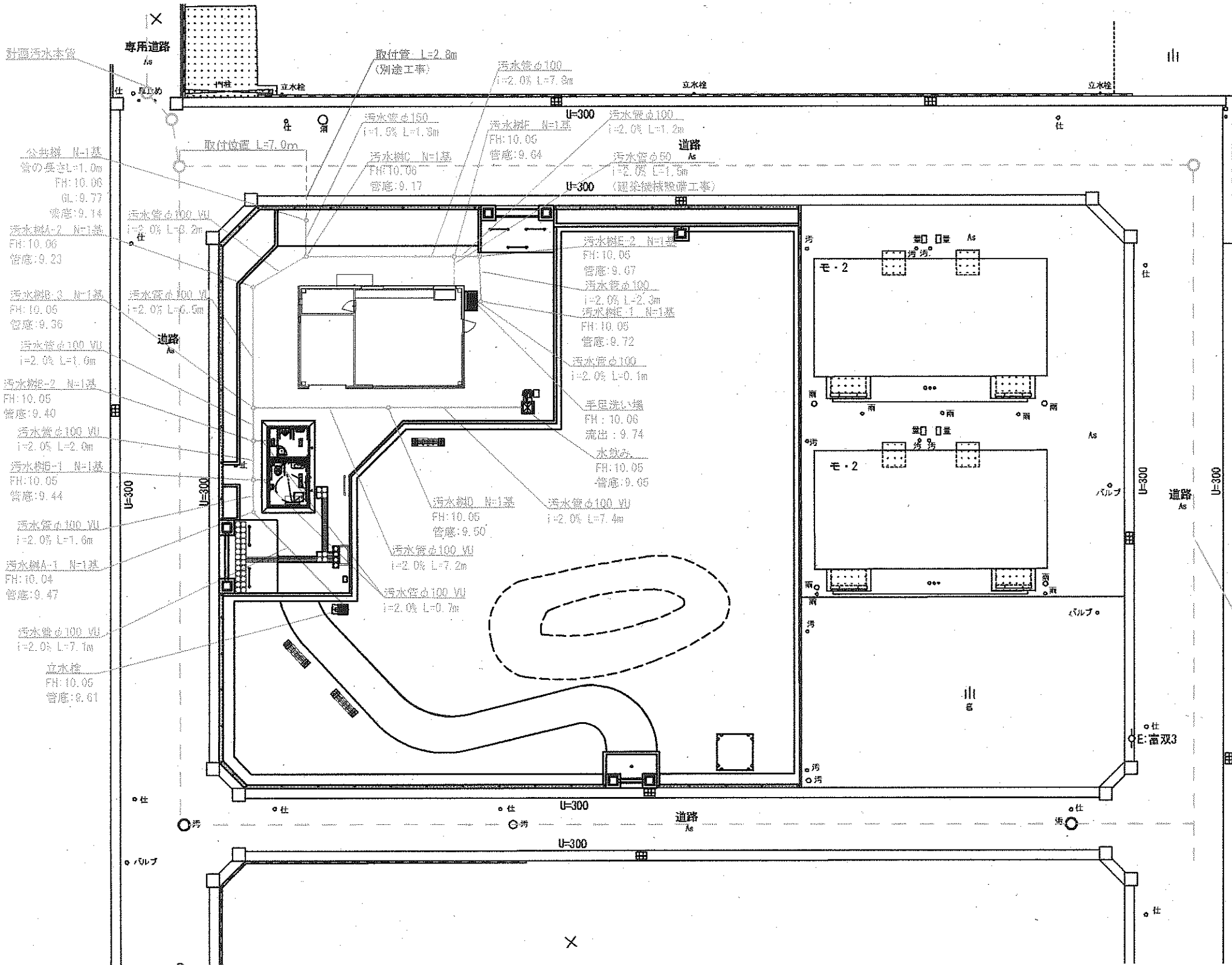


工事区分	表示	細別	規格	単位	数量	備考
雨水排水設備工						
創設工						
U字溝		U-180	グレーチング蓋 細目 T-2	m	4.2	1.5+2.7
横断側溝		U-250	グレーチング蓋 細目 T-25	m	2.4	
管渠工						
計画雨水管(別途工事)		φ500		m		
雨水管		φ150 有孔管		m	47.0	8.1+7.2+1.4+9.2 +1.5+9.8+9.8
集水樹・マンホール工						
浸透樹		□400	グレーチング蓋 細目 T-6	基	7	
雨水樹・マンホール工						
雨水樹A		起点 150-200		基	1	
雨水樹B		45° 曲り 150-200		基	2	
雨水樹C		中継点 150-200		基	1	
砕石層工						
砕石層		t200 単粒度砕石4号		m ²	27.4	10.8+15.2+1.4

凡 例

雨水勾配

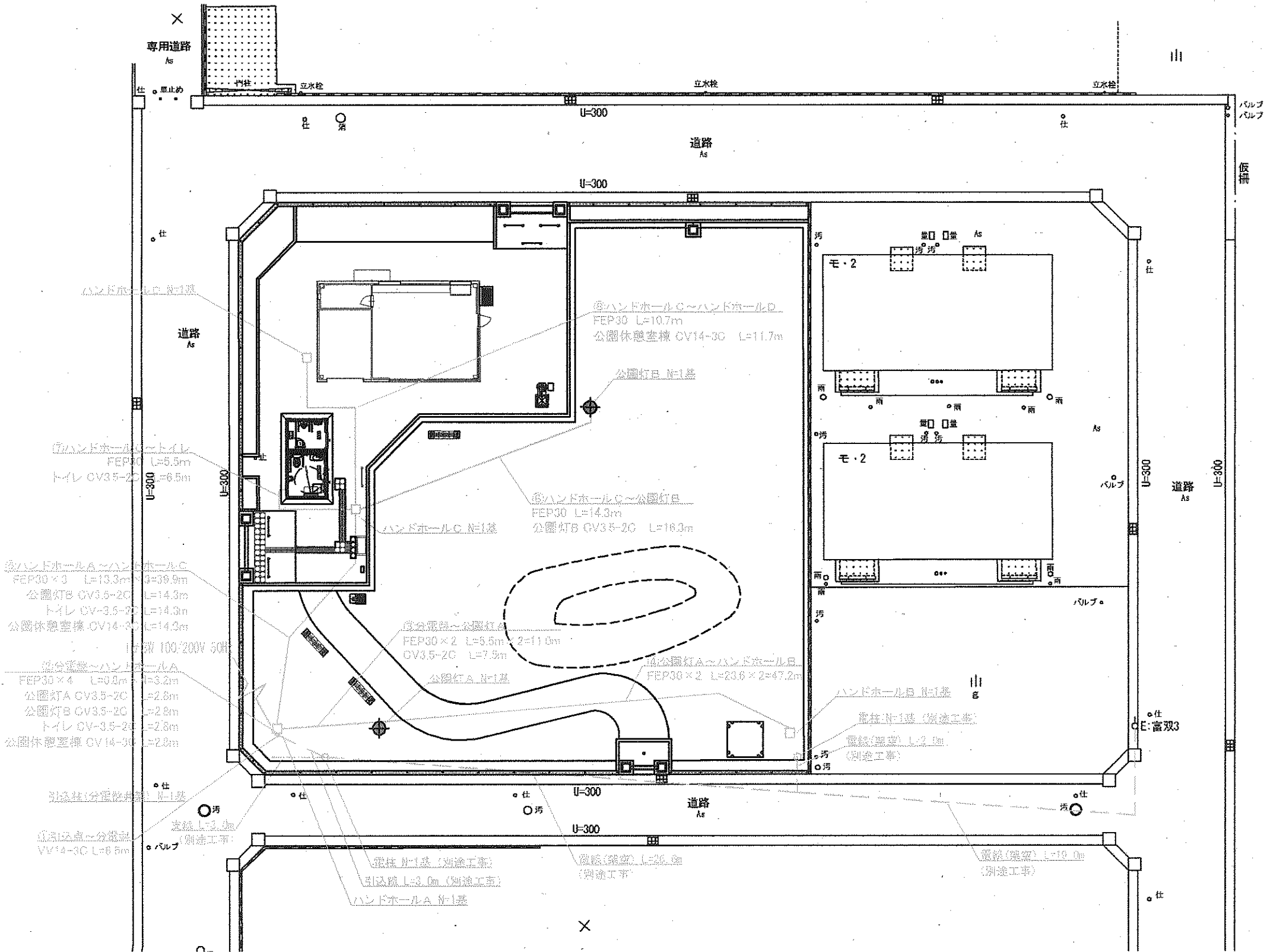
工 事 名	錦町1号公園整備工事				
図 面 名	雨水排水設備平面図				
図面番号	12/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長		補佐		係長	
蔵市都市整備部道路公園課					



工事区分 L工種 L種別	表示	細別	規格	単位	数量	備考
施設整備						
汚水排水設備工						
管渠工		汚水管	WU100	m	49.4	7.1+1.6+2.0+1.6 +6.5+3.2+0.7+0.7 +7.4+7.2+0.1+2.3 +1.2+7.8
		汚水管	WU150	m	1.8	
		汚水管	φ50	m	1.5	建築機械設備工事
		計画汚水本管	WU200	m		別途工事
		汚水本管取付管		m	2.8	別途工事
汚水樹・マンホール工						
	○	汚水樹A	45° 曲り 左 100-150	基	2	
	○	汚水樹B	90° 合流 左 100-150	基	3	
	○	汚水樹C	90° 合流 左右 100×150-200	基	1	
	○	汚水樹D	中間点 100-150	基	1	
	○	汚水樹E	90° 曲り 右 100-150	基	2	
	○	汚水樹F	90° 合流 右 100-150	基	1	

計画汚水本管φ200
DP=1.62~1.81m

工事名		錦町1号公園整備工事			
図面名		汚水排水設備平面図			
図面番号		13/28	図面作成	令和8年4月 日	
課長		補佐		係長	
設計					
藤市都市整備部道路公園課					

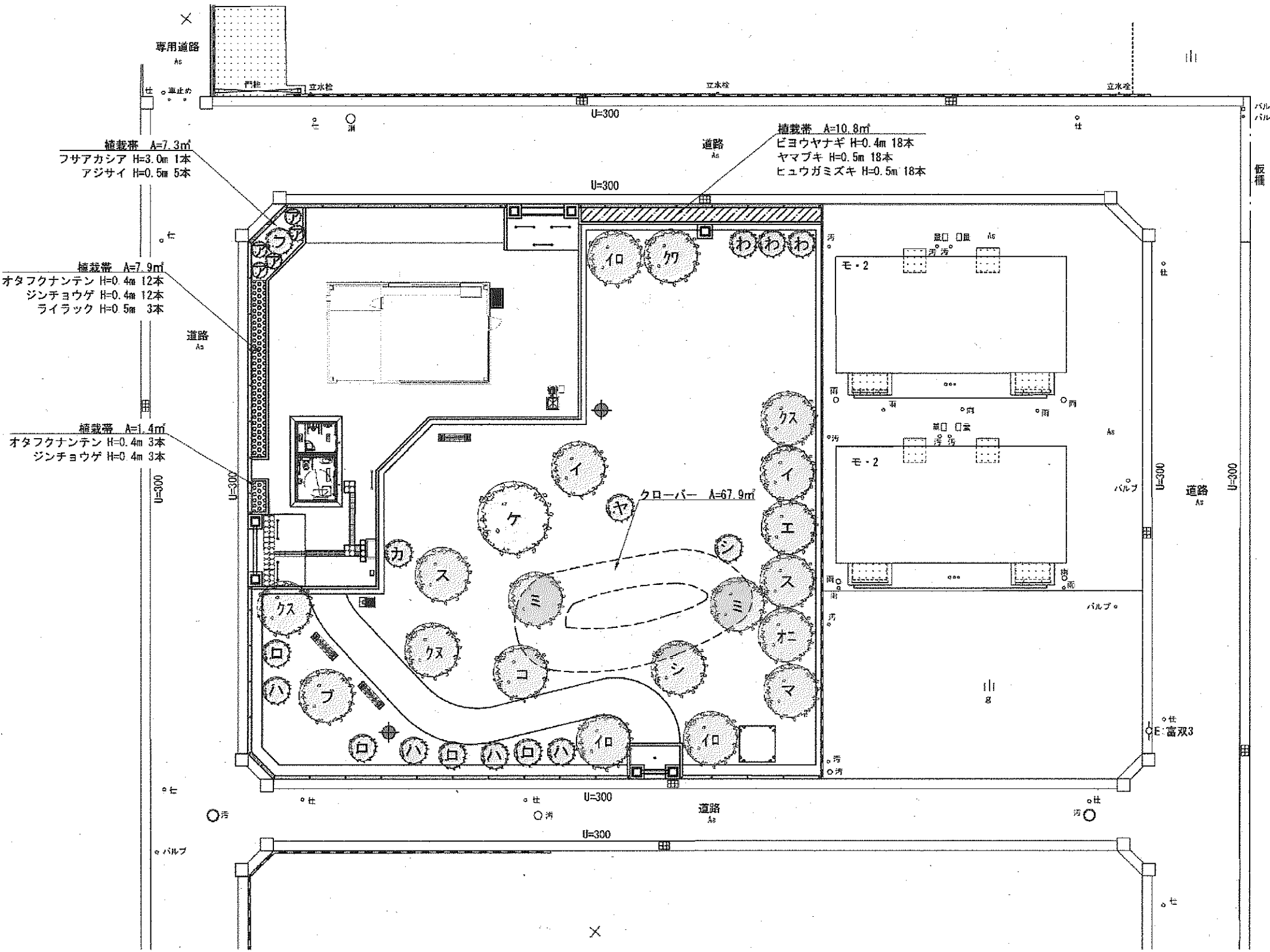


工事区分 工程別	表示	細 別	規 格	単位	数量	備 考
施設整備						
電気設備工						
照明設備工	○	公園灯	H=4500	基	2	
	○	引込柱	H=6000	基	1	分電盤共架
	○	ハンドホール	□600	基	4	
電線管路工						
電柱	○	電柱		基	2	別途電気工事
	○	支線		m	3.0	別途電気工事
	○	引込線		m	3.0	別途電気工事
	○	電線(架空)		m	47.6	19.0+1.0+26.6+1.0 別途電気工事
電気配管	○	電気配管	FEP30	m	131.8	
	○	電気配線	WV14sq-3C	m	6.5	
	○	電気配線	CV14sq-3C	m	28.8	
	○	電気配線	CV3.5sq-2C	m	67.3	

配管・配線表

①	引込幹線	VVR14sq-3C	—
①	公園灯A	CV3.5sq-2C	FEP30
	公園灯B	CV3.5sq-2C	FEP30
	公園休憩室棟	CV14sq-3C	FEP30
	トイレ	CV3.5sq-2C	FEP30
②~③	公園灯B	CV3.5sq-2C	FEP30
④	公園灯B	CV3.5sq-2C	FEP30
	公園休憩室棟	CV14sq-3C	FEP30
	トイレ	CV3.5sq-2C	FEP30
⑤	公園灯B	CV3.5sq-2C	FEP30
⑥	トイレ	CV3.5sq-2C	FEP30
⑦	公園休憩室棟	CV14sq-3C	FEP30

工 事 名		錦町1号公園整備工事			
図 面 名		電気設備平面図			
図面番号		14/28	図面作成	令和8年4月 日	
課長		補佐		係長	
				設計	
蕨市都市整備部道路公園課					

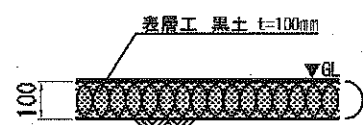


工事区分 工種別	表示	植 別	規 格				単位	数量	備 考
			H	C	W	B.N.			
植栽									
植栽工									
高木植栽工									
	ケ	ケヤキ	4.0	0.15	1.2		本	1	二層鳥居 (添木付)
	ク	クスギ	4.0	0.21	1.5		本	1	二層鳥居 (添木付)
	コ	コナラ	4.0	0.21	1.5		本	1	二層鳥居 (添木付)
	イ	イチヨウ	4.0	0.21	1.5		本	2	二層鳥居 (添木付)
	シ	シラカシ	4.0	0.21	1.2		本	2	二層鳥居 (添木付)
	ス	スダジイ	4.0	0.21	1.2		本	2	二層鳥居 (添木付)
	カ	クスノキ	4.0	0.25	1.2		本	2	二層鳥居 (添木付)
	エ	エゴノキ	4.0	0.21	1.5		本	1	二層鳥居 (添木付)
	マ	マテバシイ	4.0	0.21	1.2		本	1	二層鳥居 (添木付)
	ミ	ミズナラ	3.0	0.10	0.7		本	2	二層鳥居 (添木付)
	ブ	ブナ	3.0	0.12	—		本	1	二層鳥居 (添木付)
	ハ	ハナミズキ	3.0	0.12	1.0		本	4	二層鳥居 (添木付)
	フ	フサアカシア	3.0	0.12	—		本	1	二層鳥居 (添木付)
	カ	カツラ	3.0	0.12	1.0		本	1	二層鳥居 (添木付)
	ロ	イロハモミジ	2.5	—	0.8		本	3	二層鳥居 (添木付)
	ロ	ロウバイ	2.0	—	0.6		本	4	
	ヤ	ヤマボウシ	3.0	0.15	1.5		本	1	二層鳥居 (添木付)
	ク	クワ	2.0	—	0.6		本	1	
	ニ	オニグルミ	2.0	—	0.6		本	1	
	わ	わらびりんご	1.5	—	0.4		本	3	
低木植栽工									
	ア	アジサイ	0.5	—	—	3本立	本	5	
		ビヨウヤナギ	0.4	—	0.3		本	18	5本/m2 A=3.6m2
		ヤマフキ	0.5	—	—	3本立	本	18	5本/m2 A=3.6m2
		ヒュウガミズキ	0.5	—	0.3		本	18	5本/m2 A=3.6m2
		オタフクナンテン	0.4	—	0.3		本	16	5本/m2 A=3.2m2
		ジンチョウゲ	0.4	—	0.3		本	16	5本/m2 A=3.2m2
		ライラック	0.5	—	0.2		本	3	1本/m2 A=3.0m2
地被植栽工									
		クローバー					m2	67.9	種子散布工

工事名	錦町1号公園整備工事		
図面名	植栽平面図		
図面番号	15/28 図面作成 令和8年4月 日		
課長	補佐	係長	設計
蕨市都市整備部道路公園課			

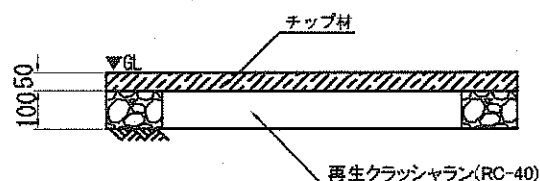
黑土鋪裝

S=1 : 20



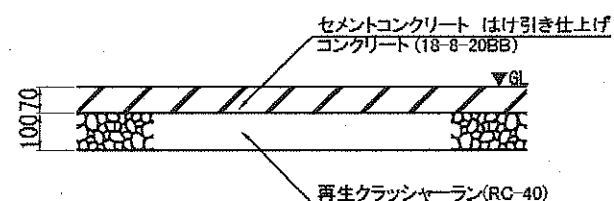
ウッドチップ舗装

S=1 : 20



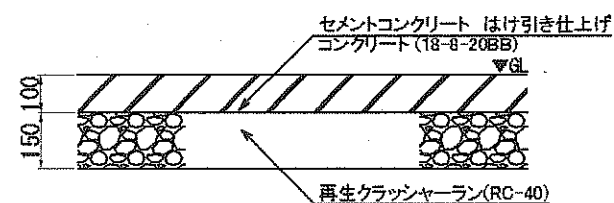
コンクリート舗装

S=1 : 20



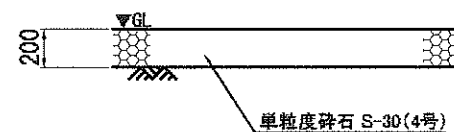
コンクリート舗装(車両乗入部)

S=1 : 20



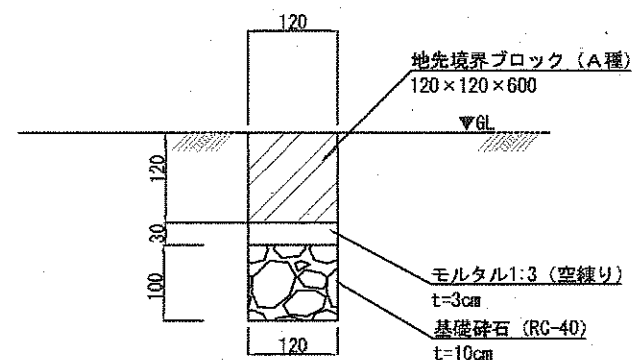
砂利敷き

S=1 : 20



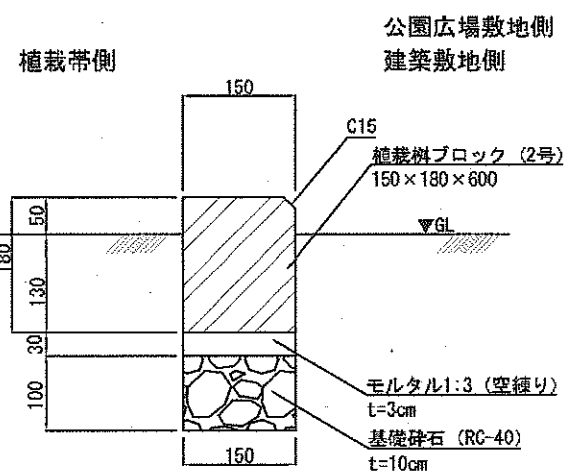
地先境界ブロック

S=1 : 20



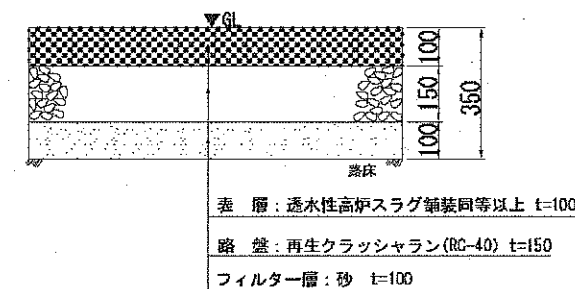
植栽枿ブロック

S=1 : 20



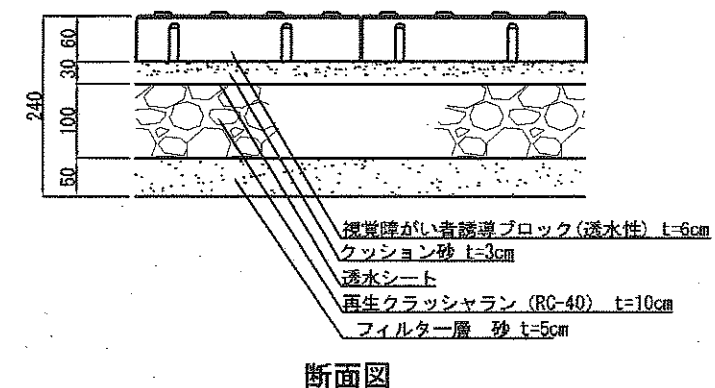
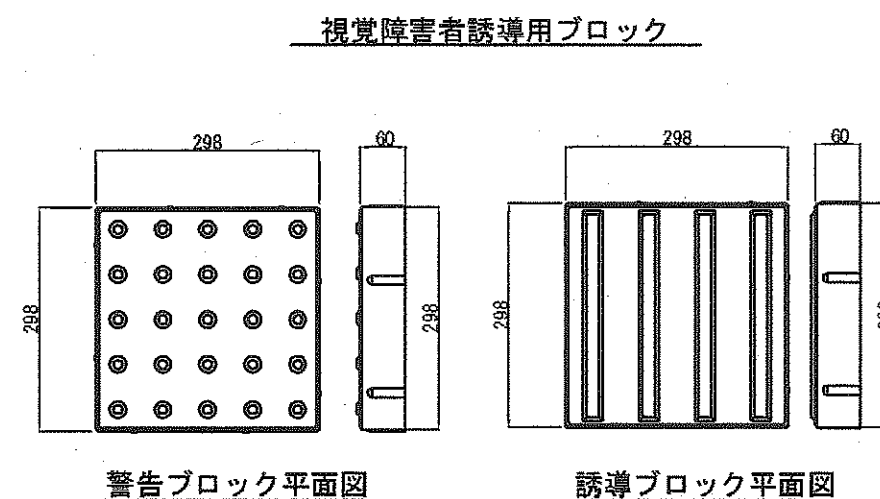
透水性樹脂舗装

S=1 : 20



視覚障害者誘導ブロック

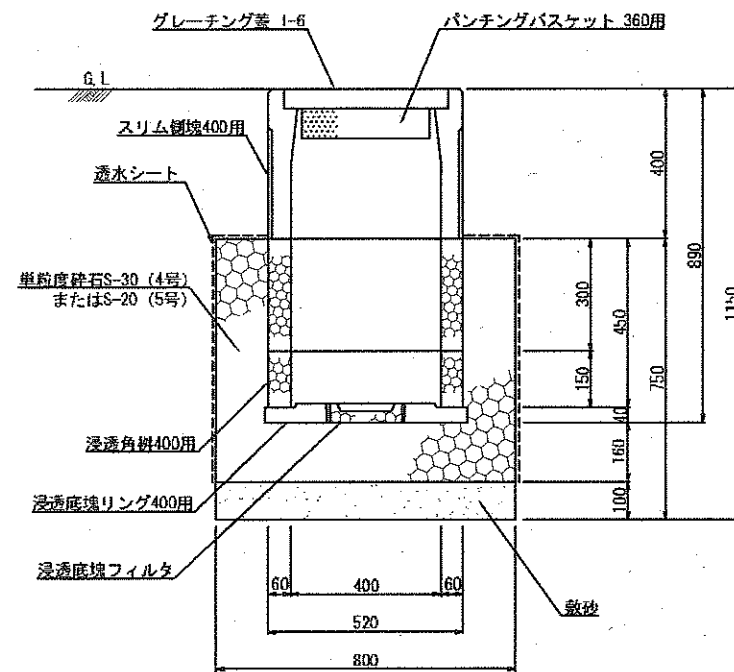
S=1 : 10



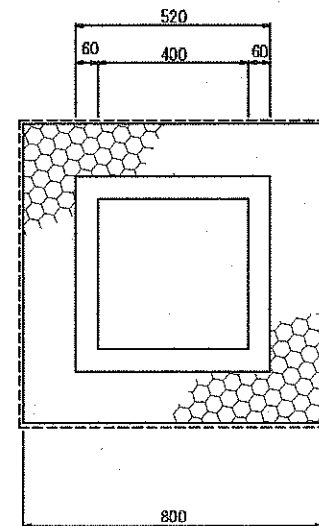
工 事 名	錦町1号公園整備工事				
図 面 名	詳細図 園路広場				
図面番号	16/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長		補佐		係長	
				設計	
市 都 市 整 備 部 道 路 公 園 課					

浸透樹

S=1:20



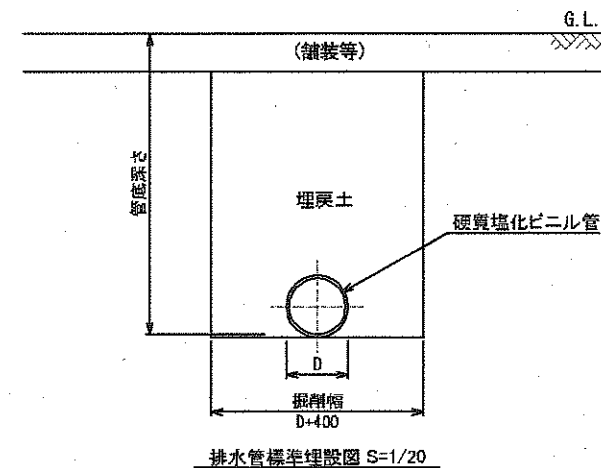
断面図



正面図

雨水・汚水管路土工断面

S=1:20

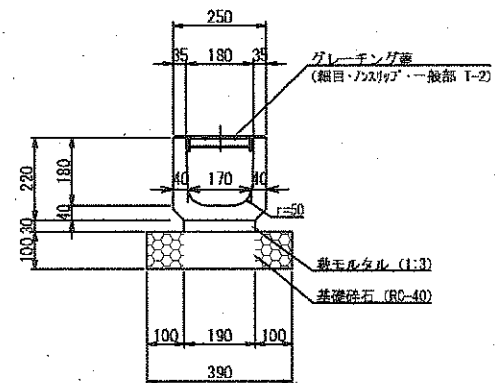


寸法表	
配管種別	D
WU100	114
WU150	165

※埋戻土は、良質発生土とする。

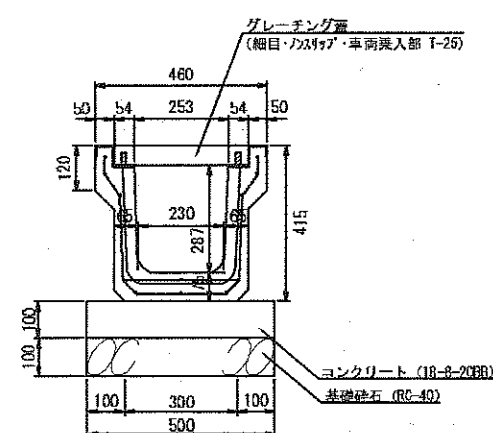
U形側溝

S=1:20



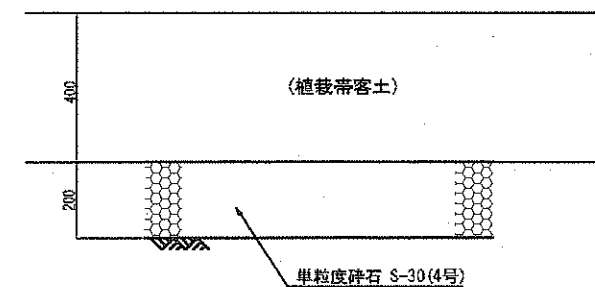
横断側溝

S=1:20



砕石層

S=1:20

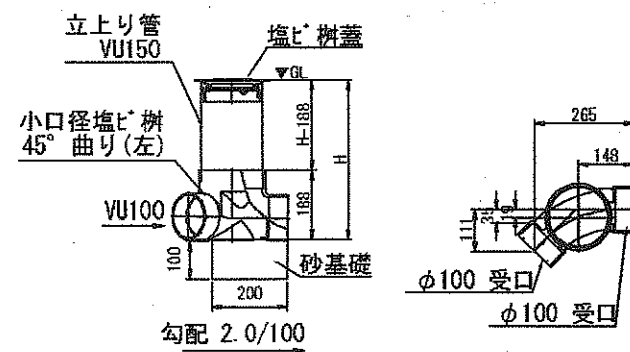


工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	詳細図(雨水・汚水排水設備) (1)				
図面番号	18/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長		補佐		係長	
設計					
蕨市都市整備部道路公園課					

汚水樹

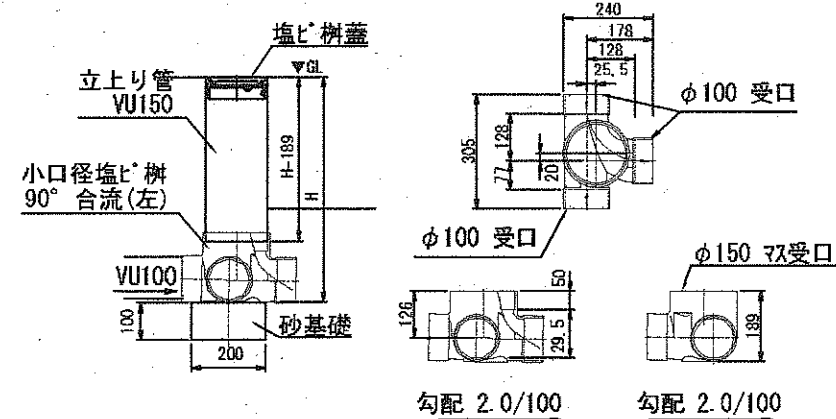
S=1:20

汚水樹A-1, 2



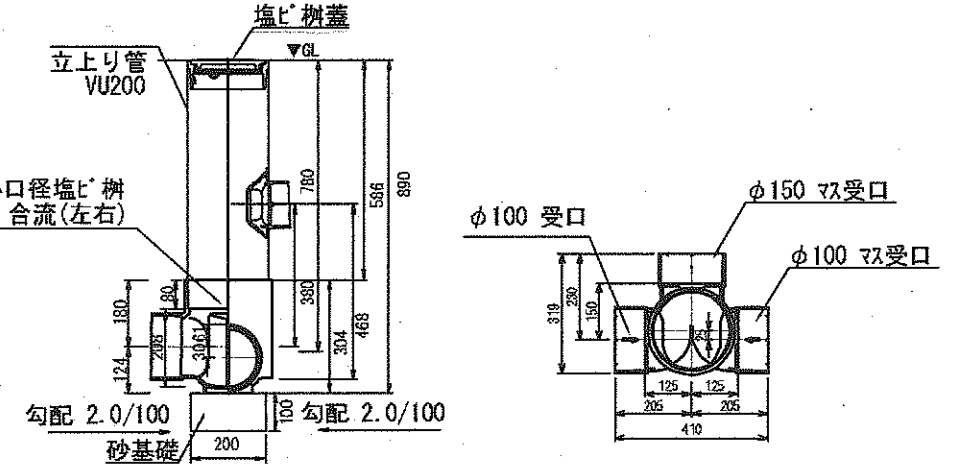
	汚水樹A-1	汚水樹A-2
H	570	830
H-188	382	642

汚水樹B-1, 2, 3

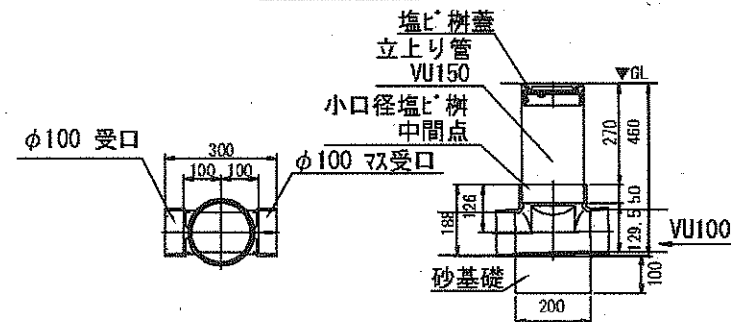


	汚水樹B-1	汚水樹B-2	汚水樹B-3
H	610	650	690
H-189	421	461	501

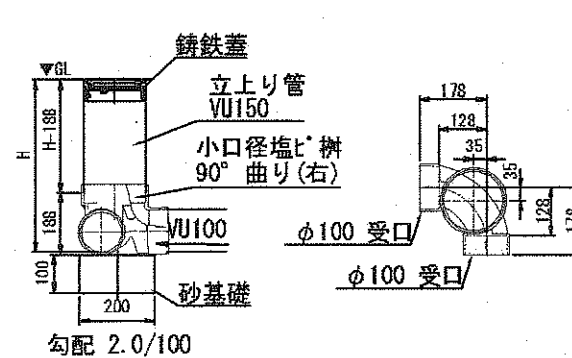
汚水樹C



汚水樹D

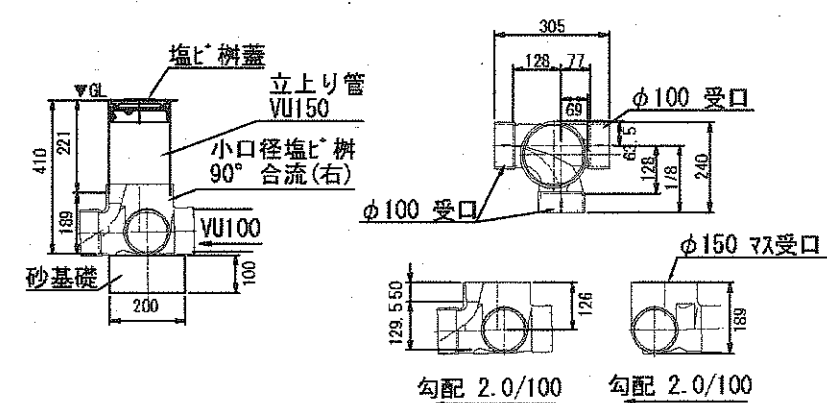


汚水樹E



	汚水樹E-1	汚水樹E-2
H	320	380
H-188	132	192

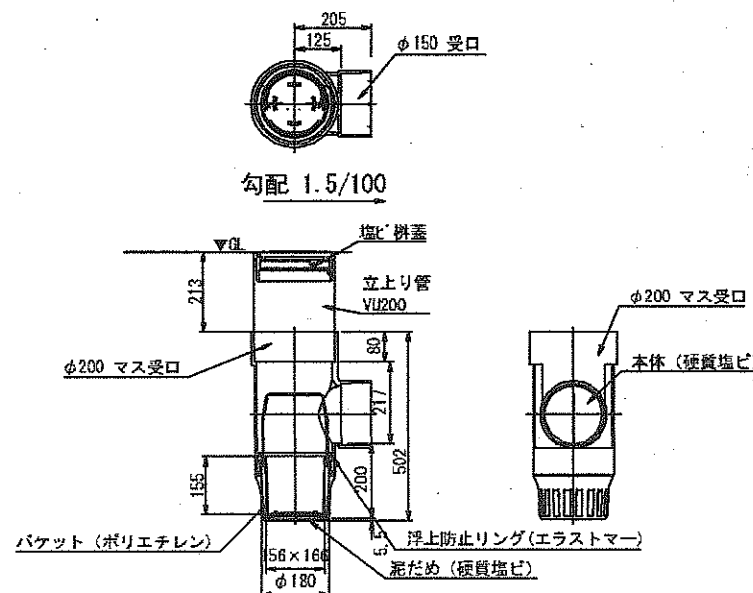
汚水樹F



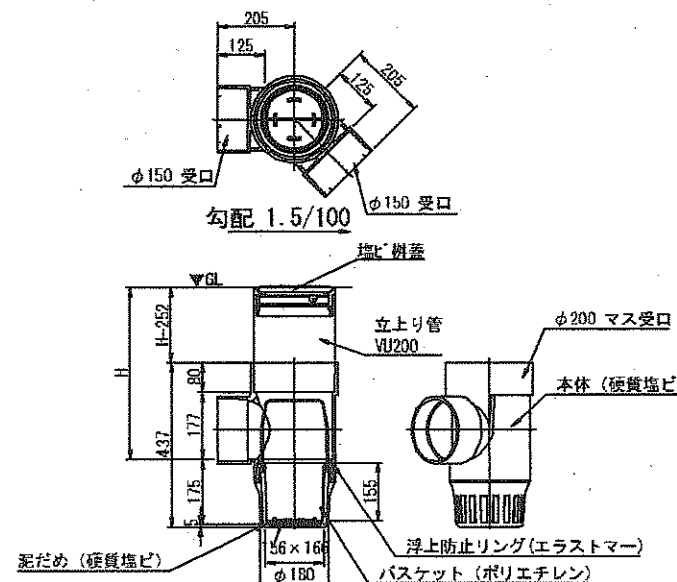
雨水樹

S=1:20

雨水樹A

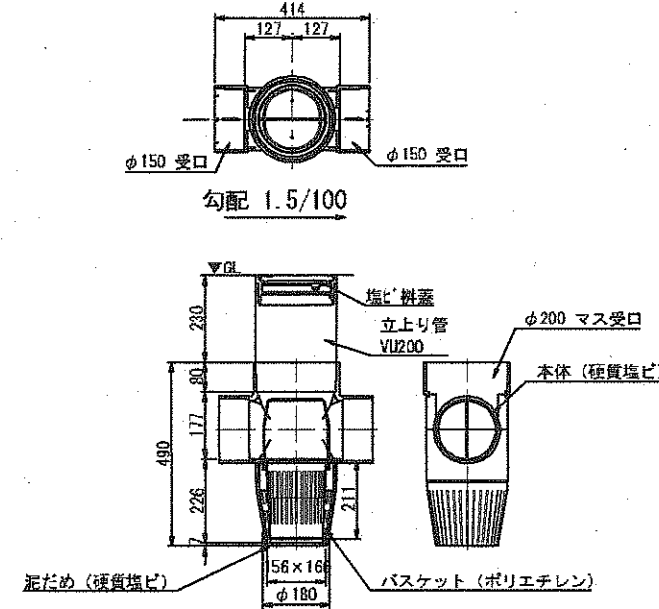


雨水樹B



	雨水樹B-1	雨水樹B-2
H	510	530
H-282	228	248

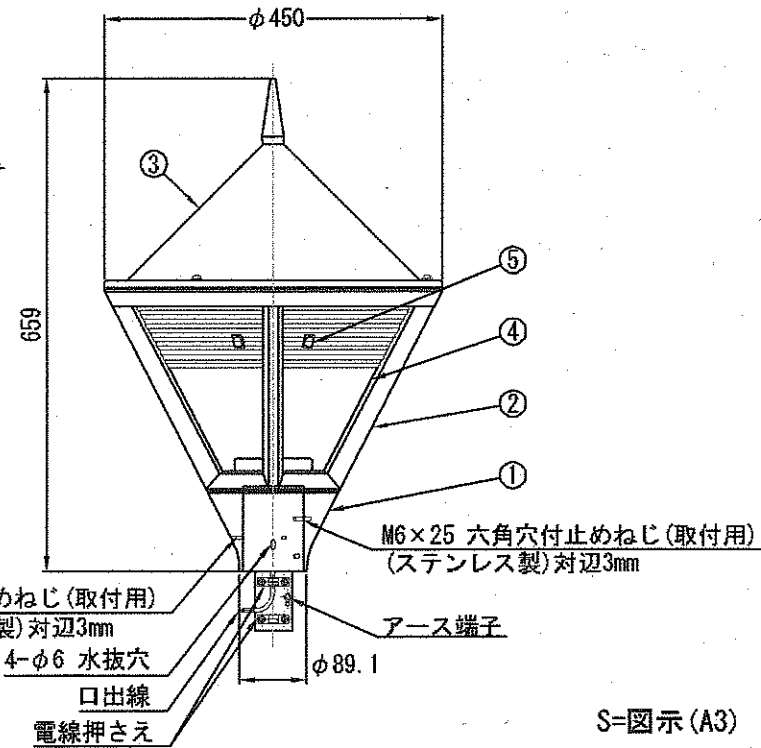
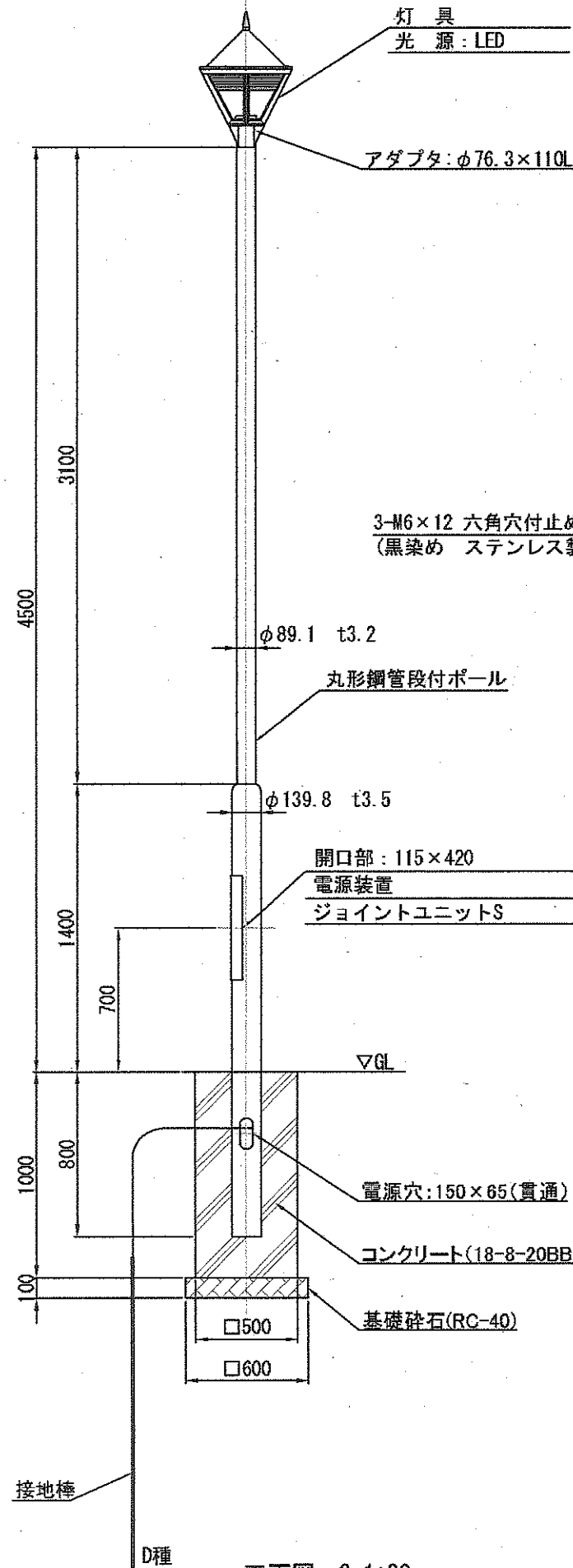
雨水樹C



工 事 名		錦町1号公園整備工事			
図 面 名		詳細図（雨水・汚水排水設備）（2）			
図面番号		19/28	図面作成	令和8年4月 日	
課長		補佐		係長	
				設計	
藤 市 都 市 整 備 部 道 路 公 園 課					

照明灯

S=図示(A3)



照明器具詳細図 S=1:10

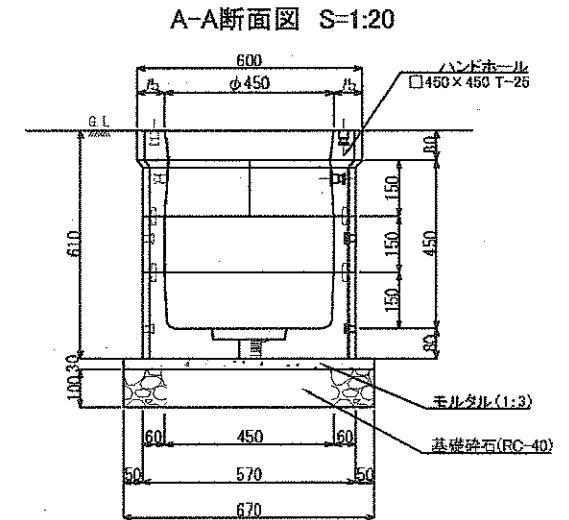
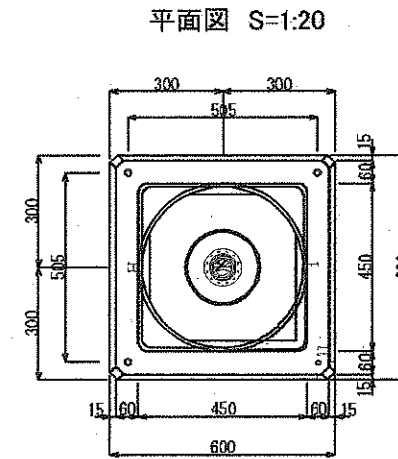
部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	支柱ホルダ	アルミダイカスト	1	塗装
2	枠	アルミダイカスト	1	塗装
3	セード	ステンレス	1	塗装
4	グローブ	アクリル	1	乳白
5	LED	組立品	4	

注記
ポールの表面処理は、溶融亜鉛めっき処理後
指定色塗装仕上げとする。

正面図 S=1:30

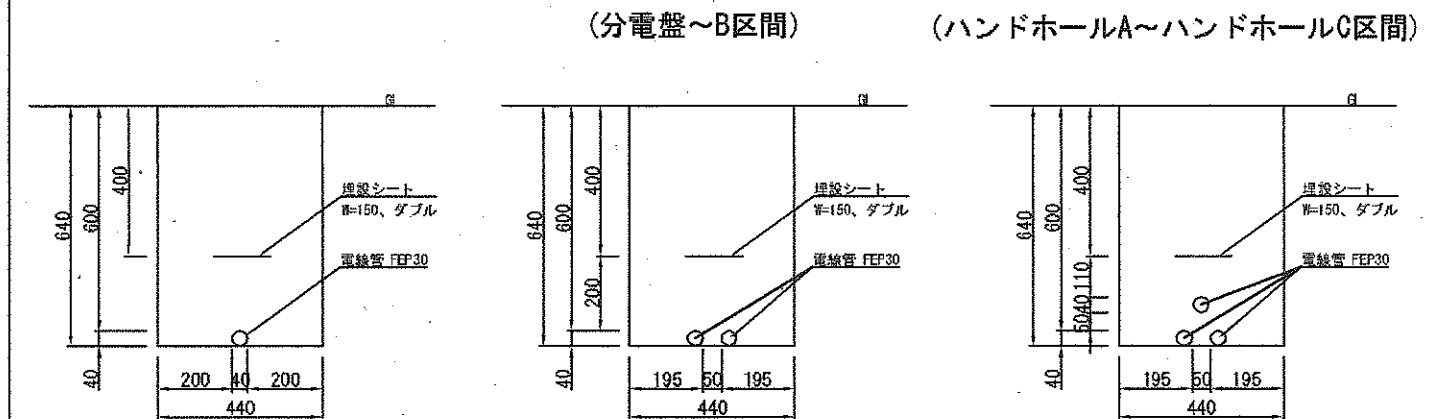
ハンドホール

S=1:20



電線管理設

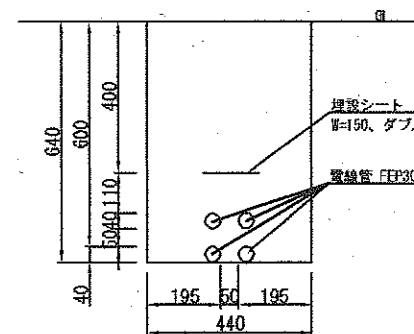
S=1:20



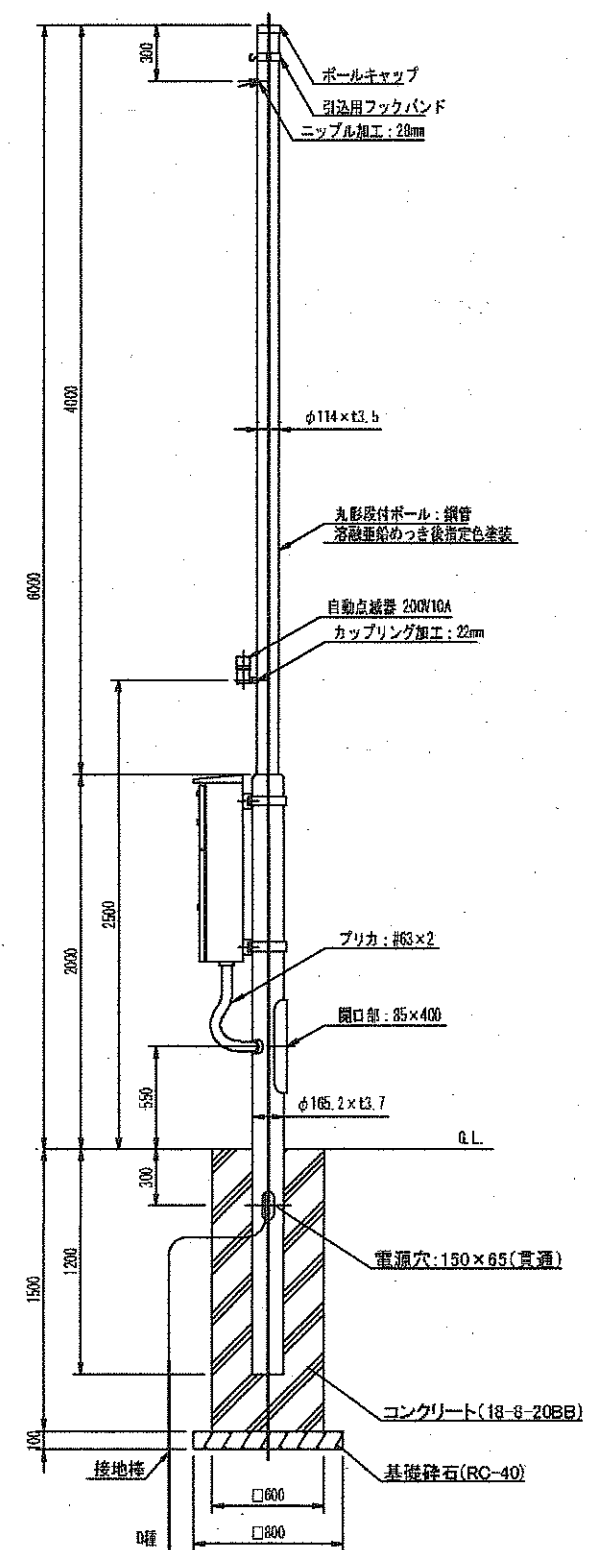
電線管理設

S=1:20

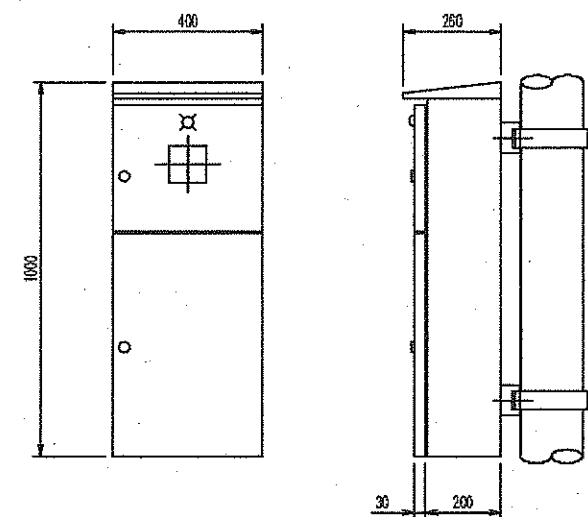
(分電盤〜ハンドホールA区間)



工 事 名		錦町1号公園整備工事			
図 面 名		詳細図（電気設備）（1）			
図面番号		20/28	図面作成		令和8年4月 日
課長		補佐		係長	
					設計
					
蕨市都市整備部道路公園課					

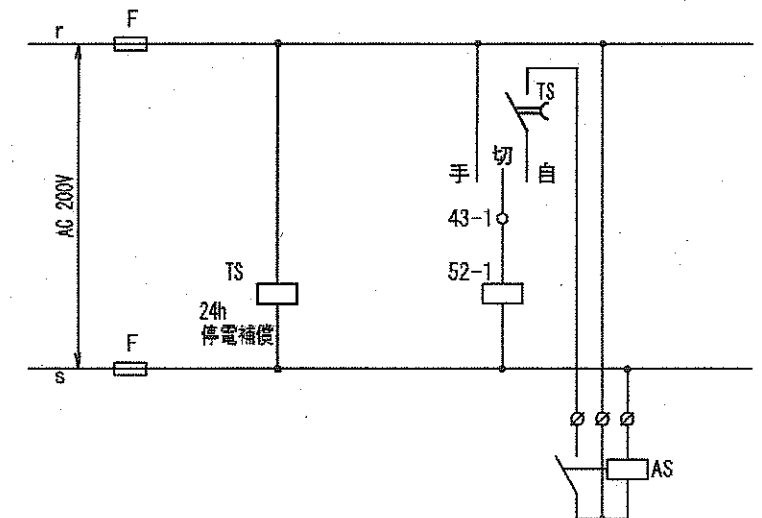


正面図 S=1:40

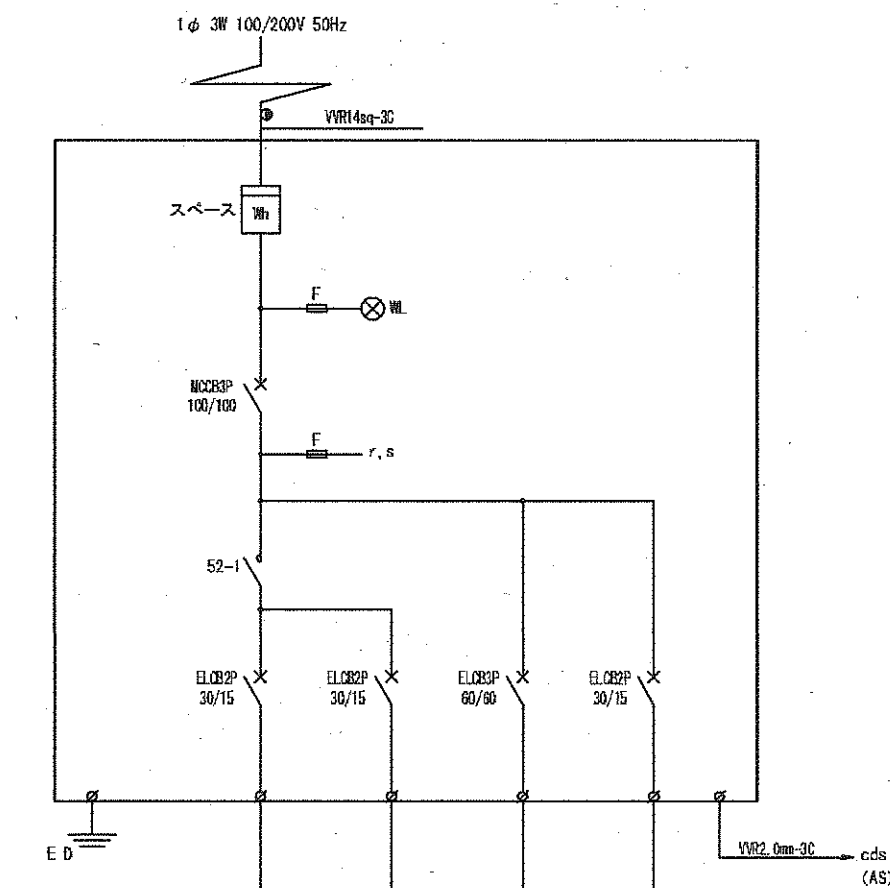


注記
1. 本体は、屋外用共架式とする。
2. 本体および扉は鋼板製、亜鉛溶射後指定色塗装仕上げとする。
3. 外形形状および寸法は、参考とする。

分電盤設置図 S=1:N



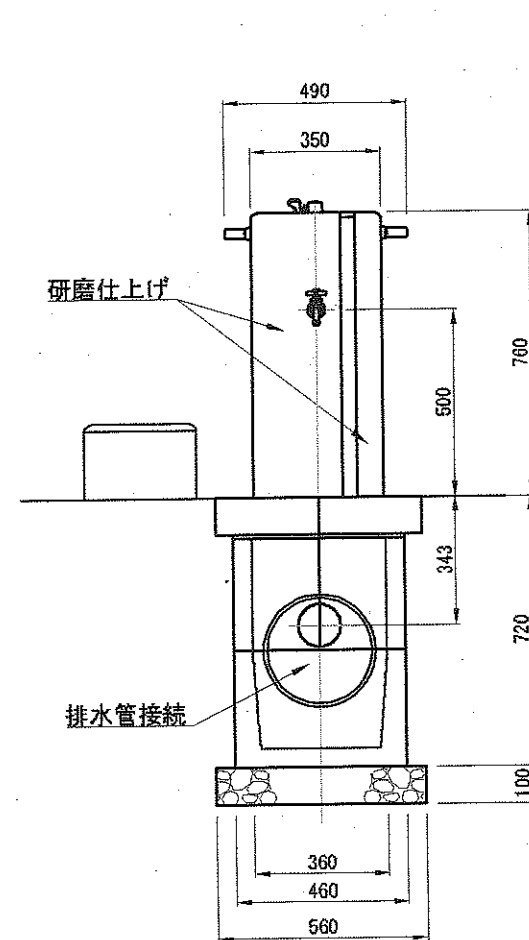
制御回路図 S=1:N



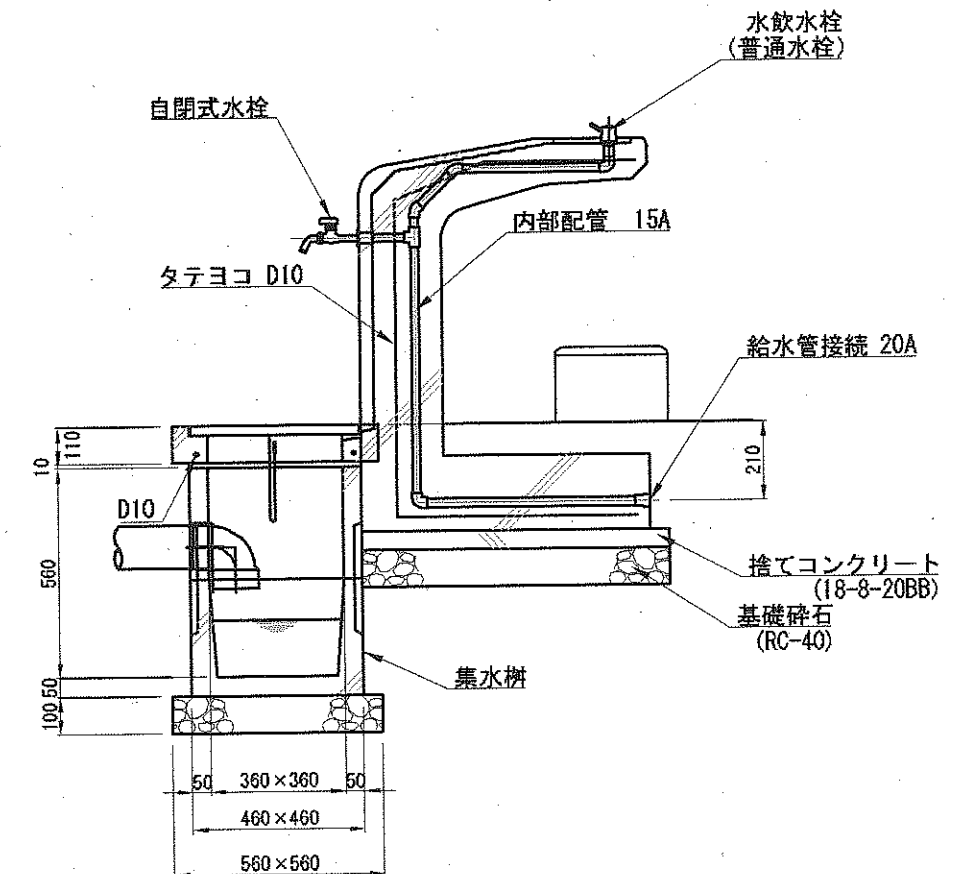
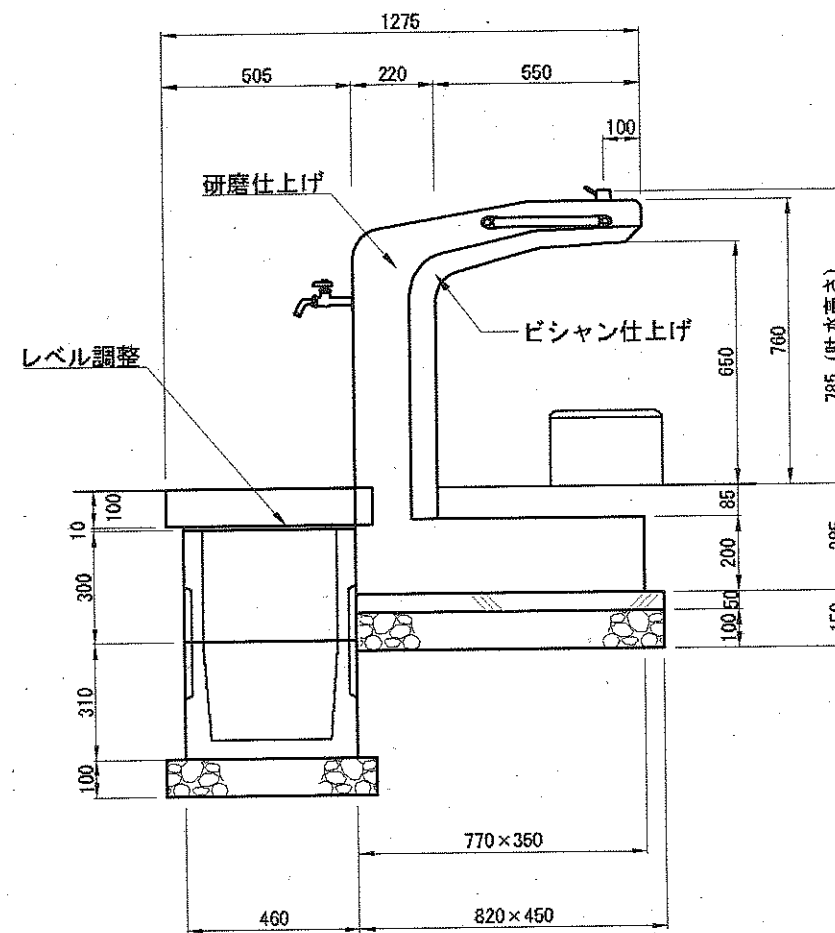
回路名称	照明1	照明2	休憩室	便所
電圧	200 V	200 V	100/200 V	100 V
負荷	E50064/NSAN9 ×2	E50064/NSAN9 ×1	空調設備等	電気器具計
電気容量 (kVA)	0.052	0.026	6.5	0.037

単線結線図 S=1:N

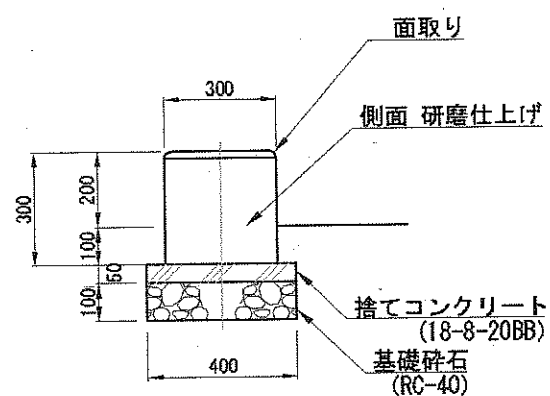
工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	詳細図(管理施設)(2)			
図面番号	21/28	図面作成	令和8年4月	日
課長		補佐	係長	設計
蕨市都市整備部道路公園課				



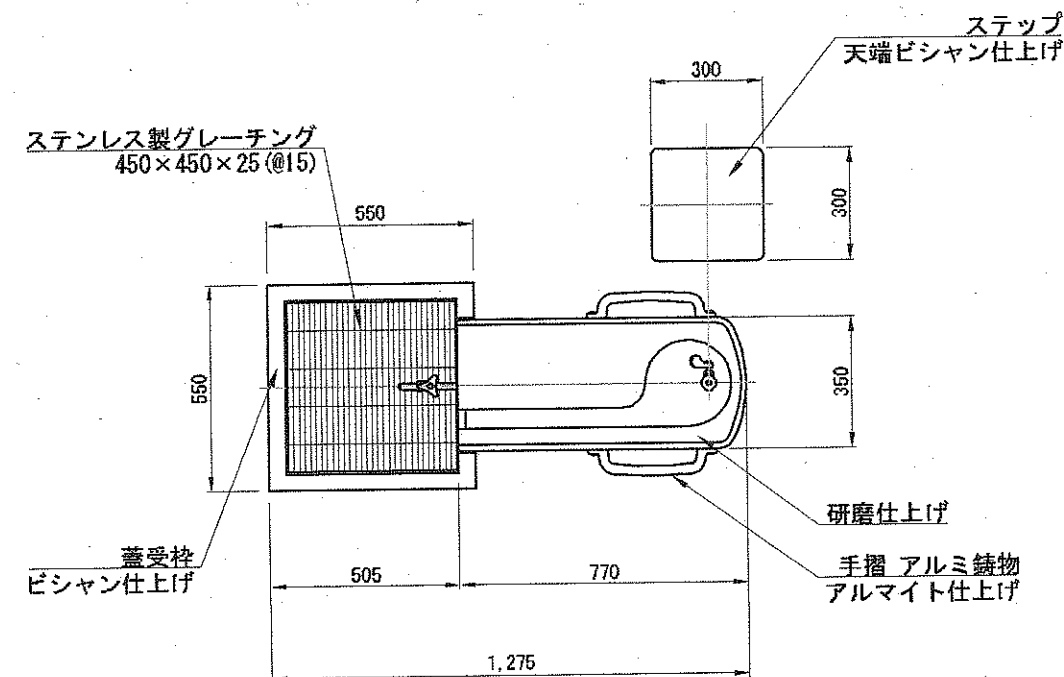
立面図 S=1:20



正面図 S=1:20



ステップ S=1:20



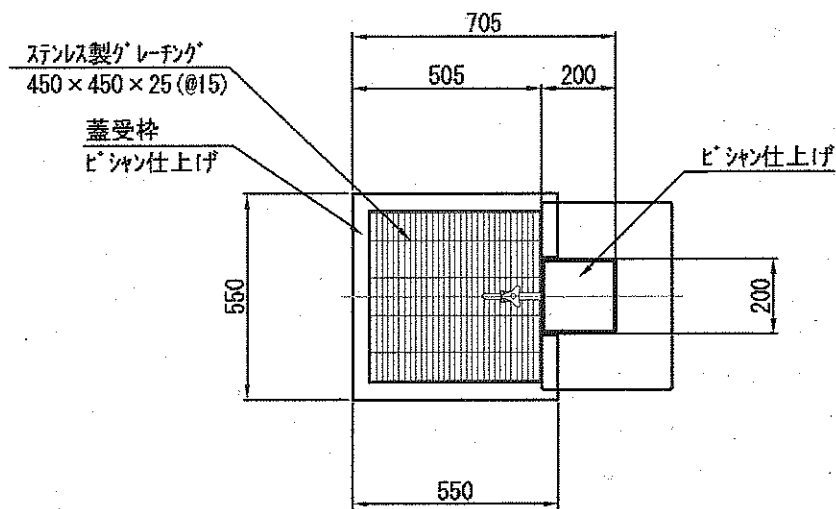
平面図 S=1:20

- 仕様
 本体 : 擬石タマミカゲ (イナダ), 研磨及びピシャン仕上げ
 受枠 : 擬石タマミカゲ (イナダ), ピシャン仕上げ、一部打放し
 内部配管 : 配管用ステンレス鋼管、ステンレス及び青銅製継手、防寒材巻き
 集水樹蓋 : ステンレス製グレーチング、ステンレスチェーン付き
 ステップ : 擬石タマミカゲ (イナダ), 研磨及びピシャン仕上げ

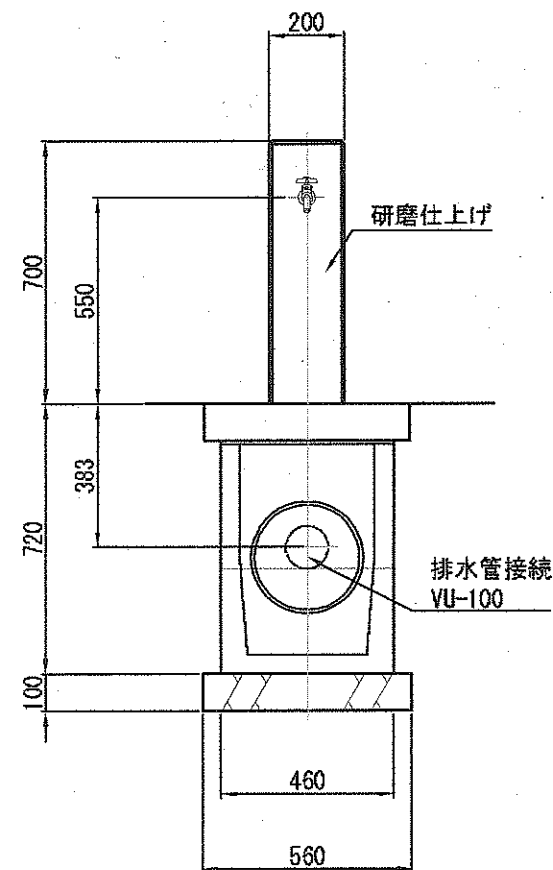
*本製品は (一社) 日本公園施設業協会による SPL 表示認定企業の製品とする。

*製品に起因して生じた損害を賠償する保険 (日本公園施設賠償責任保険制度) の加入品とする。

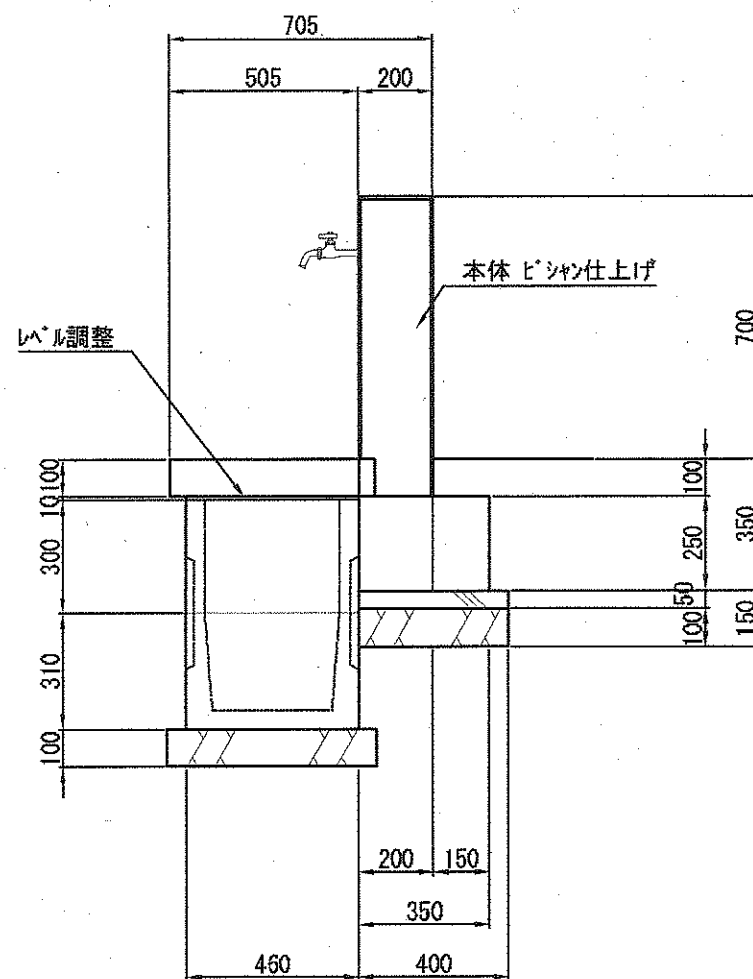
工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	詳細図 (サービス施設) (1)				
図面番号	22/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長	堀	補佐	係長	設計	13
藤市都市整備部道路公園課					



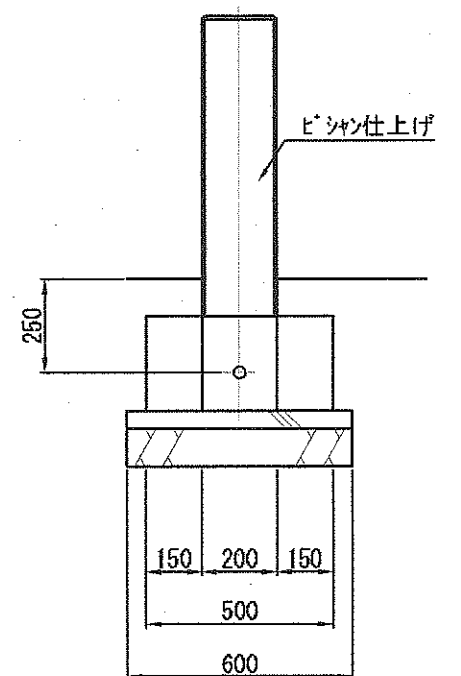
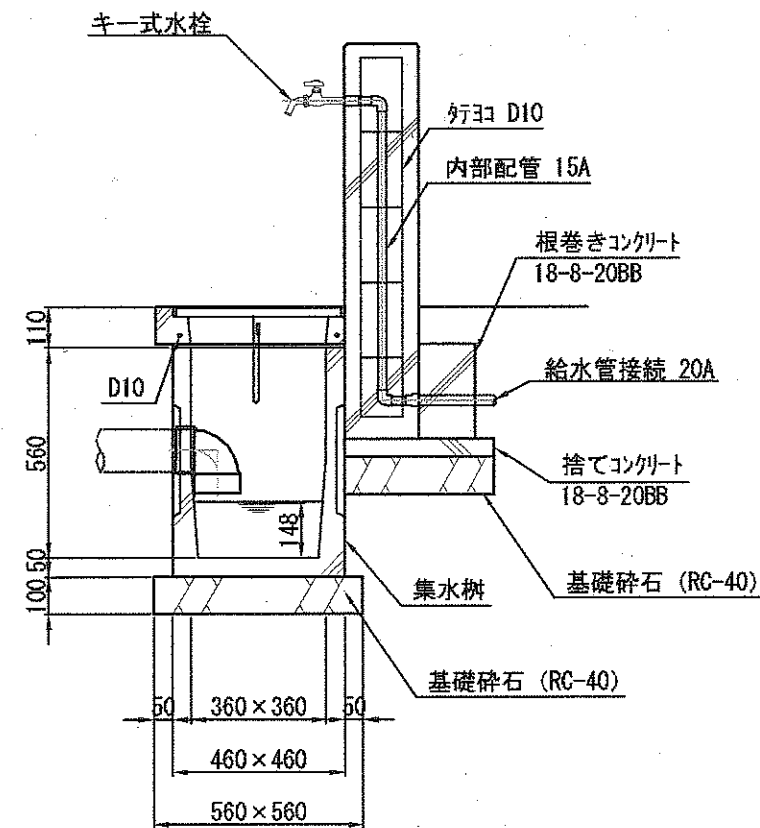
平面図 S=1:20



正面図 S=1:20



側面図 S=1:20



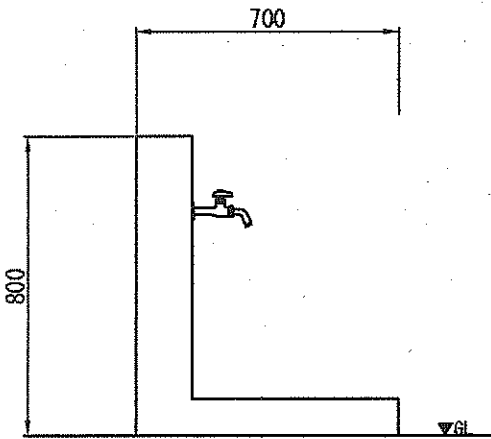
背面図 S=1:20

仕様

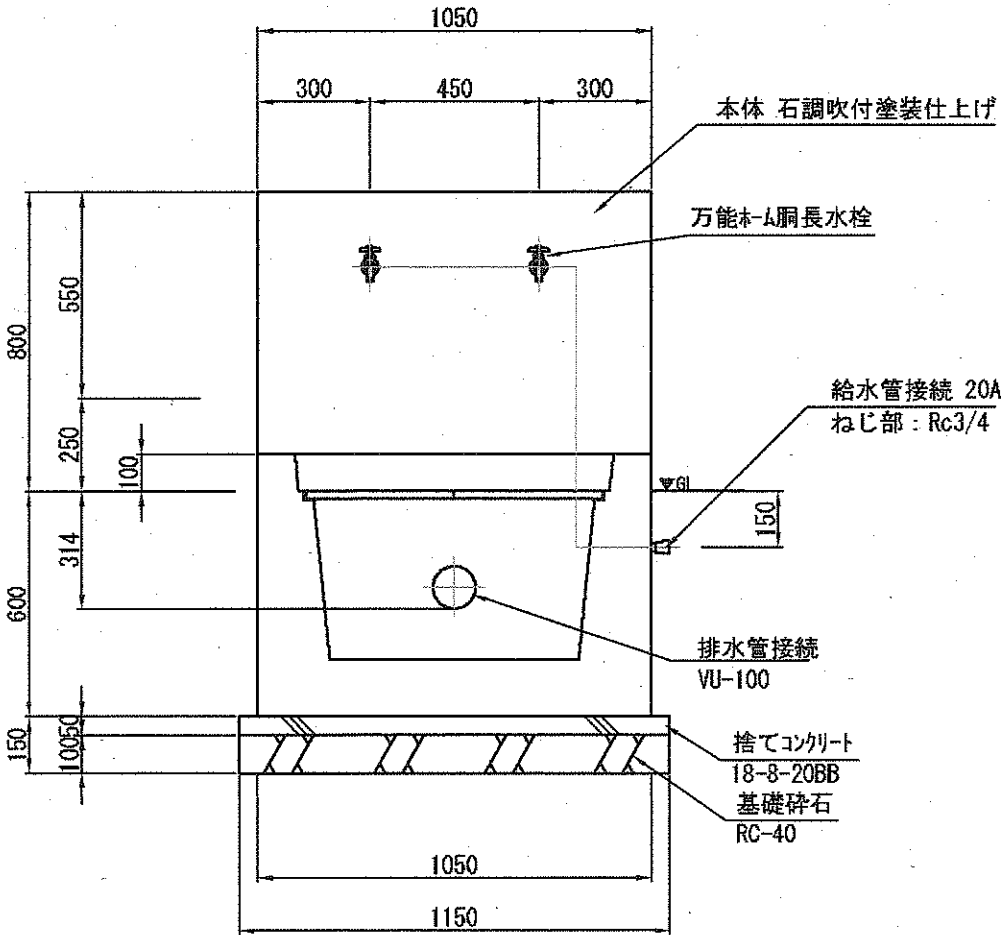
本体 : 擬石タマミカゲ (イナダ), 研磨及びビシャン仕上げ
内部配管 : 配管用ステンレス鋼管、ステンレス製継手、防寒材巻き
受枠 : 擬石タマミカゲ (イナダ), ビシャン仕上げ、一部打放し
集水桟 : ステンレス製グレーチング、ステンレスチェーン付き

* 本製品は (一社) 日本公園施設業協会によるSP、又はSPL表示認定企業の製造品とする。
* 本製品は (一社) 日本公園施設業協会による公園施設団体賠償責任保険制度の加入品とする。

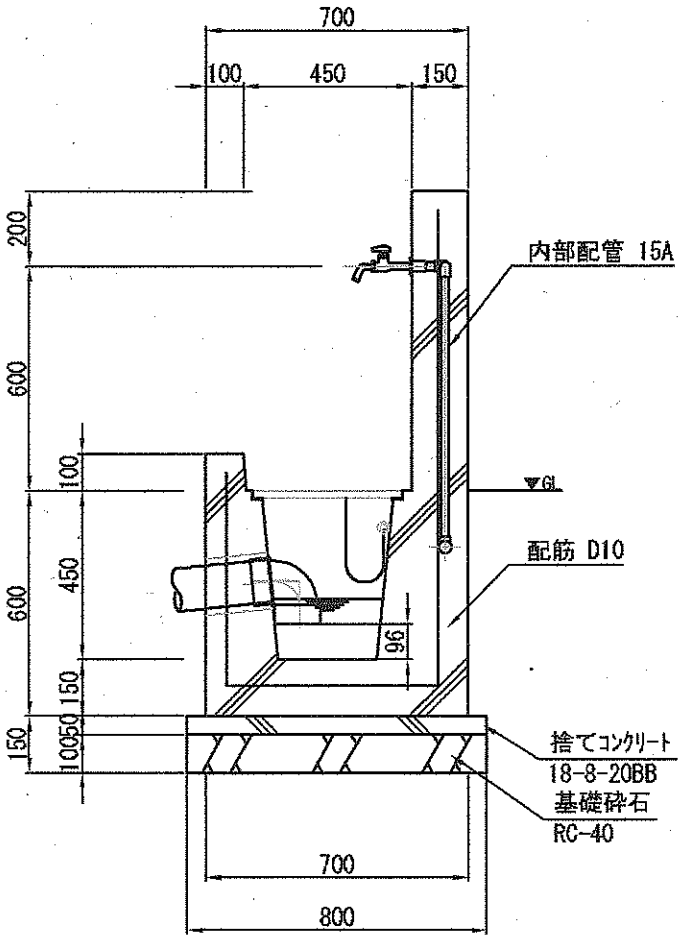
工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	詳細図 (サービス施設) (2)			
図面番号	23/28	図面作成	令和8年4月 日	
課長	補佐	係長	設計	
蕨市都市整備部道路公園課				



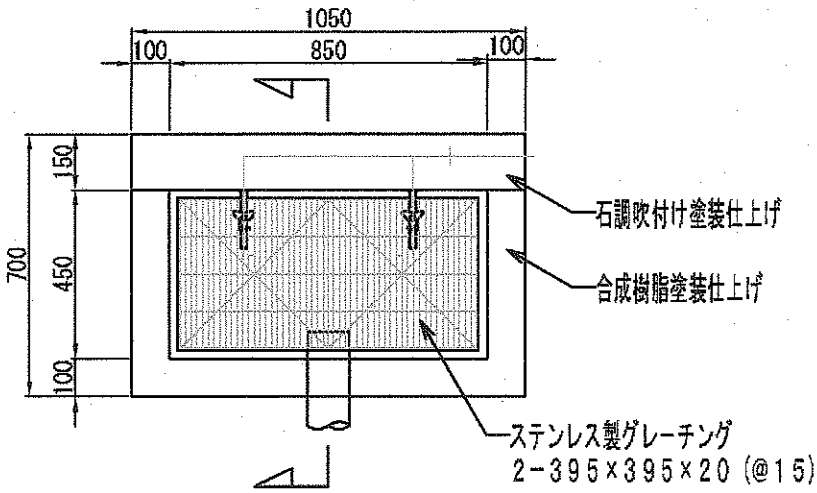
側面図 S=1:20



正面図 S=1:20



矢視断面図 S=1:20



平面図 S=1:20

仕様

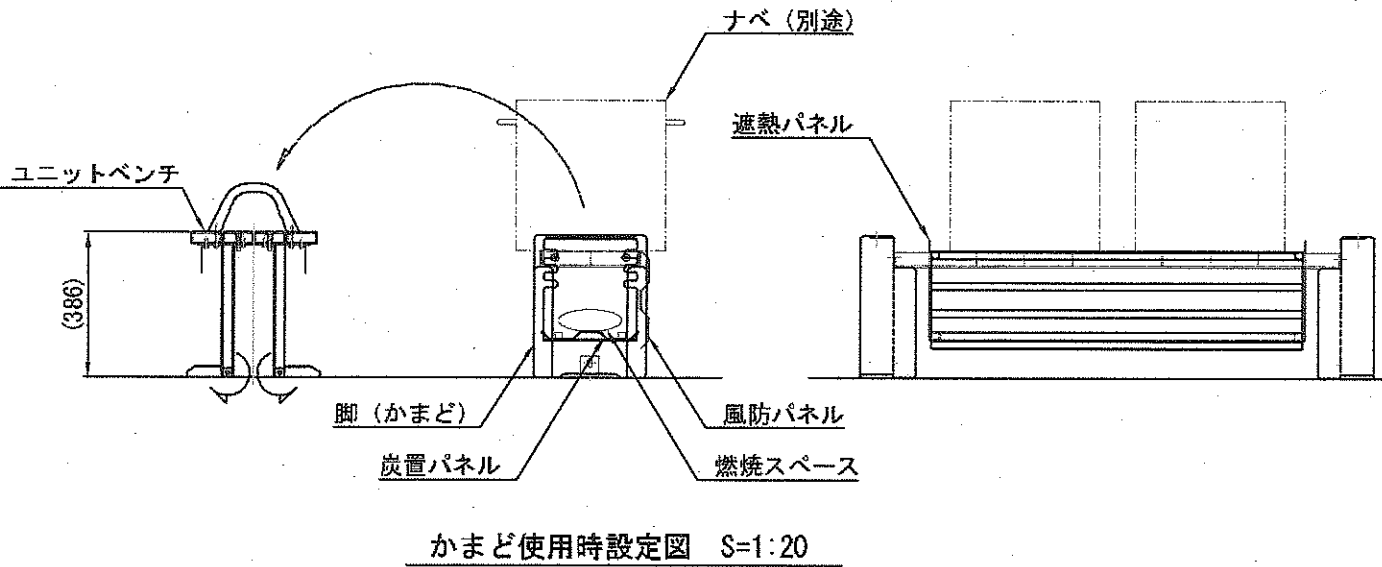
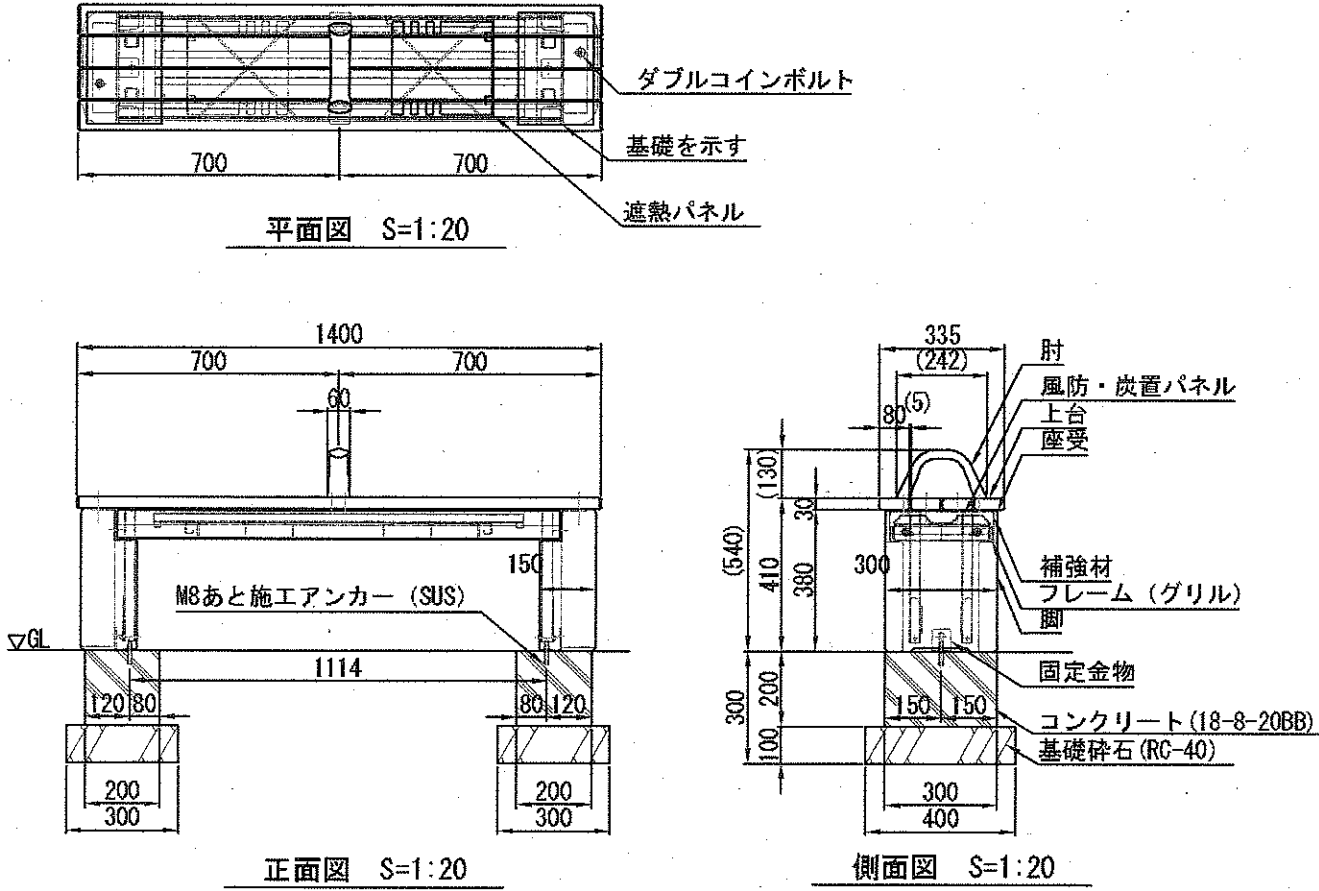
- 本体 : RC造、角面取り、石調吹付け塗装、一部合成樹脂塗装仕上げ
内部配管 : 配管用ステンレス鋼管、ステンレス製継手、防寒材巻き
集水樹蓋 : ステンレス製グレーチング、ステンレスチェーン付き

*本製品は（一社）日本公園施設業協会によるSP、又はSPL表示認定企業の製造品とする。
*本製品は（一社）日本公園施設業協会による公園施設団体賠償責任保険制度の加入品とする。

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	詳細図（サービス施設）(3)				
図面番号	24/28	図面作成	令和8年4月 日		
課長		補佐		係長	
設計					
藤市都市整備部道路公園課					

防災ベンチ

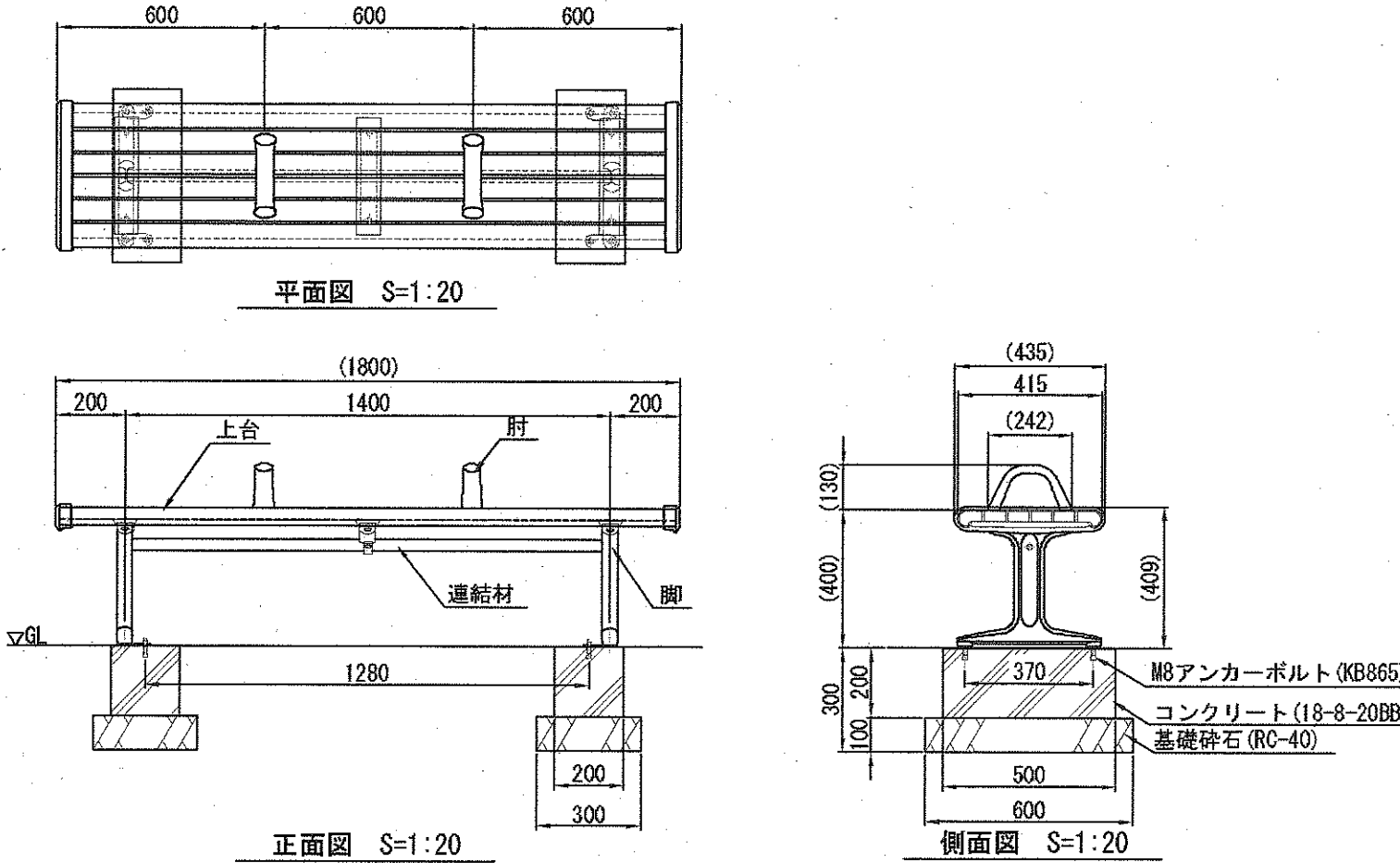
S=1:20



- ユニットベンチ
- 上台 : 80×30 アルミコア (チャコール)
 - 肘 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (メタリックグリーン)
 - 座受 : t4.5鋼板 ジンクパウダー下地 合成樹脂塗装 (アースグレー)
 - 収納脚 : □30×t2.3角鋼管 t4.5、t2.3鋼板 ジンクパウダー下地 合成樹脂塗装 (アースグレー)
 - 補強材 : t2.0ステンレス鋼板 t2.3鋼板 ハイジンク 合成樹脂塗装 (アースグレー)
- かまど
- フレーム (グリル) : L-40×40×t4ステンレス等辺山形鋼 t5×40ステンレス平鋼
 - 風防・炭置パネル・遮熱パネル : t1.5ステンレス鋼板
 - 脚 : 凝石ショットブラスト仕上
 - 固定金物 : t3×50ステンレス平鋼
 - 質量 : 90kg
- ※ISO9001 / ISO14001認証取得企業の製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会団体賠償責任保険に加入した製品とする。

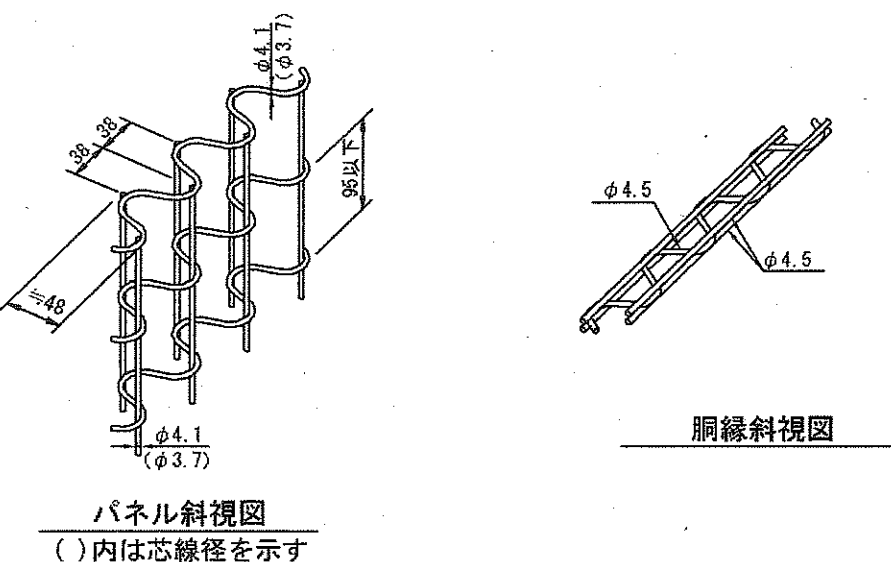
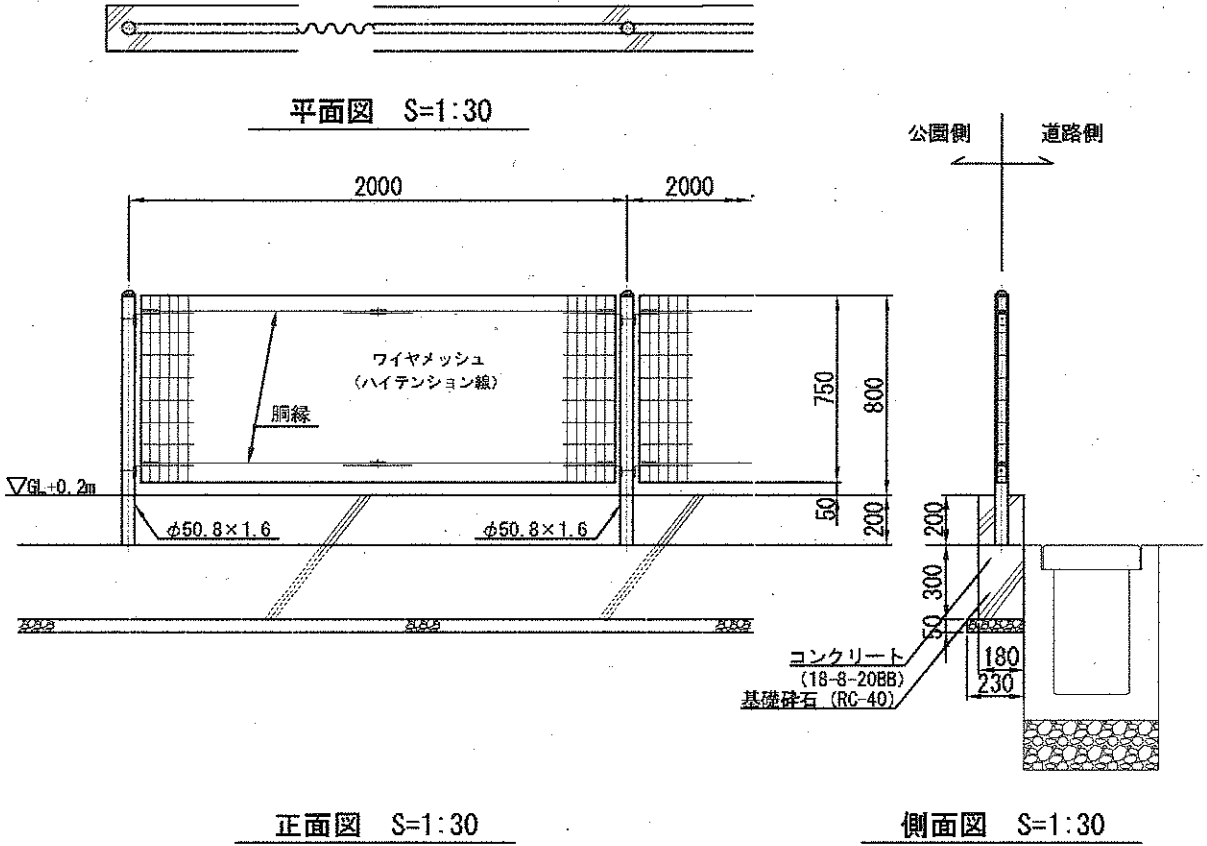
ベンチ

S=1:20



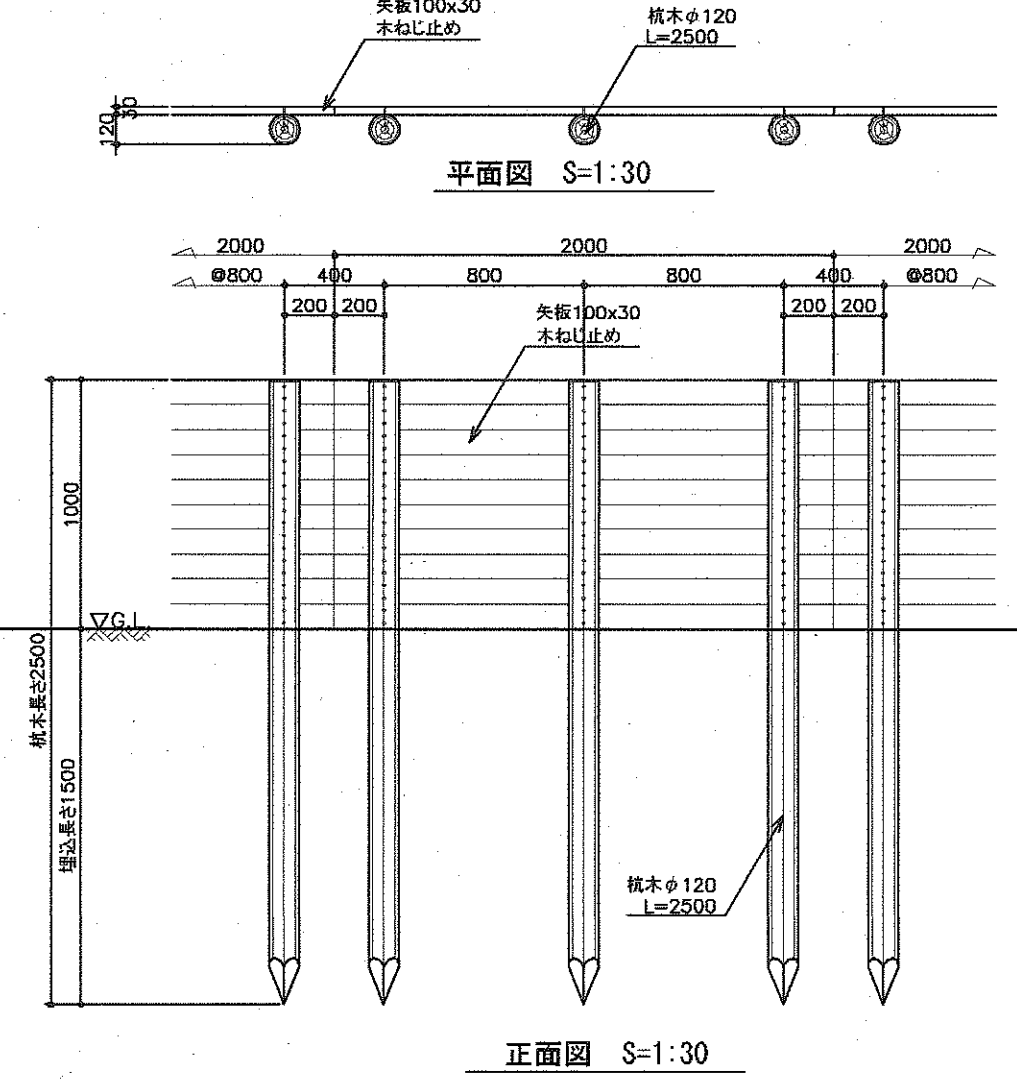
- 上台 : REKWOOD2 (レッド)
- アルミ押出形材 合成樹脂塗装 (メタリックグリーン)
 - アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (メタリックグリーン)
 - 肘 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (メタリックグリーン)
 - 連結材 : φ34アルミ押出形材 合成樹脂塗装 (メタリックグリーン)
 - 脚 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (メタリックグリーン)
 - 床固定金具付
 - 質量 : 45kg
- ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		詳細図（サービス施設）（4）					
図面番号		25/28		図面作成		令和8年4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装について
・主 柱 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上
パネル取付金具類 高耐候性樹脂粉体塗装
・ワイヤメッシュ 亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・胴 縁
・ボルト、ナット 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理



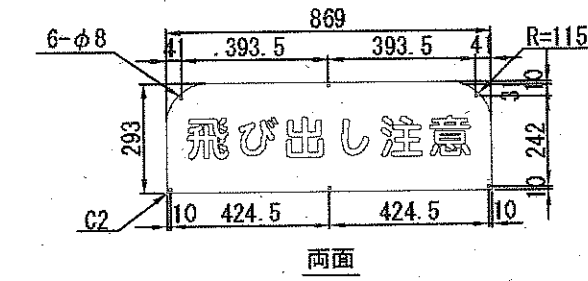
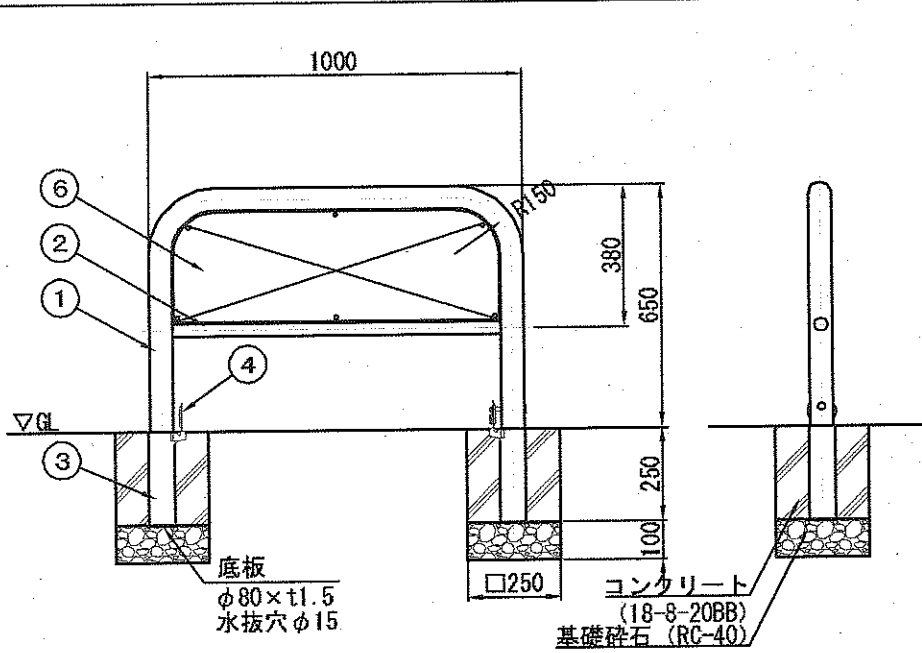
特記事項
木材 木材は杉材(角材はプレナ加工、丸太材はR-リ加工)を使用する。
木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
木材は全て加工後、AZMA ベンタールEC030木材保存剤同等品以上を加圧注入処理する。
加圧注入方法はJIS A 9002による。
本製品はAQ認証製品製造工場にて製作するものとする。
杭木の頭部は面取りを行なう。
ボルト類 木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。
製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
本製品は(一社)日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。
本製品は(一社)日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作する。

設計条件
背面土の摩擦抵抗角は、φ=30° とする。
背面土の単位体積重量は、γ=18kN/m³ とする。
背面土の粘着力は、c=0kN/m² とする。
載荷重は、q=0kN/m² とする。
土質は、砂質地盤とし、10kN/m² ≤30 とする。

工 事 名	錦町1号公園整備工事				
図 面 名	詳細図(管理施設)(I)				
図面番号	26/28	図面作成	令和8年4月 日		
課 長		補 佐		係 長	
設計					
藤 市 都 市 整 備 部 道 路 公 園 課					

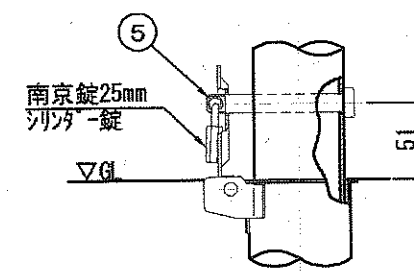
車止め（着脱式）

S=図示(A3)



サイズ	下地	文字	表示面仕様
H293×W869	白	赤	封入レジ型反射シート(インクジェット印刷)

サインプレート詳細図 S=1:20

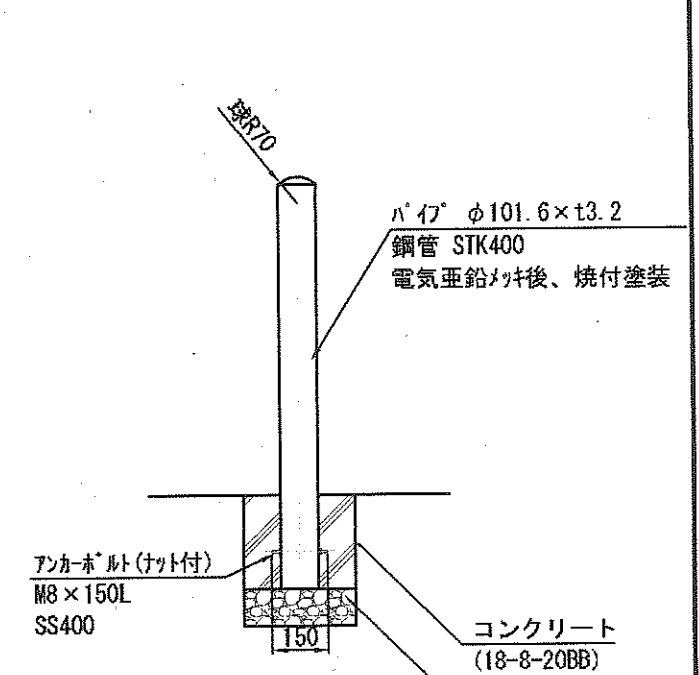
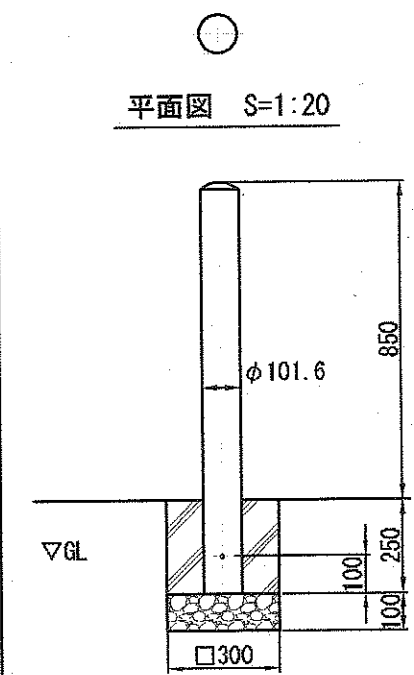


施錠部詳細図 S=1:5

番号	品名	数量	材質	備考
1	パイプ	1	鋼管 STK400	φ60.5×t2.8 亜鉛メッキ鋼管、焼付塗装、茶色
2	横パイプ	1	鋼管 STK400	φ34×t2.3 亜鉛メッキ鋼管、焼付塗装、茶色
3	差込スリーブ	2	スチール SUS430	φ68×t1.5
4	差込スリーブ蓋	2	スチール SUS430	φ76×t2.0
5	ワッシャー	1	スチール SUS304	φ12×99L
6	サインプレート	1	7mm板 A5052P	t2.0 反射シート貼

車止め（単独柱）

S=1:20



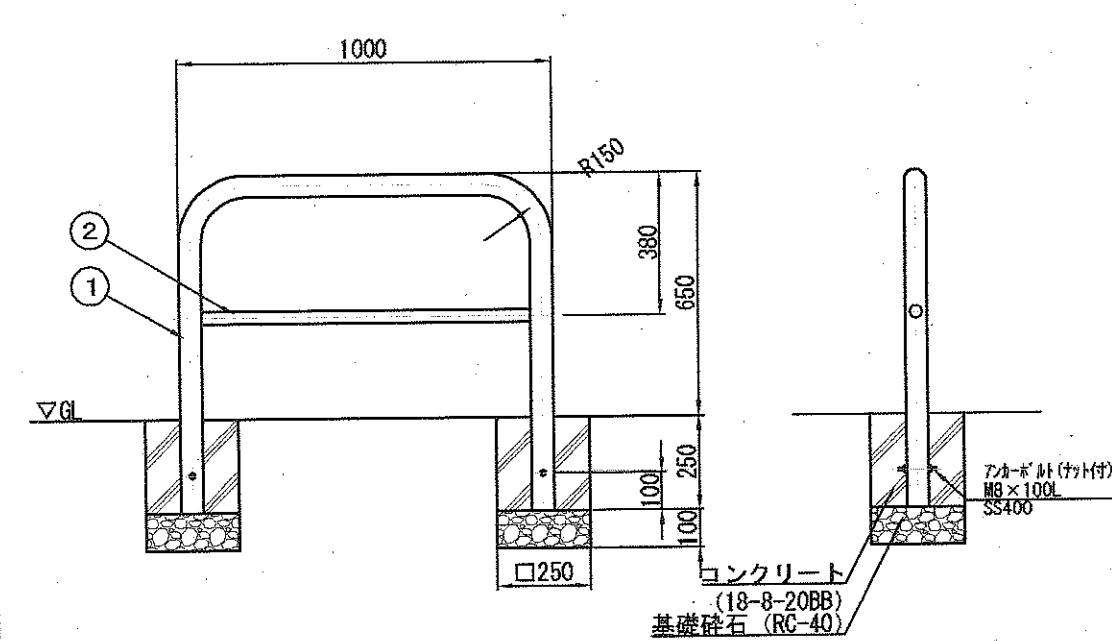
正面図 S=1:20

側面図 S=1:20

色番号	色	日塗工No.
020	白(W)	日塗工 EN-95近似色
010	黄(Y)	日塗工 E17-70X近似色
030	茶(C)	日塗工 E19-20B近似色

車止め（固定式）

S=1:20



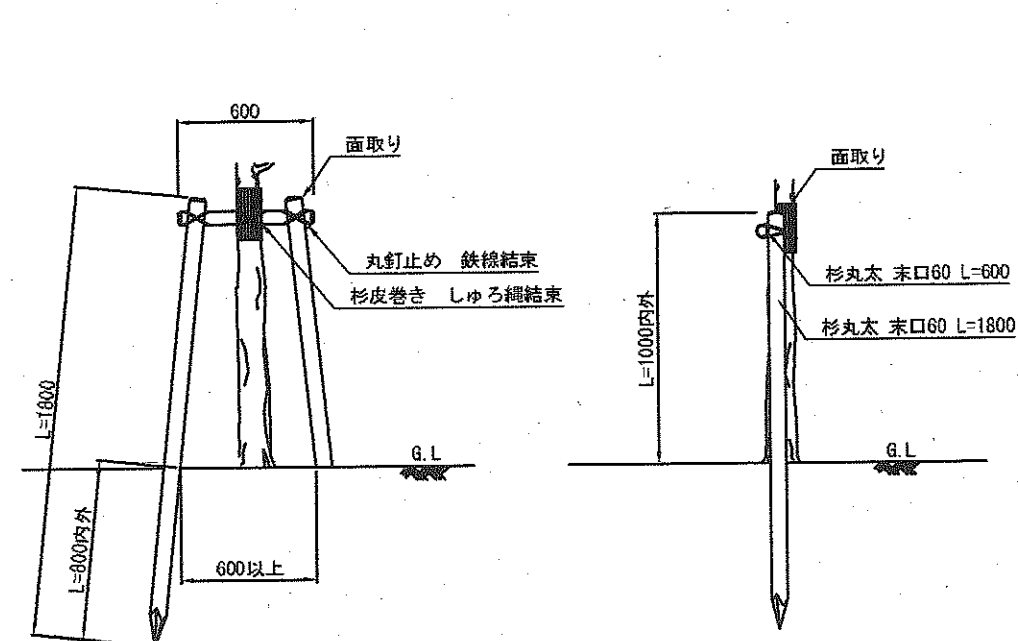
正面図 S=1:20

側面図 S=1:20

番号	品名	数量	材質	備考
1	パイプ	1	鋼管 STK400	φ60.5×t2.8 亜鉛メッキ鋼管、焼付塗装、茶色
2	横パイプ	1	鋼管 STK400	φ34×t2.3 亜鉛メッキ鋼管、焼付塗装、茶色

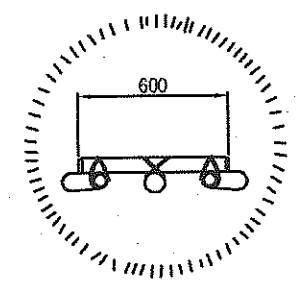
二脚鳥居（添木付）

S=1:30



正面図 S=1:30

側面図 S=1:30



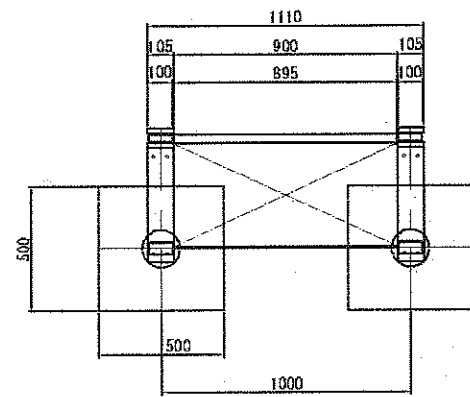
正面図 S=1:30

注) ・杉丸太は、CUAZ-2又はACQ加圧注入とする。
・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18又は、#18より太いものを使用する。
・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線掛けの上、割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。
・杉丸太は面取りを行う。
・樹木と支柱の結束は、しゅろ縄掛けとし、2本どり3回巻きを標準とする。

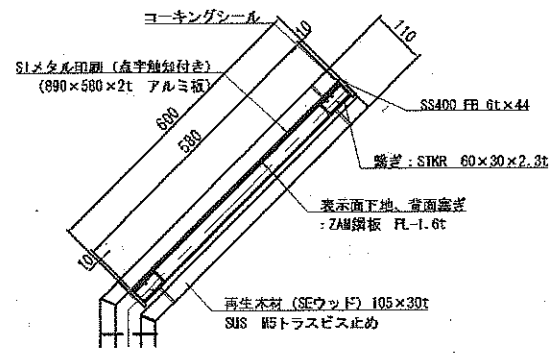
工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	詳細図(管理施設)(2)			
図面番号	27/28	図面作成	令和8年4月 日	
課長	補佐	係長	設計	
蕨市都市整備部道路公園課				

蝕知案内板

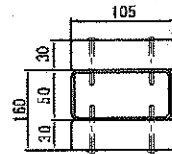
S=図示(A3)



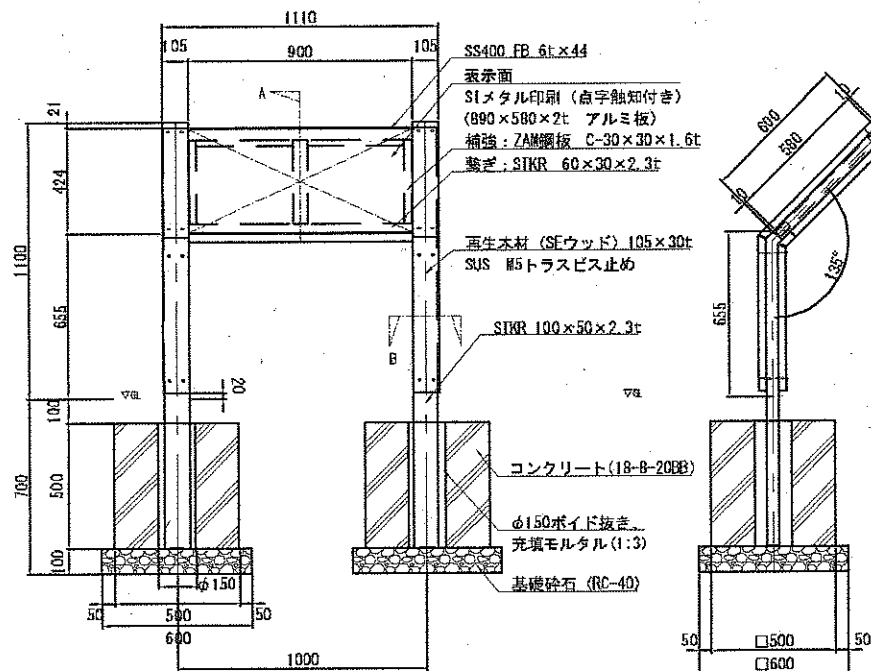
平面图 S=1:30



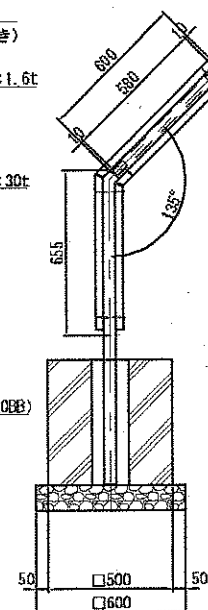
A断面図 S=1:40



B断面图 S=1:15



正面图 S=1:30

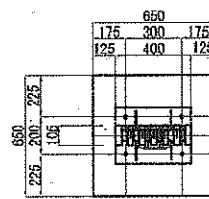


側面図 S=1:30

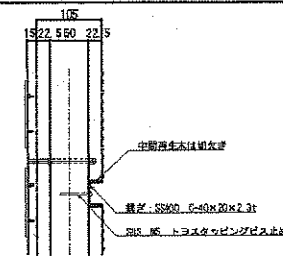
※鋼材は溶融亜鉛メッキ処理の上、見え掛かり部分をウレタン樹脂塗装とする。
 ※ZM鋼板は見え掛かり部分をウレタン樹脂塗装仕上げとする。
 ※塗装色は、特記無き場合は、こげ茶（日産工 15-208）とする。
 ※再生木材（スレッド）は銘柄番号 JIS A 5741 の製品とし色はブラウン色とする。
 ※表示面印刷はJISメダル印刷とし表示内容は監督官との協議のうえ決定する。。
 ※ISO9001認証取得企業の管理・製造品とする。
 ※製造物責任法（PL法）に対応した保険加入品とする。
 ※国土交通省が品質確保の促進性に基づき登録した公認施設の点検・診断を適正に実施し、管理体制等を含む技術資格保有者（公認施設安全安全管理士）の管理・製造品とする。

園名板

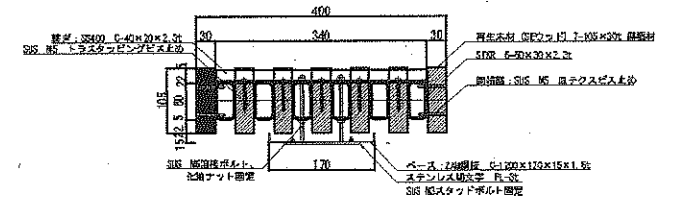
S=図示(A3)



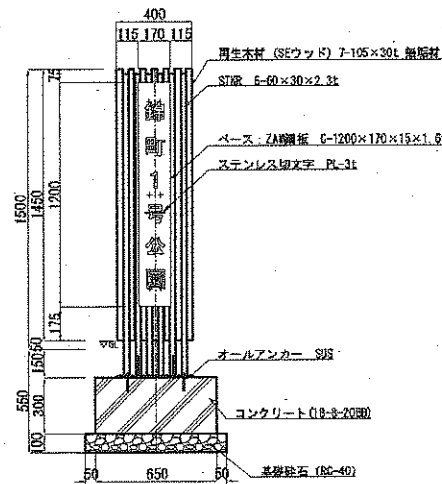
平面图 S=1:40



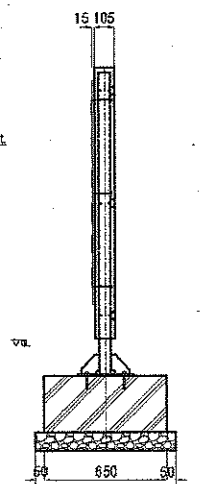
縦断面図 S=1:50



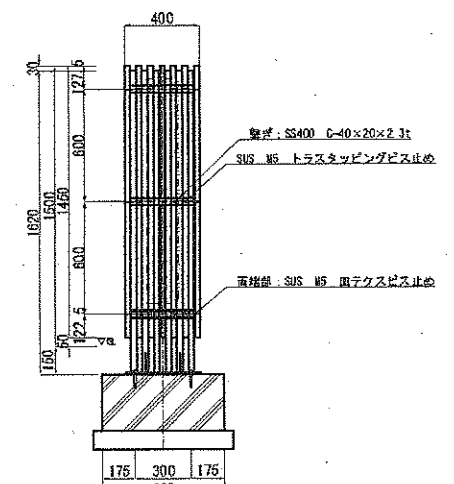
横断面图 S=1:50



正面图 S=1:40



側面図 S=1:40



背面図 S=1:40

特記事項

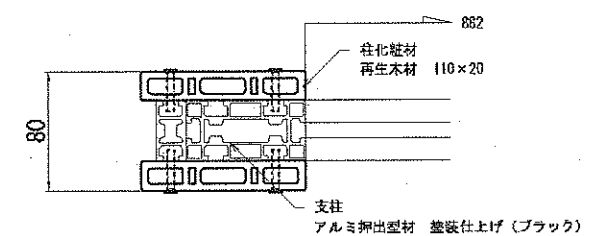
- 樹材は油松並にメツク松無しの、見え易く部分せウレタン樹脂塗装とする。
- 樹材塗装は、特に指示無き場合、JIS A (日本) 15-2000 同等品とする。
- 両年木材 (SEWU) は焼色木目、CIVIS A 5741 の製品とする。
- 両生木材は、特に指示無き場合、ブラウン色とする。
- 切り文字の書体、塗装色は監査員との協議により決定する。
- 199001 認定図書企業の管理、製品とする。
- 製造業者は (注) に対応した保険加入品とする。
- 品質検査官が品質確保の重要な要素に基づき製造した分組監査の産物、監査を適正に実施し、管理報告を含む品質保証書 (公認監査員監査企業) の管理、製造品とする。

制札版

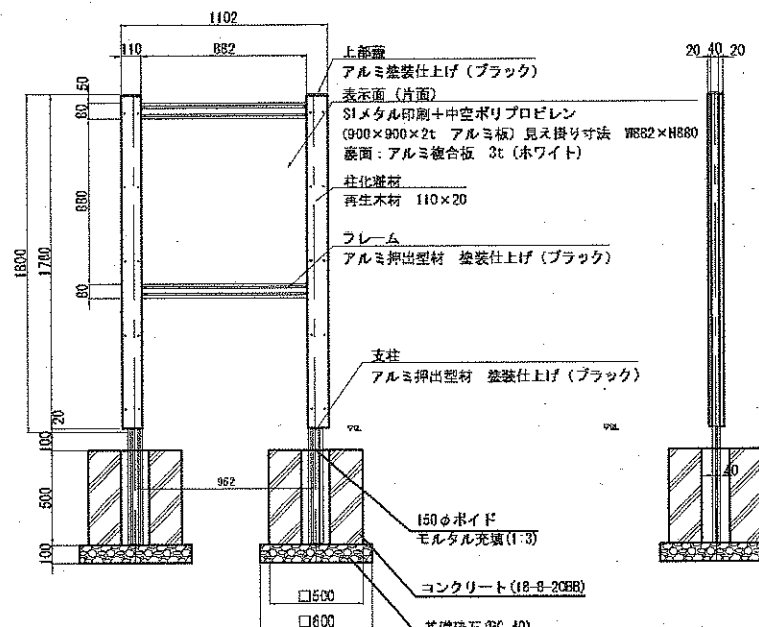
S=図示(A3)



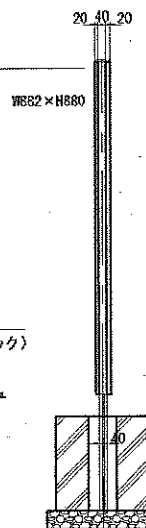
平面图 S=1:40



詳細平面図 S=1:20



正面图 S=1:40

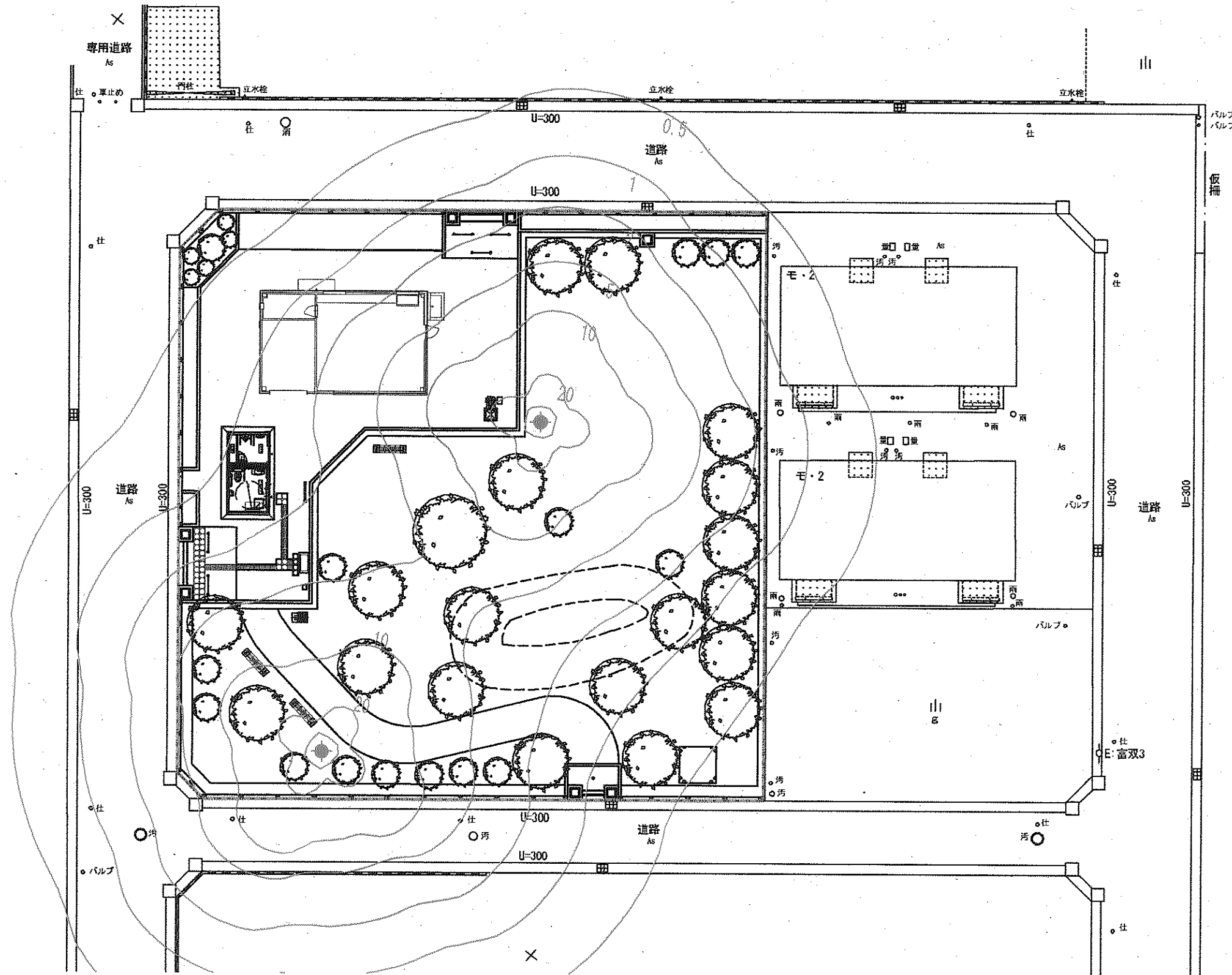


側面図 S=1:40

特記事項

- *鋼材は溶融亜鉛メッキ処理の上、見え掛かり部分をウレタン樹脂塗装とする。
- *ZAM鋼板は見え掛かり部分をウレタン樹脂塗装仕上げとする。
- *塗装色は、特記場合、こげ茶（日産工 15-202）とする。
- *再生木材（SEWU）は規格番号 JIS A 5741 の製品とし色はブラウン色とする。
- *表示面印刷は31メートル印刷とし表示内容は監督員との協議のうえ決定する。。
- *ISO9001認証取得企業の管理、製造品とする。
- *製造物責任法（PL法）に対応した保険加入品とする。
- *国土交通省が品質確保の重要性に基づき登録した公園施設の点検、診断を真正に実施、管理に格別である技術資格保有者（公園施設製品安全管理士）の管理、製造品とする。

工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		詳細図（サービス施設）(3)					
図面番号		28/ 28		図面作成		令和 8 年 4 月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蘇市都市整備部道路公園課							



凡 例

照明器具形式	E50064/NSAN9
光 源	昼白色LED
光 束 (lm)	5,500
保 守 率	0.86
灯 高 (m)	4.7
数 量 (基)	2

照度及び計算範囲

平均照度 (lx)	5.2
-----------	-----

(注記)

- 1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。 単位: (lx)
- 2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

工 事 名	錦町1号公園整備工事				
図 面 名	照度分布図（参考図）				
図面番号	/ 28	図面作成	令和 8 年 4 月 日		
課 長		補 佐		係 長	設 計
蕨市都市整備部道路公園課					

錦町 1 号公園整備工事

設 計 図

令和 8 年 4 月

蕨 市

工事名

錦町1号公園整備工事

特記仕様書

1 工事概要

1. 工事場所

敷地概要

2. 敷地面積

3. 工事種目

4. 工期

5. 工事範囲

② 仮設工事

③ 土工

④ 地盤工事

⑤ 鉄骨工事

⑥ コンクリート工事

⑦ 鉄骨工事

8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石工事

11 タイル工事

12 木工

13 屋根及び土間工事

14 金属工事

15 左官工事

16 建具工事

17 カーテンウォール工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 ユニットの設置工事

21 排水工事

22 掃雪工事

23 植栽及び土壌改良工事

① 一般共通事項

② 仮設工事

③ 土工

④ 地盤工事

⑤ 鉄骨工事

⑥ コンクリート工事

⑦ 鉄骨工事

8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石工事

11 タイル工事

12 木工

13 屋根及び土間工事

14 金属工事

15 左官工事

16 建具工事

17 カーテンウォール工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 ユニットの設置工事

21 排水工事

22 掃雪工事

23 植栽及び土壌改良工事

① 一般共通事項

② 仮設工事

③ 土工

④ 地盤工事

⑤ 鉄骨工事

⑥ コンクリート工事

⑦ 鉄骨工事

8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石工事

11 タイル工事

12 木工

13 屋根及び土間工事

14 金属工事

15 左官工事

16 建具工事

17 カーテンウォール工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 ユニットの設置工事

21 排水工事

22 掃雪工事

23 植栽及び土壌改良工事

① 一般共通事項

② 仮設工事

③ 土工

④ 地盤工事

⑤ 鉄骨工事

⑥ コンクリート工事

⑦ 鉄骨工事

8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石工事

11 タイル工事

12 木工

13 屋根及び土間工事

14 金属工事

15 左官工事

16 建具工事

17 カーテンウォール工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 ユニットの設置工事

21 排水工事

22 掃雪工事

23 植栽及び土壌改良工事

① 一般共通事項

② 仮設工事

③ 土工

④ 地盤工事

⑤ 鉄骨工事

⑥ コンクリート工事

⑦ 鉄骨工事

8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石工事

11 タイル工事

12 木工

13 屋根及び土間工事

14 金属工事

15 左官工事

16 建具工事

17 カーテンウォール工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 ユニットの設置工事

21 排水工事

22 掃雪工事

23 植栽及び土壌改良工事

工 事 名						錦町1号公園整備工事						
図 面 名						特記仕様書(1)						
図面番号			A02/		図面作成		令和		8年		4月 日	
課長			補佐			係長			設計			
蔵市都市整備部道路公園課												

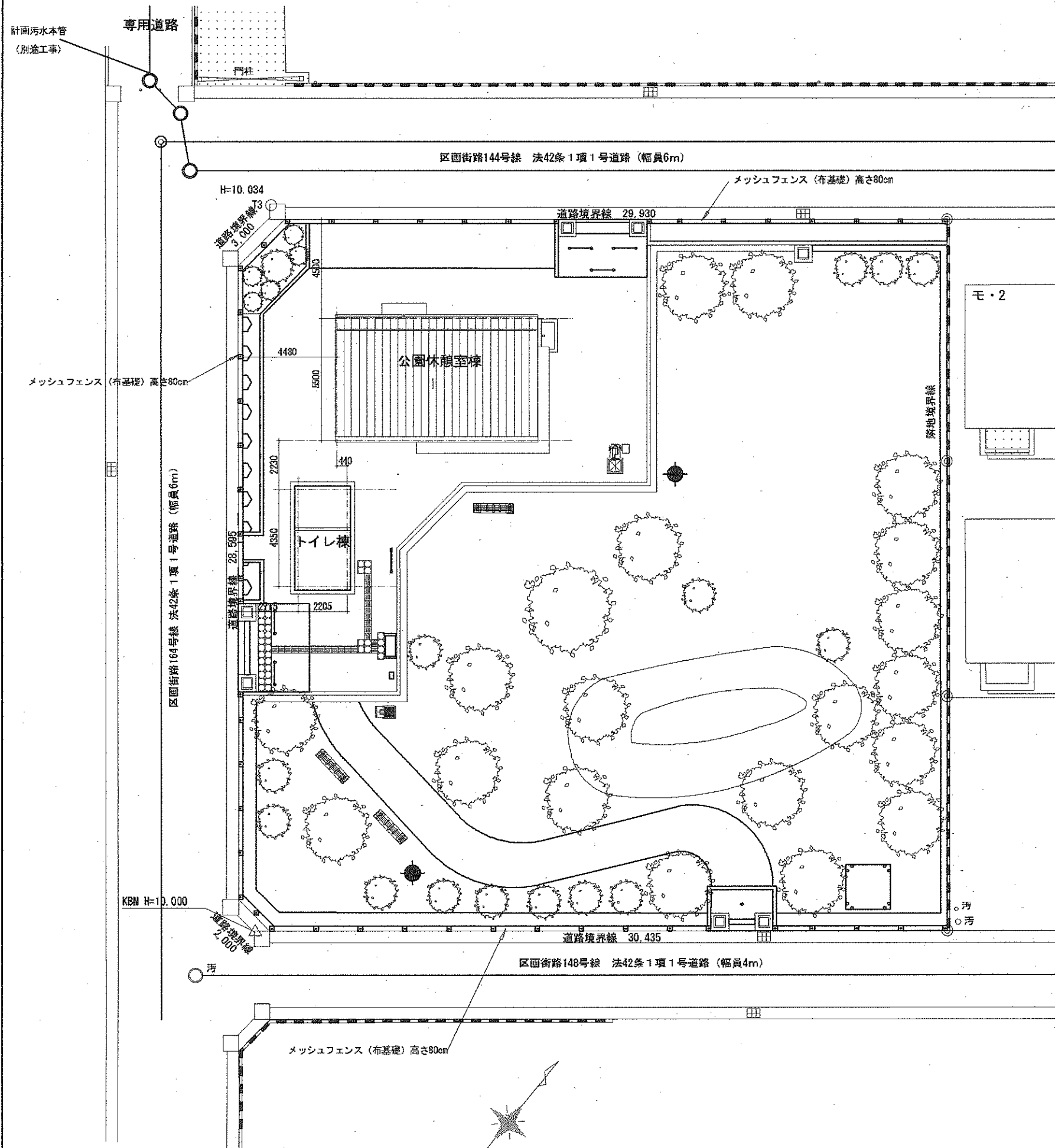
Highly detailed Japanese construction specification form for 'Park Road Improvement Work' (公園道路整備工事). The form is organized into columns for different construction items: 2. Waterproofing (防水), 3. Polymer Modified Asphalt (合成高分子アスファルト), 4. External Wall Waterproofing (外壁防水), 5. External Wall Construction (外壁工法), 6. Foundation and Slope Retention (基礎及び階段の石張り), 7. Foundation Construction (基礎工事施工), 8. Waterproofing (防水), 9. External Wall Construction (外壁工法), 10. Stone Work (石工), 11. Tile Work (タイル工事), 12. Wood Work (木工). Each section contains detailed material specifications, construction methods, and tables for material selection and quantities. The form includes various tables for material specifications, construction methods, and material selection. The bottom right corner contains a project information section with fields for project name, drawing name, drawing number, and dates.

⑥ 検査員等 ⑦ 検査員等 ⑧ 防鼠・防蟻・防虫処理	⑨ 内部仕切扉及び床組み 10 窓、出入口その他 11 床板張り 12 壁及び天井下地	⑩ 長尺金属板葺 2 折板葺 3 粘土瓦葺 ⑪ とい	⑫ 鋼製軽量建築 ⑬ ステンレス製建築 ⑭ 木製建築
⑫ 鋼製軽量建築 ⑬ ステンレス製建築 ⑭ 木製建築	⑮ 鋼製軽量建築 ⑯ ステンレス製建築 ⑰ 木製建築	⑱ 鋼製軽量建築 ⑲ ステンレス製建築 ⑳ 木製建築	㉑ 鋼製軽量建築 ㉒ ステンレス製建築 ㉓ 木製建築
㉔ 鋼製軽量建築 ㉕ ステンレス製建築 ㉖ 木製建築	㉗ 鋼製軽量建築 ㉘ ステンレス製建築 ㉙ 木製建築	㉚ 鋼製軽量建築 ㉛ ステンレス製建築 ㉜ 木製建築	㉝ 鋼製軽量建築 ㉞ ステンレス製建築 ㉟ 木製建築
㊱ 鋼製軽量建築 ㊲ ステンレス製建築 ㊳ 木製建築	㊴ 鋼製軽量建築 ㊵ ステンレス製建築 ㊶ 木製建築	㊷ 鋼製軽量建築 ㊸ ステンレス製建築 ㊹ 木製建築	㊺ 鋼製軽量建築 ㊻ ステンレス製建築 ㊼ 木製建築
㊽ 鋼製軽量建築 ㊾ ステンレス製建築 ㊿ 木製建築	㋀ 鋼製軽量建築 ㋁ ステンレス製建築 ㋂ 木製建築	㋃ 鋼製軽量建築 ㋄ ステンレス製建築 ㋅ 木製建築	㋆ 鋼製軽量建築 ㋇ ステンレス製建築 ㋈ 木製建築
㋉ 鋼製軽量建築 ㋊ ステンレス製建築 ㋋ 木製建築	㋌ 鋼製軽量建築 ㋍ ステンレス製建築 ㋎ 木製建築	㋏ 鋼製軽量建築 ㋐ ステンレス製建築 ㋑ 木製建築	㋒ 鋼製軽量建築 ㋓ ステンレス製建築 ㋔ 木製建築
㋕ 鋼製軽量建築 ㋖ ステンレス製建築 ㋗ 木製建築	㋘ 鋼製軽量建築 ㋙ ステンレス製建築 ㋚ 木製建築	㋛ 鋼製軽量建築 ㋜ ステンレス製建築 ㋝ 木製建築	㋞ 鋼製軽量建築 ㋟ ステンレス製建築 ㋠ 木製建築

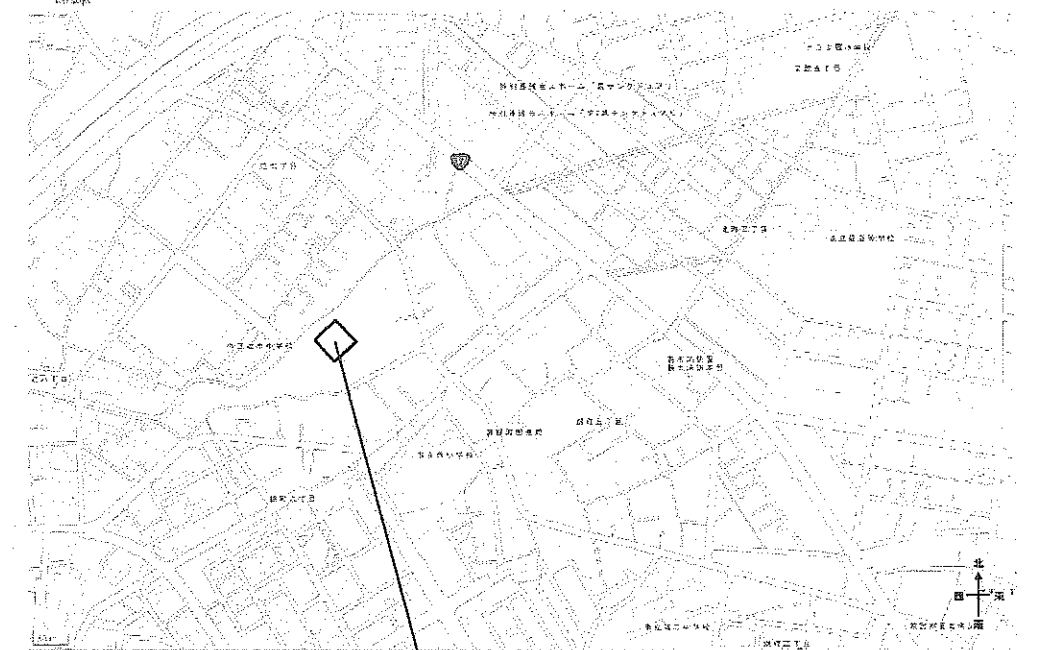
[illegible]

配置図

S=1:200 (A3)

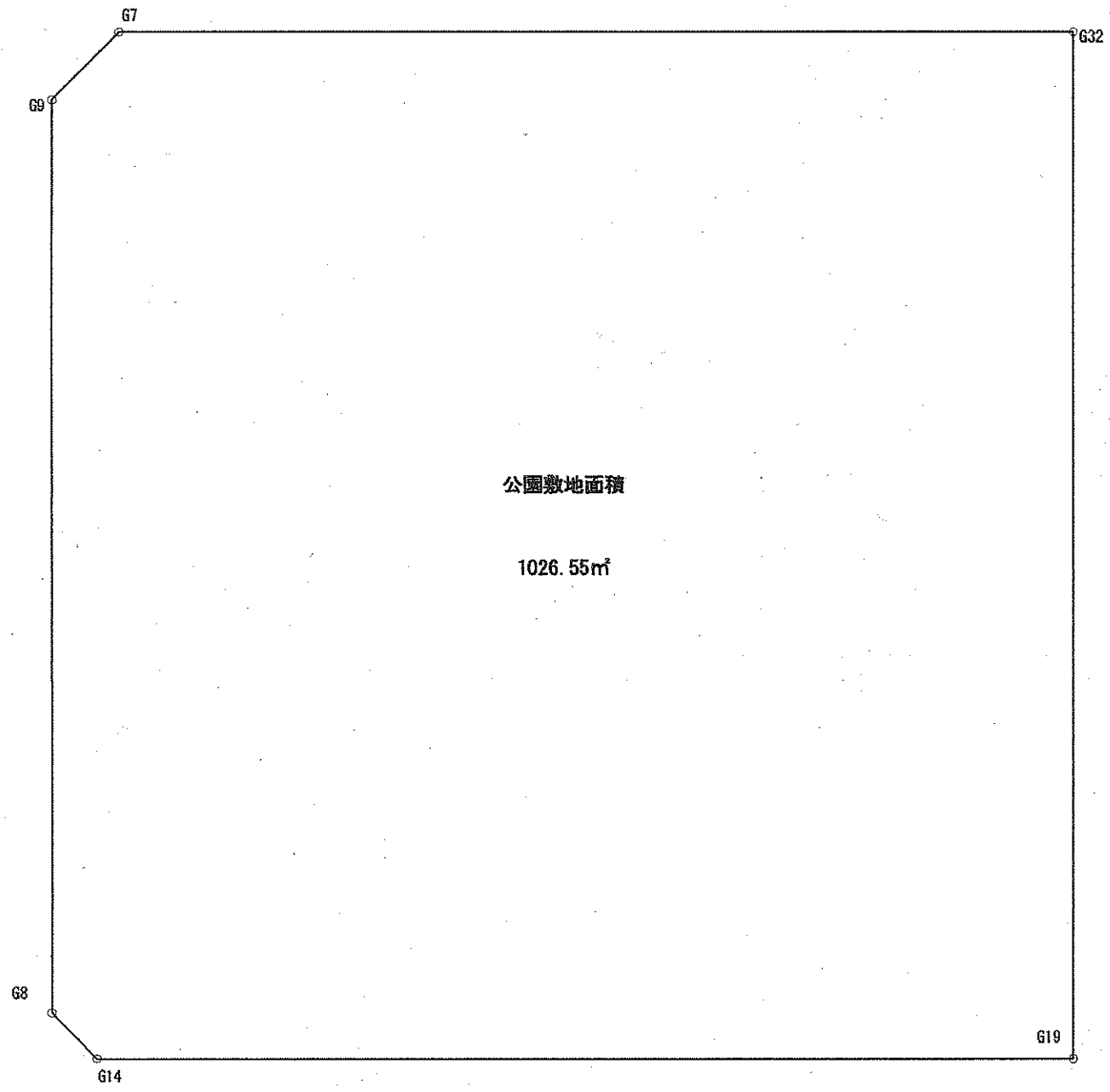


地理院地図



蕨市錦町6丁目175番街区の一部

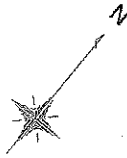
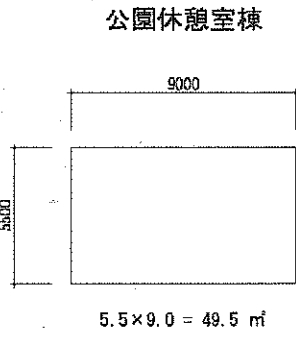
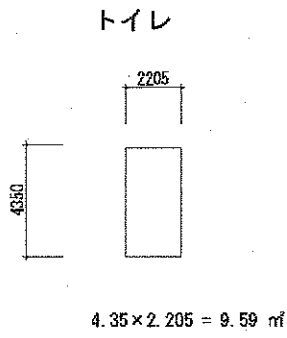
工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		案内図・配置図					
図面番号		A07/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							



敷地求積表

地 番	公園面積			
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
G7	-19029.486	-14764.110	-23.478	446774.272308
G9	-19032.465	-14764.404	17.795	-338682.714675
G8	-19054.611	-14746.315	20.087	-382749.971157
G14	-19054.818	-14744.317	25.718	-490051.809324
G19	-19035.460	-14720.597	3.391	-64549.244860
G32	-19010.557	-14740.926	-43.513	827206.366741
合 計				-2053.100967
合 計 面 積				1026.5504835
地 積				1026.55 m ²

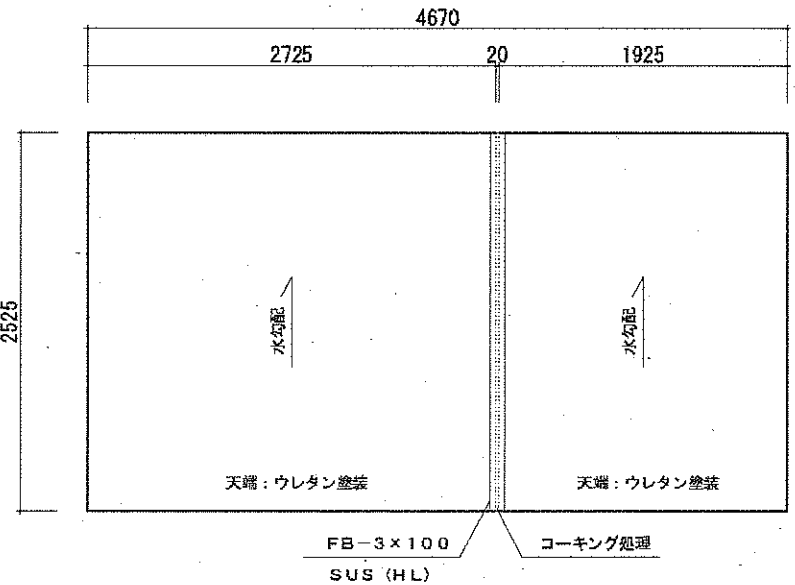
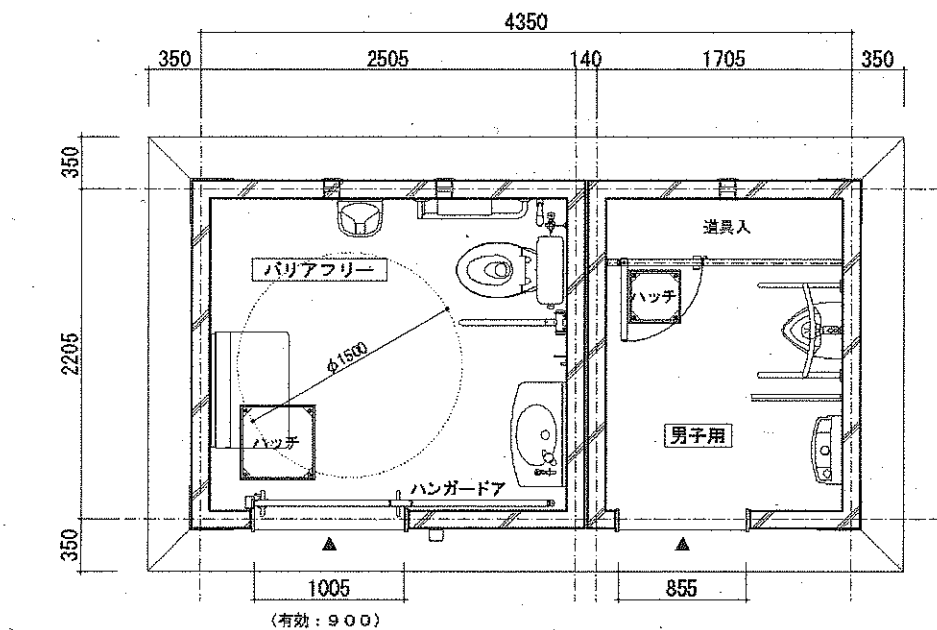
建物求積表
建築面積＝延べ面積



工 事 名	錦町1号公園整備工事				
図 面 名	敷地求積表・建物求積表				
図面番号	A08/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長	
蕨市都市整備部道路公園課					

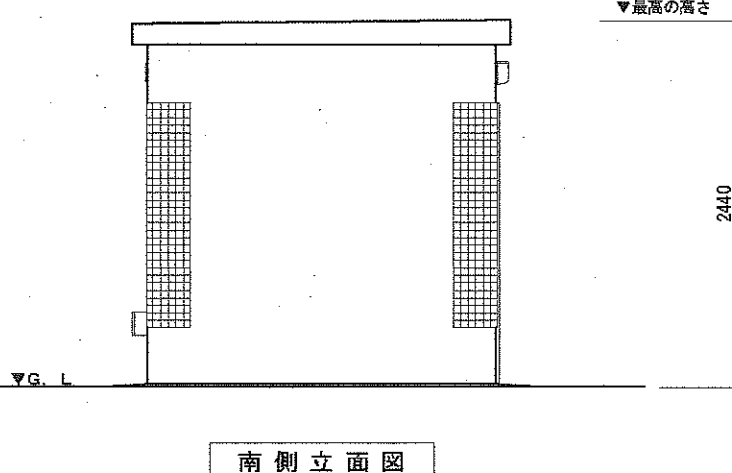
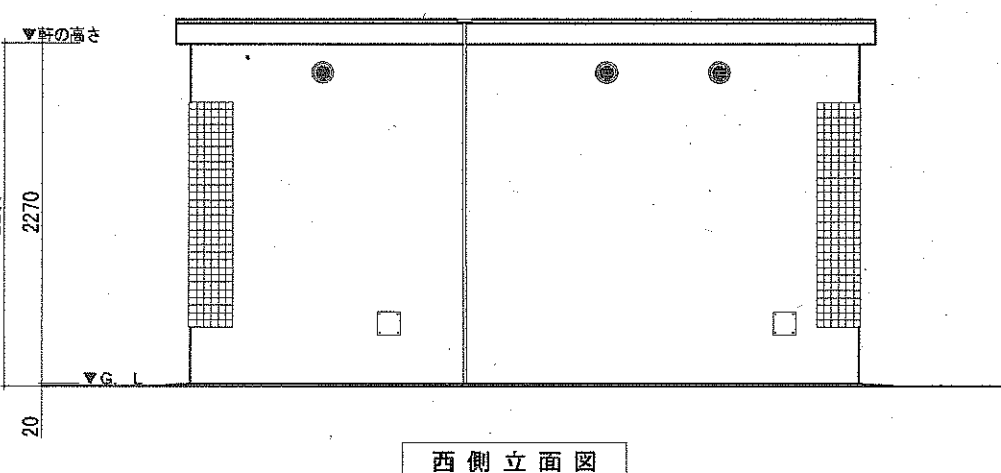
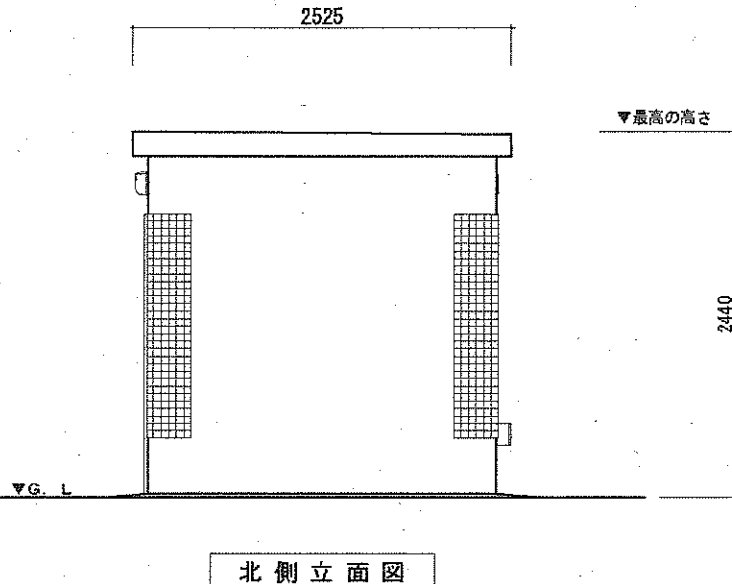
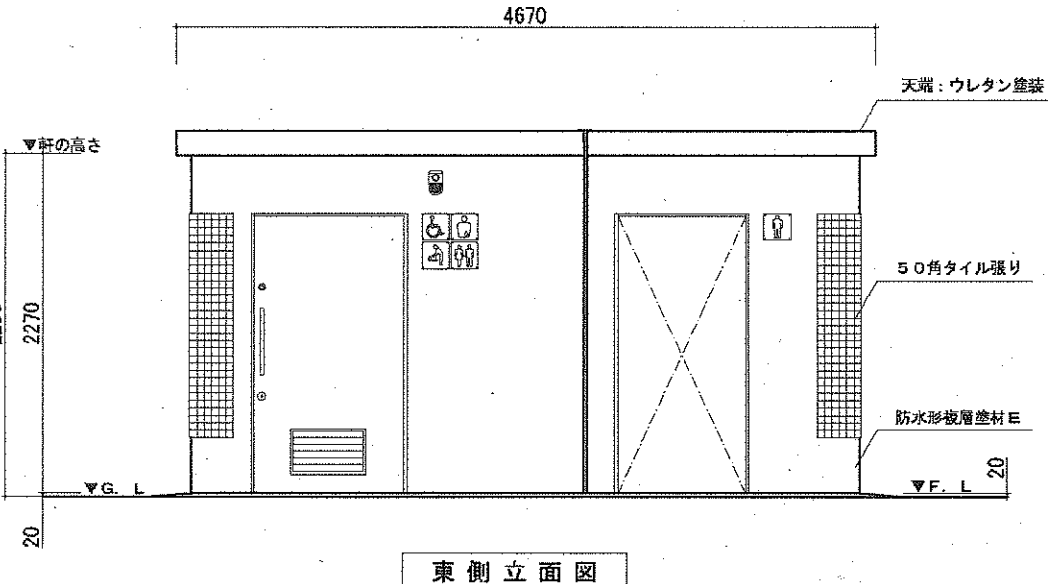
トイレ棟 仕上表、平面図、立面図、屋根伏図

S=1:50 (A3)

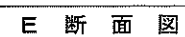
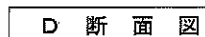
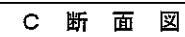
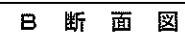
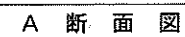


仕上表		
名称	使用材料	色彩計画 (色・品番)
屋根	RC造 天端: ウレタン塗装	弊社標準色より選択
外装	天井: 防水形複層塗材E 吹放し仕上	アイボリー (SR-164)
換気	SUS製ガラリ φ100	シルバーメタリック
外壁	防水形複層塗材E 吹放し仕上	弊社標準色より選択
内装	内壁: 防水形複層塗材E 吹放し仕上 (FL+300以上)	アイボリー (SR-164)
床	下部: 内壁用100角タイル張り (FL+300迄)	IM-100P1/NY2H (LIXIL)
バリアフリー	床用100角タイル張り	ALS-100/3 (LIXIL)
入口三方枠	SUS製 (HL)	
ハンガーダ	溶融亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装)	アイボリー (25-85C)
SUS製換気ガラリ・管理錠付		
金物	SUS製引手・非常開錠装置付表紙装置 大型サムターン付	
男子用便室	入口三方枠: SUS製 (HL)	
仕切壁	メラミン化粧合板	アイボリー
器具入	メラミン化粧合板 厚W=500 管理錠付	アイボリー

※トーヨーマテラン (株) TB-88-57-101同等品以上とする。
※一級建築士事務所登録メーカーの製品とする。
※建設業許可を有するメーカーの製品とする。
※生産物賠償責任保険加入製品とする。
※JPFA (一社) 日本公園施設業協会 公園施設団体賠償責任保険加入製品とする。
※ISO9001、ISO14001認証登録メーカーの製品とする。

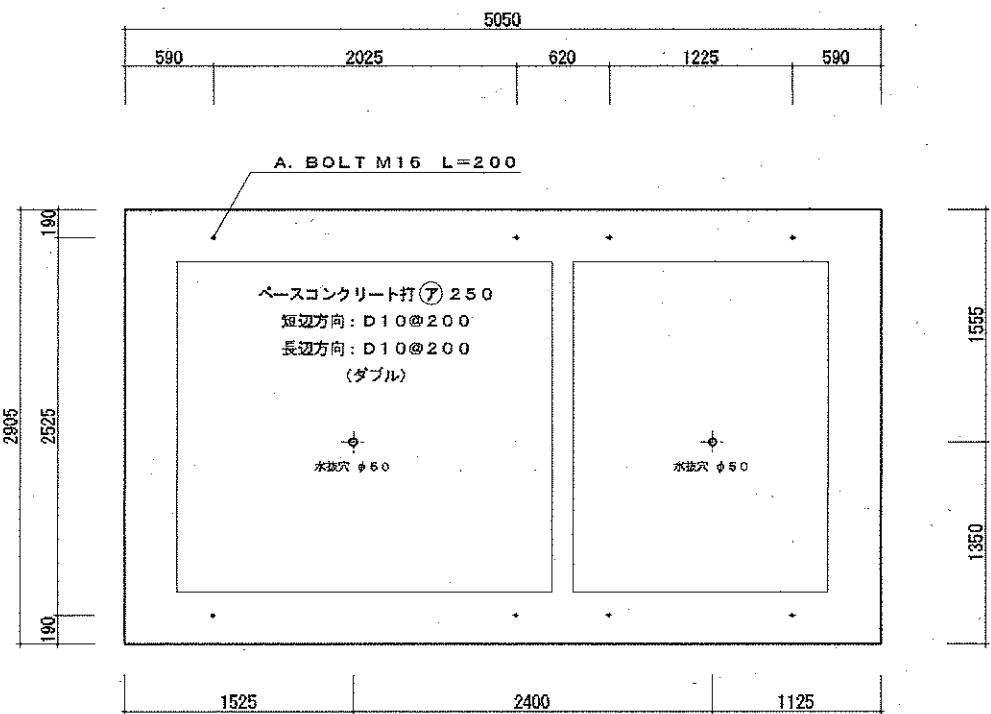


工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	トイレ棟 仕上表、平面図、立面図、屋根伏図				
図面番号	A09/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課長	補佐	係長	設計		
藤市都市整備部道路公園課					

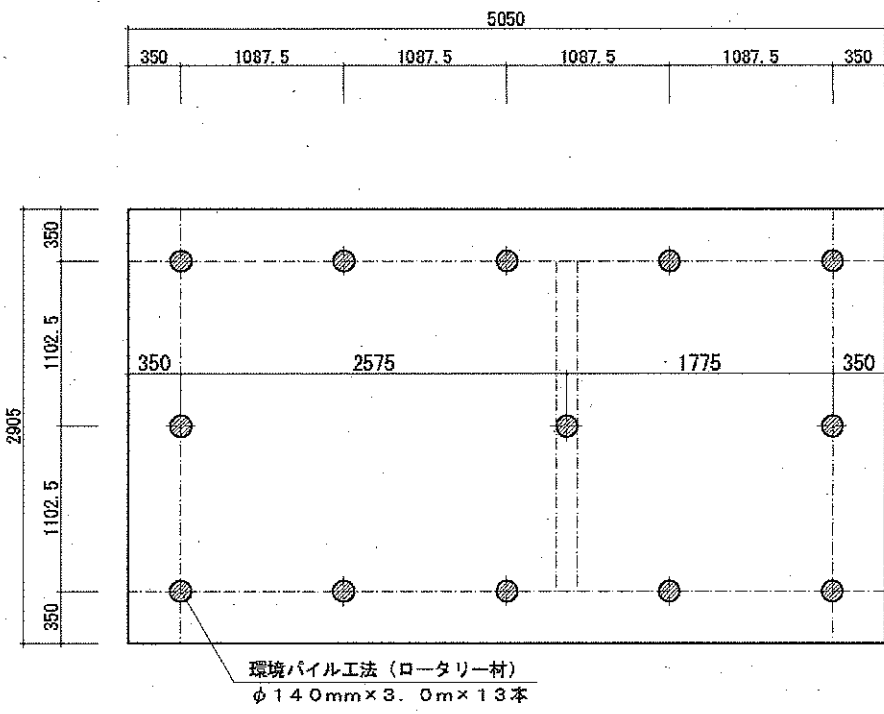


床
短辺：D13@200
長辺：D13@200
コンクリート打 120
モルタル敷き
床用100タイル張り

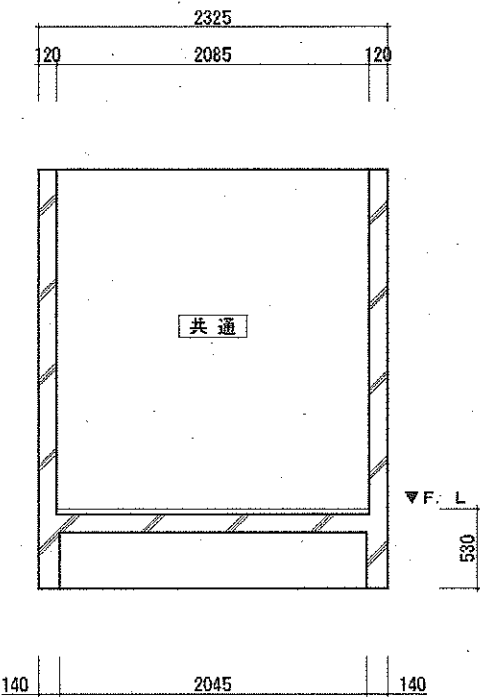
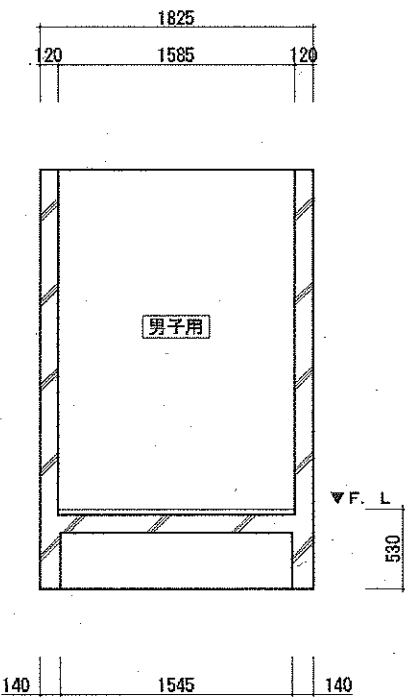
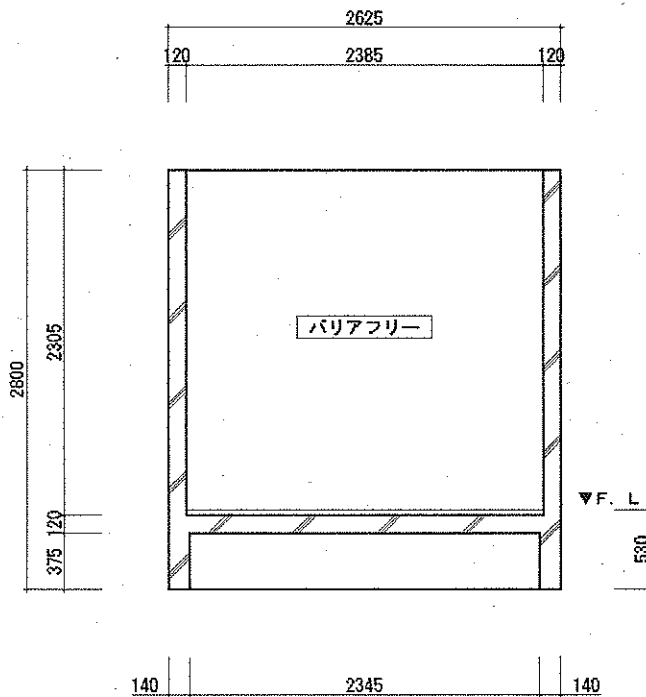
工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		トイレ棟 断面図					
図面番号		A10/	図面作成		令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長		設計	
蕨 市 都 市 整 備 部 道 路 公 園 課							



基礎伏図

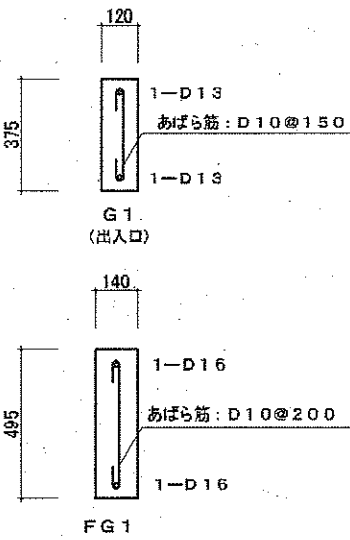


杭伏図



断体断面図

壁配筋: タテ・ヨコ D10@200
コーナー筋: D13
端部筋: D13
開口部補強筋: D13
床短辺方向: D13@200
床長辺方向: D13@200

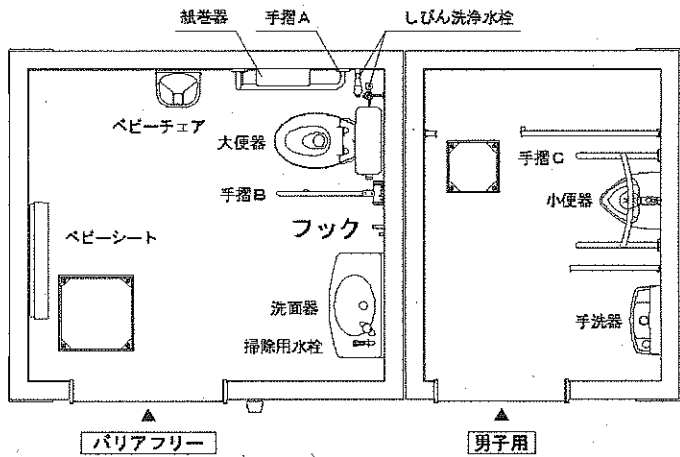


断体断面図

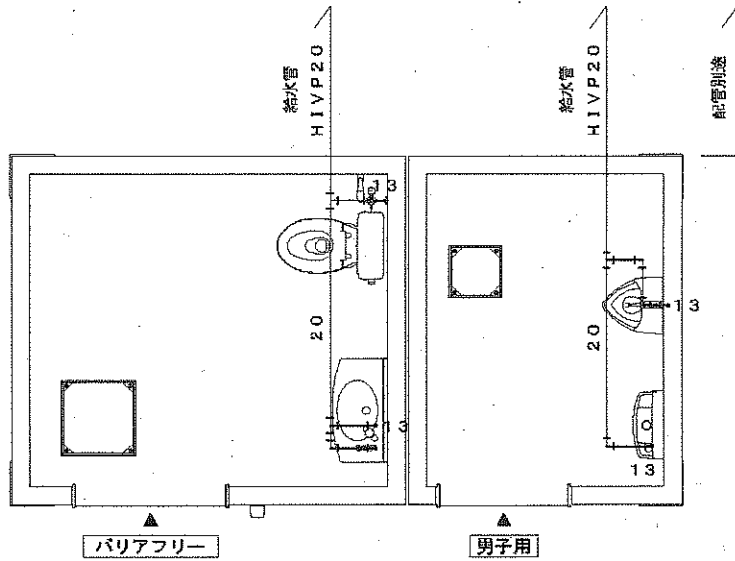
工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	トイレ棟 構造図				
図面番号	A11/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課長	補佐	係長	設計		
蕨市都市整備部 道路公園課					

衛生設備表					
名 称	品 番	数 量	名 称	品 番	数 量
大 便 器	CS597BCS	1	紙 巻 器	YH701	1
ロータンク	SH596BAYR	1	化粧鏡 A	YMZ4560FE	1
しびん洗浄水栓	T95WRR	1	化粧鏡 B	YMZ3545FE	1
			化粧鏡	YKH402R	1
小 便 器	UFH507CR	1	フック	YKH21WR	1
フラッシュバルブ	TG600PN	1			
			ベビーチェア	YKA15S	1
洗 面 器	L270D	1	ベビーシート	YKA25N	1
自閉式単水栓	TL19AR	1			
			手 摺 A	T113BL10	1
手 洗 器	LSK870BSR	1	手 摺 B	T113HK7R	1
			手 摺 C	T113BU22	1
掃除用水栓	T28AKUH13	1			

※衛生器具のカラーはTOTO（#NW1：ホワイト）とする。
※大便器は掃除口付とする。

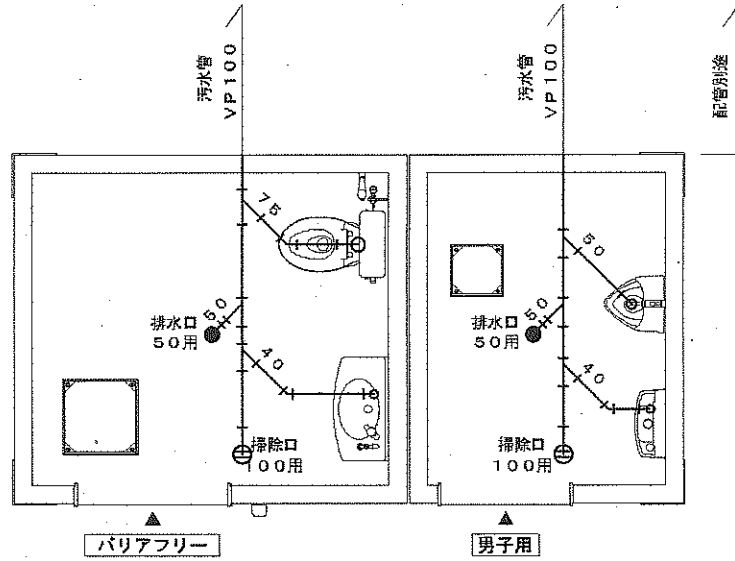


衛生設備図



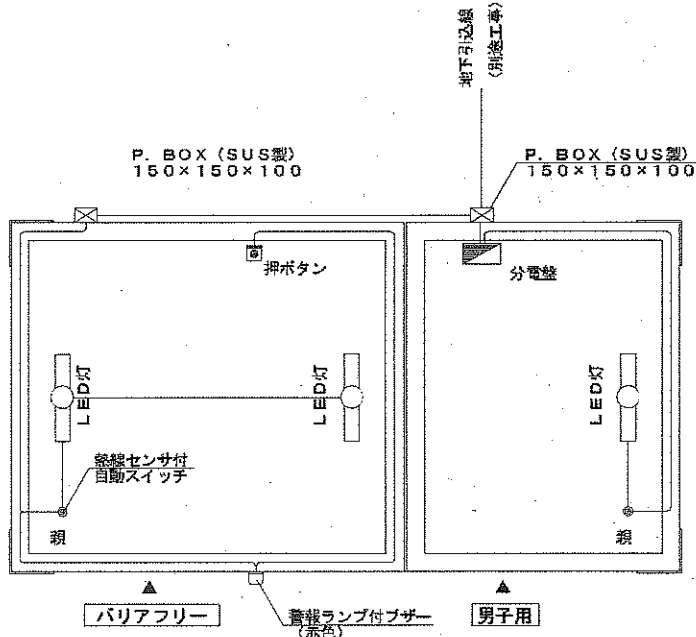
給水設備図

給水管管径 GL-220
FL-240
※床下給水管はポリエチレンフォーム保温巻きとする。
※床下配管の吊り金具はユニクロメッキ仕上とする。



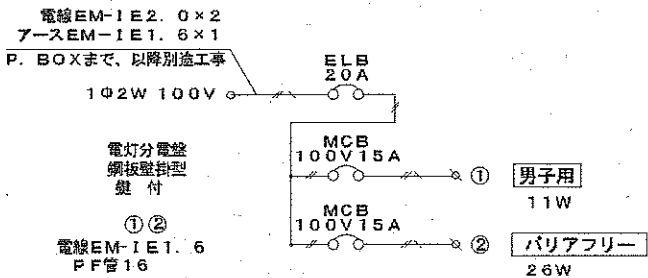
排水設備図

污水管管径 GL-410
FL-430
※床下配管の吊り金具はユニクロメッキ仕上とする。



電気設備図

※各BOXを覆う線用配管の露出部：HIVE管、埋設部：PF管とする。
照明器作動形式
入室 → センサー作動時照明器点灯（動作保持時間10秒～30分） →
退室時、動作保持時間後消灯



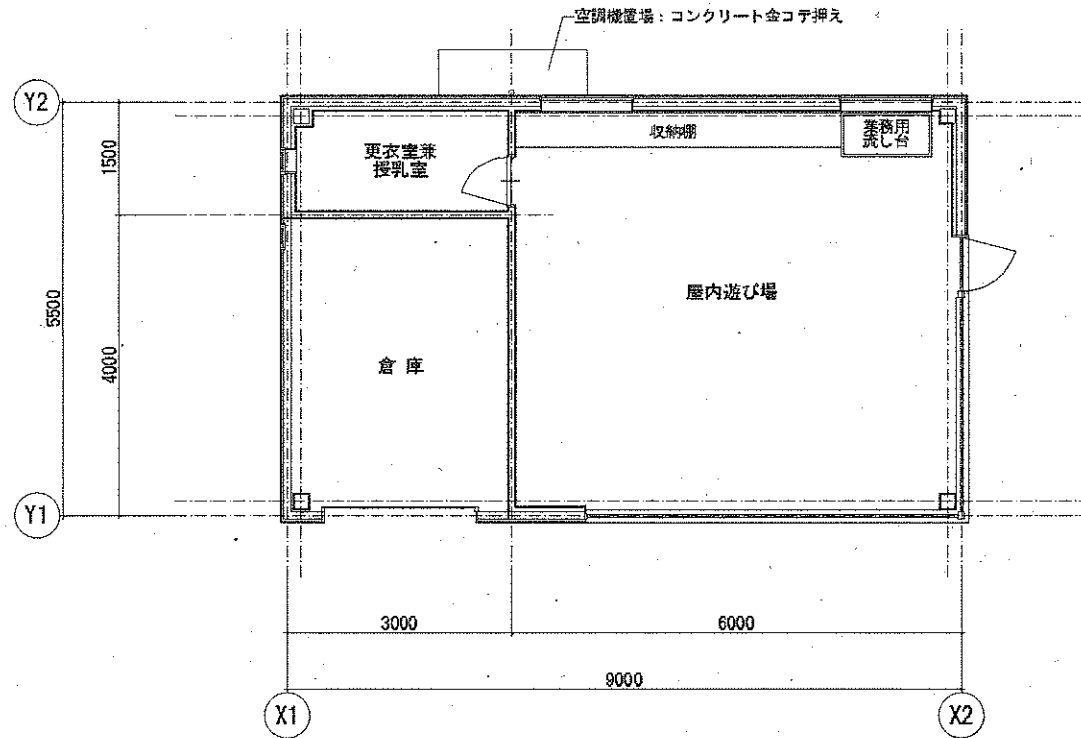
電気設備表					
名 称	品 番	社 名	数 量	消 費 電 力	消費電力×台数
分電盤ボックス	BX3525-14	河村電気産業	1		
漏電ブレーカ	ZS 2P1E20-15	河村電気産業	1		
ノーヒューズブレーカ	SE 2P1E15S	河村電気産業	2		
SUS 防水カプセルボックス	150×150×100	八洲電工	2		
熱線センサ付自動スイッチ（親機）	WTK3431K	パナソニック	2	1W	2W
LEDウォールライト	NNFW21800K	パナソニック	3	10W	30W
音報ランプ付プザー	EA5501	パナソニック	1	5W	5W
非常用押ボタン	WN4500	パナソニック	1		
				電気器具消費電力合計	37W
				全消費電力合計	37W

工 事 名		錦町1号公園整備工事			
図 面 名		トイレ棟 設備図			
図面番号		A12/	図面作成	令和 8年 4月	日
課長		補佐		係長	
蕨市都市整備部		道路公園課			

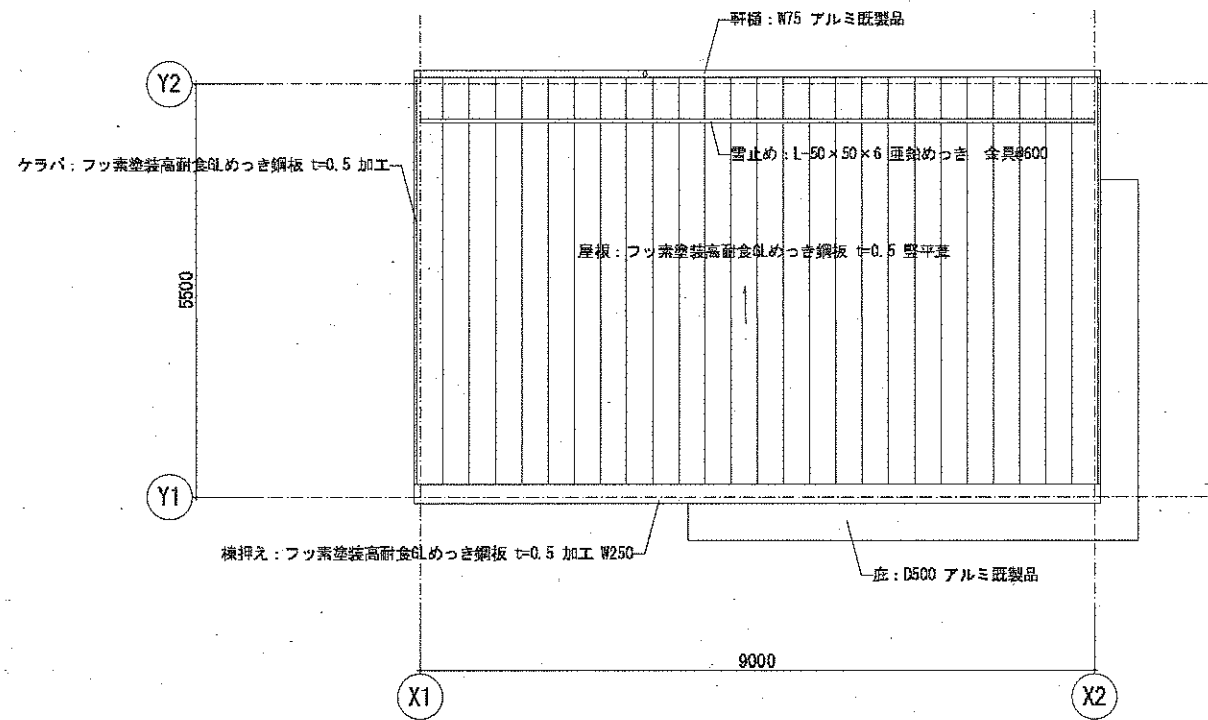
休憩室棟 仕上表・平面図・屋根伏図

S=1:100 (A3)

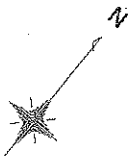
外部仕上表				内部仕上表								
部 位	仕 上			室 名	床高さ	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	天井高さ	備 考
屋 根	フッ素塗装高耐食GLめっき鋼板 t=0.5 野平葺 アスファルトルーフィング 22kg t=1 敷 野地板: 硬質木毛セメント板 t=25 母座: C-100×50×20×3.2 @606 雪止め: L-50×50×6 亜鉛めっき			屋内遊び場	1FL±0	コンクリート金コテ 防塵塗装	木製 H=60 OSCL	LGS下地 石膏ボード t=12.5 EP	LGS下地 石膏ボード t=9.5 EP	樹脂製	2450	収納棚、業務用流し台 カーテンBOX、カーテンレールW
庇	D500 アルミ既製品			更衣室兼授乳室	1FL+100	木組 構造用合板 t=9下地 フローリング t=12	木製 H=60 OSCL	LGS下地 石膏ボード t=12.5 EP	LGS下地 石膏ボード t=9.5 EP	樹脂製	2350	カーテンBOX、カーテンレールW
外 壁	金属サイディング t=18 (フッ素塗装高耐食GLめっき鋼板 t=0.35 芯材: 硬質ウレタンフォーム) 硬質木毛セメント板 t=15の上 透湿防水シート張り			倉 庫	1FL±0	コンクリート金コテ 防塵塗装	RC 防塵塗装 木製 H=60 GL	LGS下地 石膏ボード t=12.5 素地	LGS下地 石膏ボード t=9.5 素地	樹脂製	2500	
基礎立上り	コンクリート打放しの上 防水形外装薄塗材E	水 切	アルミ既製品	特記事項 ※ 全ての天井裏はグラスウール 24kg/m3 t=100 敷込とする 外壁及び倉庫に面する室内壁はグラスウール 24kg/m3 t=50充填とする								
軒 樋	W75 アルミ既製品	縦 樋	Φ60 アルミ既製品									



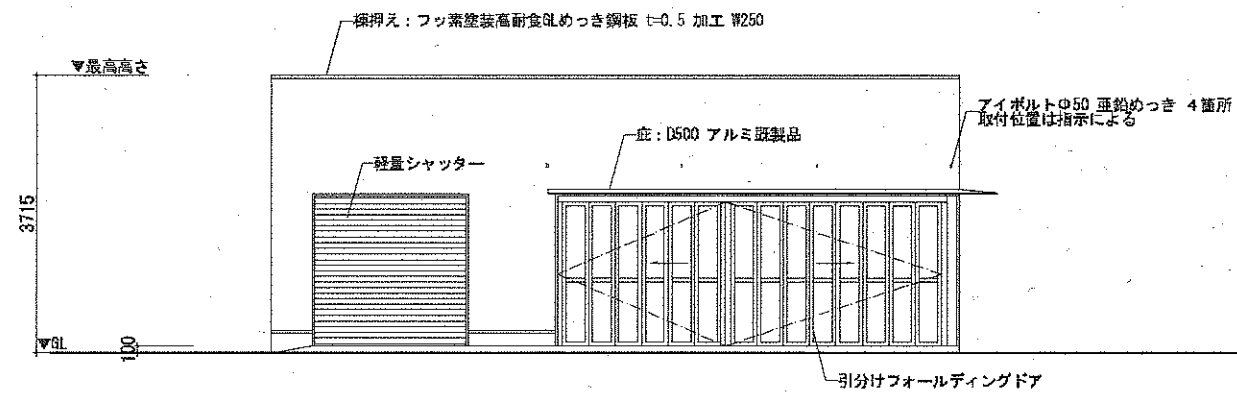
平面図



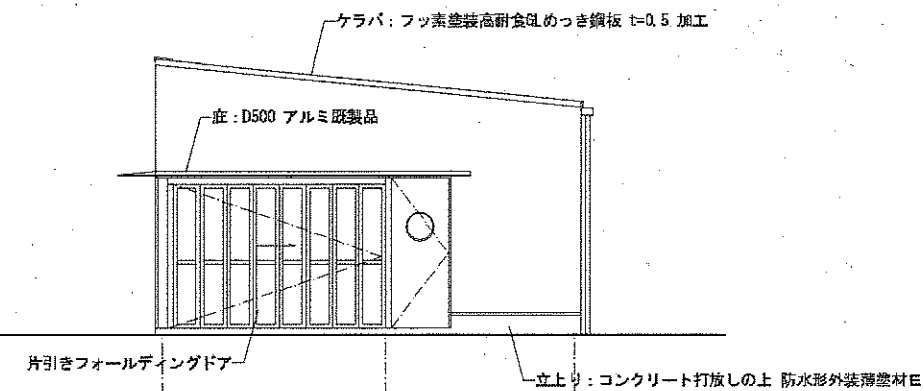
屋根伏図



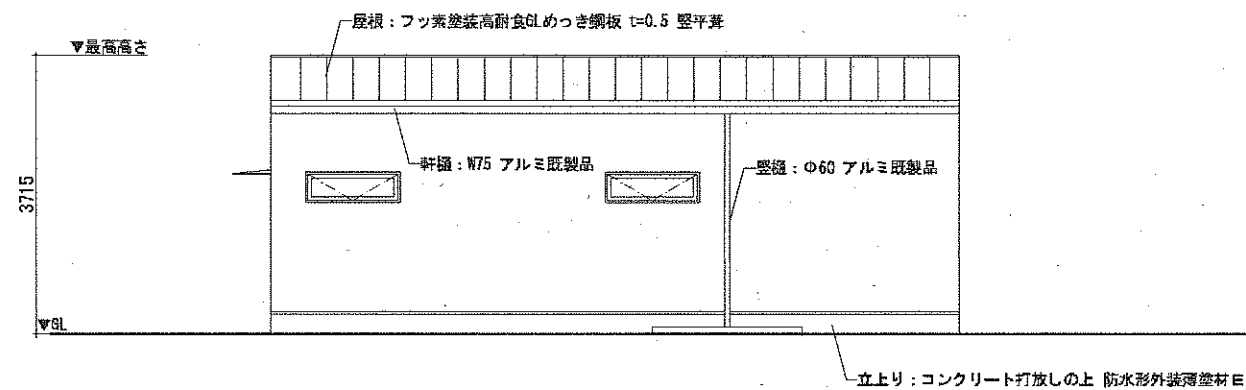
工 事 名		錦町1号公園実施設計委託			
図 面 名		休憩室棟 仕上表・平面図・屋根伏図			
図面番号		A13/	図面作成	令和 8年 4月	日
課長		補佐		係長	
設計					
藤 市 都 市 整 備 部 道 路 公 園 課					



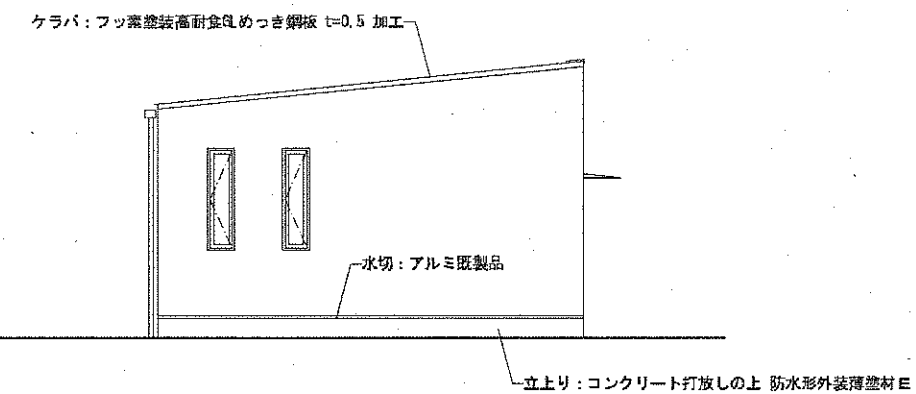
南側立面圖



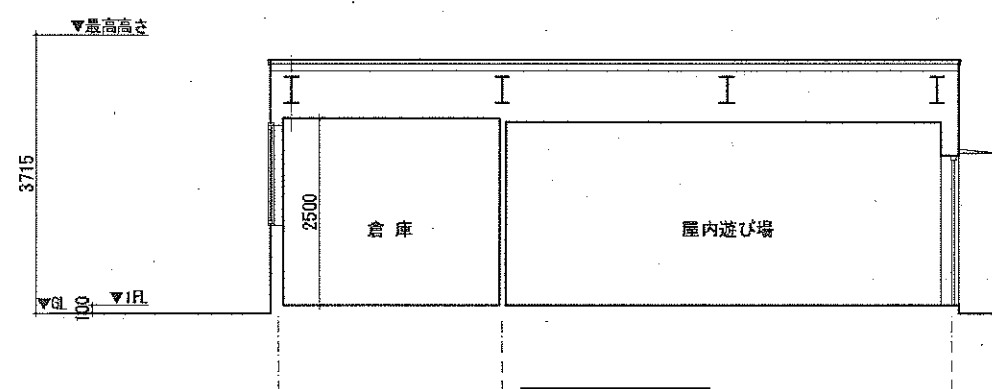
東側立面圖



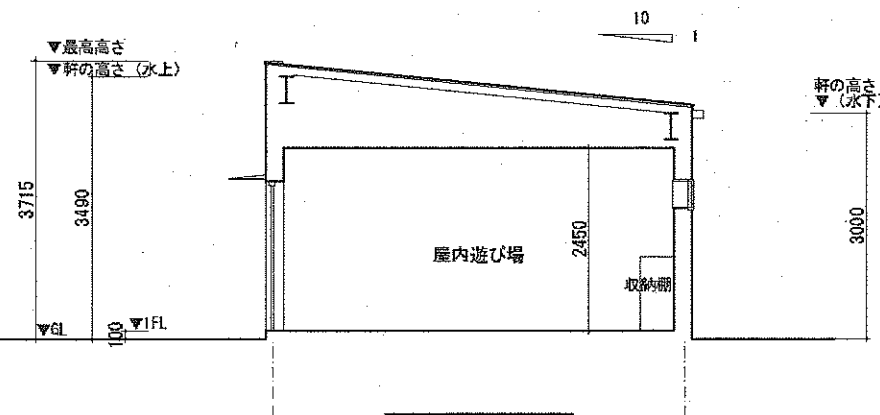
北側立面図



西側立面圖

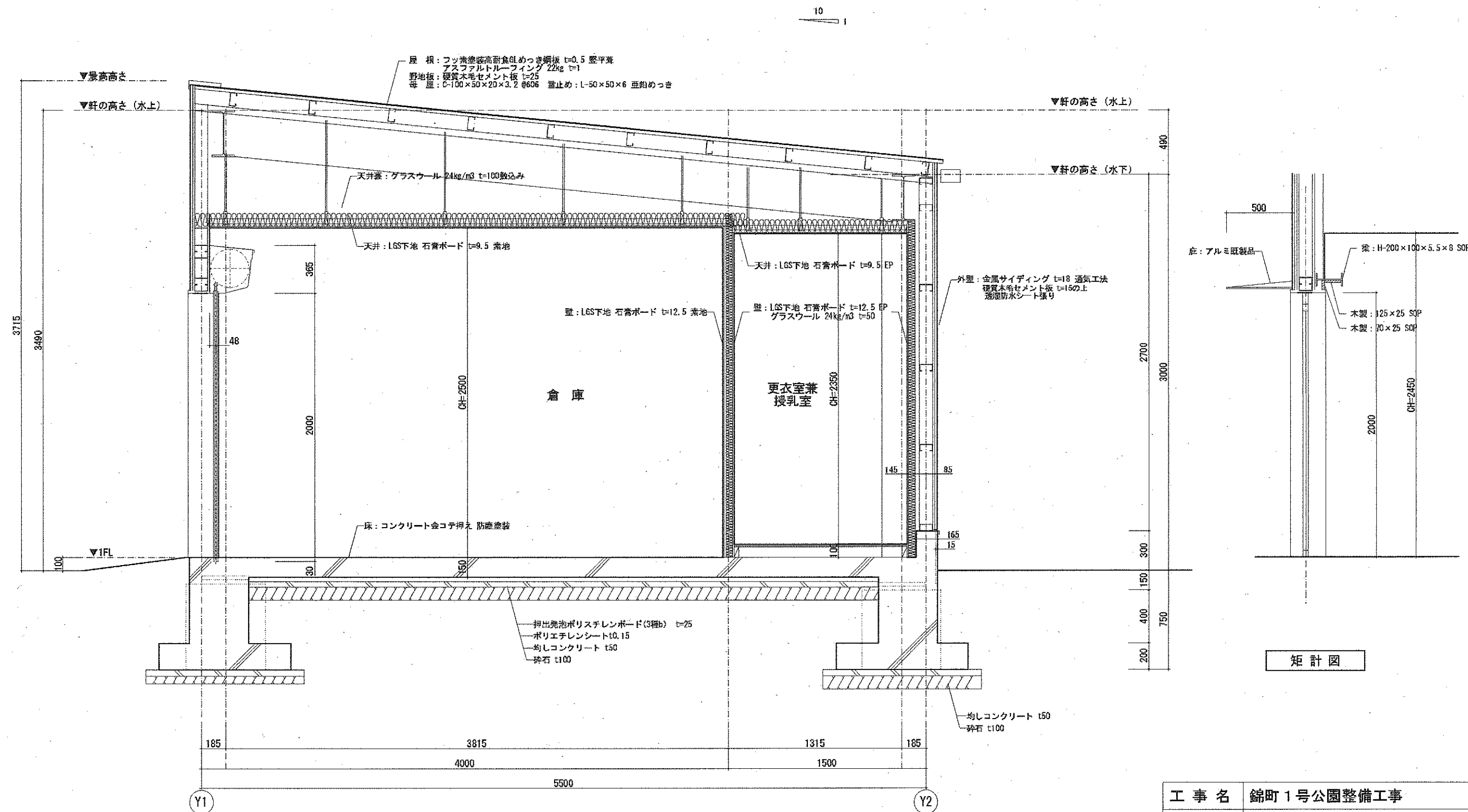


断面图



断面图

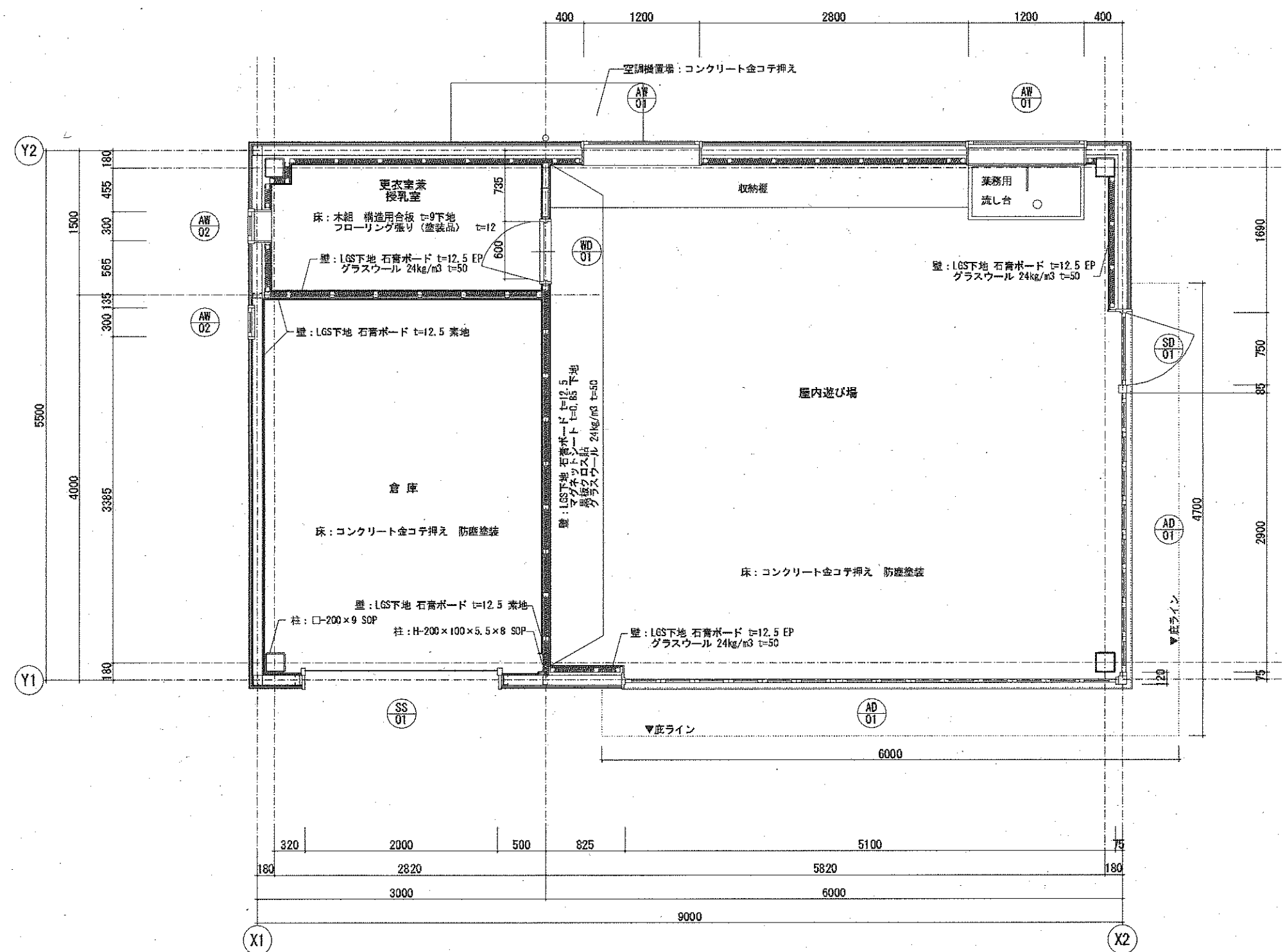
工 事 名		錦町1号公園実施設計委託					
図 面 名		休憩室棟 立面図・断面図					
図面番号		A14/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部 道路公園課							



矩 計 図

矩 計 図

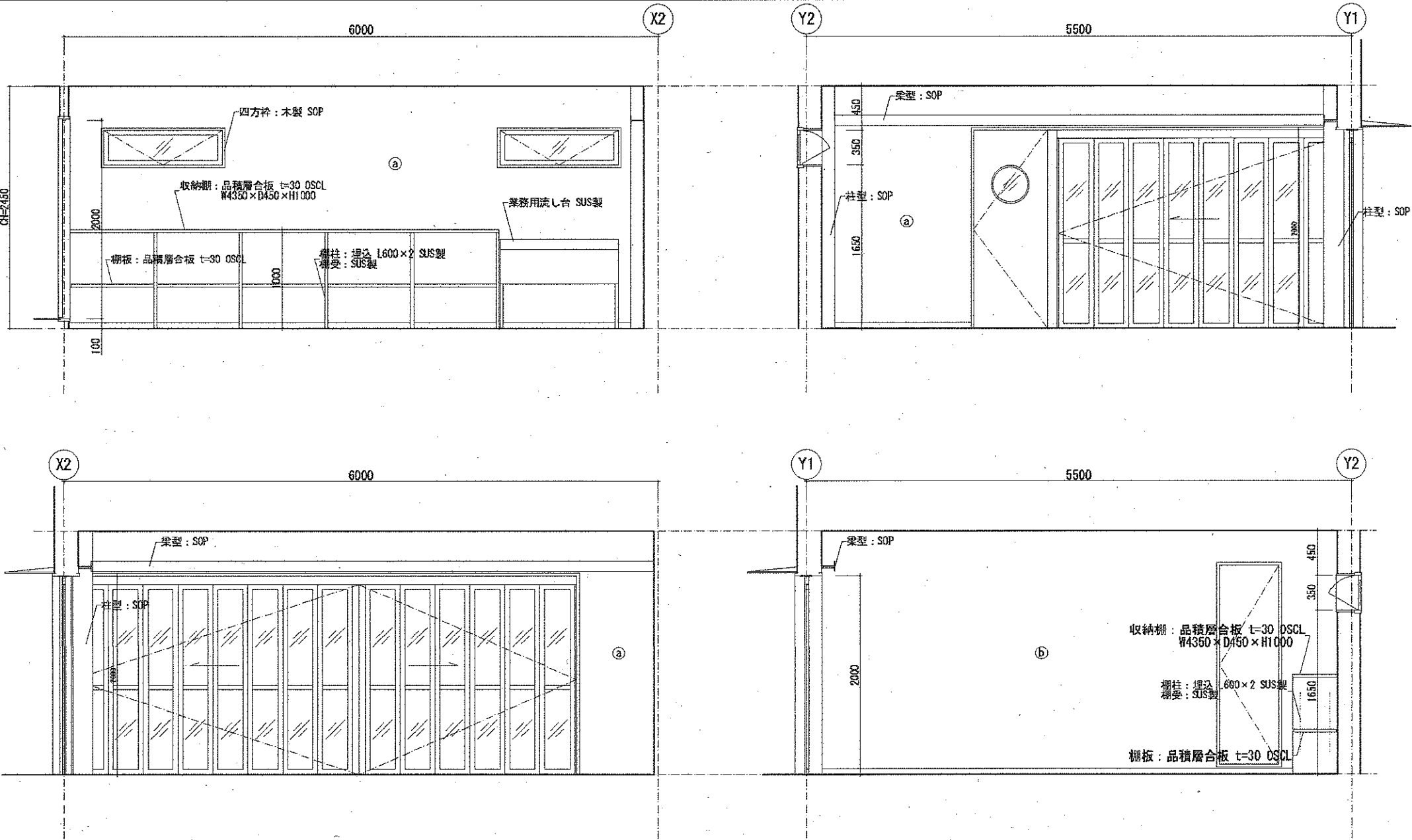
工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		休憩室棟 矩計図					
図面番号		A15/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部道路公園課							



平面詳細図

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	休憩室棟 平面詳細図				
図面番号	A16/	図面作成	令和 8年 4月	日	
課長		補佐	係長	設計	
蕨市都市整備部道路公園課					

屋内遊び場	
天井	石膏ボード t=9.5 EP グラスウール 24kg/m3 敷込
壁	① 石膏ボード t=12.5 EP グラスウール 24kg/m3 t=50
	② 石膏ボード t=12.5 マグネットシート t=0.85 下地 黒板クロス貼 グラスウール 24kg/m3 t=50
巾木	木製 H=60 OSCL
床	コンクリート金コテ 防塵塗装
備考	業務用流し W1200×D600×H800 バックガード付 木製壁

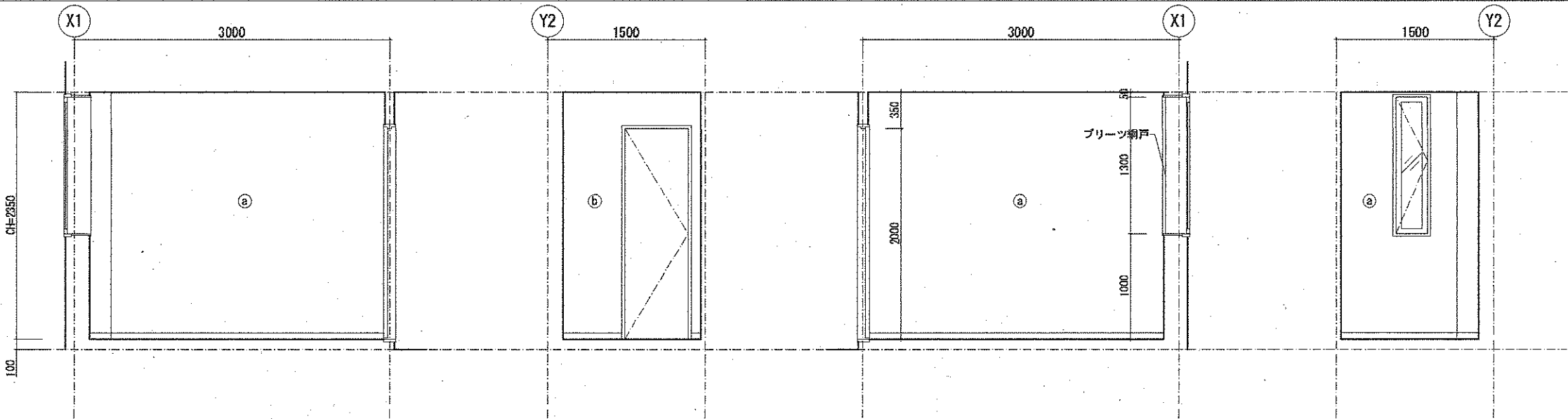


工 事 名		錦町1号公園整備工事			
図 面 名		休憩室棟 展開図 (1)			
図面番号		A17/	図面作成	令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長	
設計					
蔵市都市整備部 道路公園課					

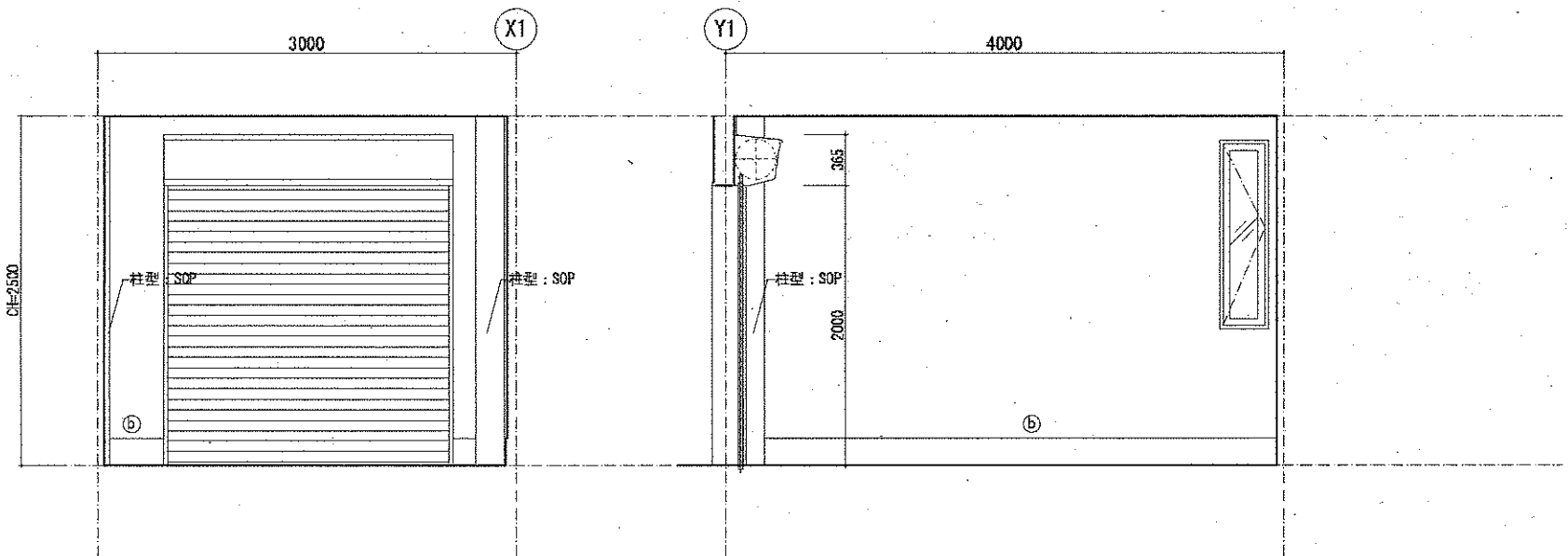
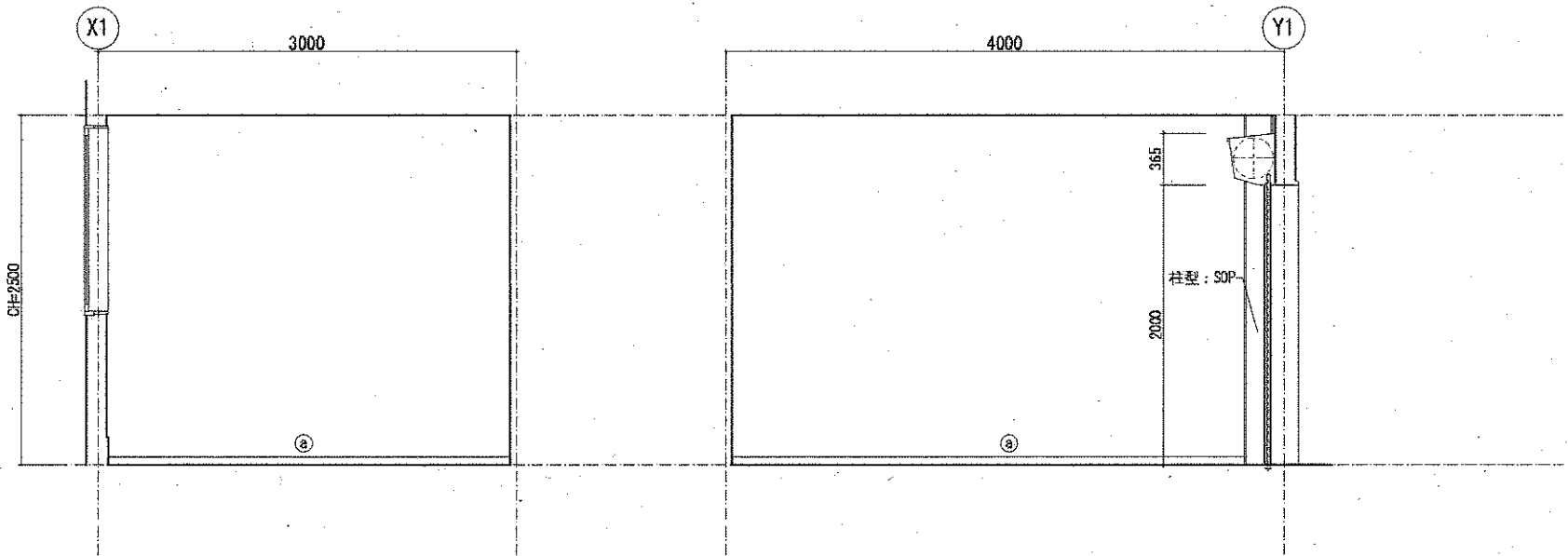
休憩所棟 展開図 2

S=1:50 (A3)

更衣室兼授乳室	
天井	石膏ボード t=9.5 EP グラスウール 24kg/m ³ 敷込
壁	① 石膏ボード t=12.5 EP グラスウール 24kg/m ³ t=50
	② 石膏ボード t=12.5 EP
巾木	木製 H=60 OSQ
床	木組 構造用合板 t=9下地 フローリング t=12
備考	



倉庫	
天井	石膏ボード t=9.5 EP グラスウール 24kg/m ³ 敷込
壁	石膏ボード t=12.5 素地
巾木	① 木製 H=60 OL
	② コンクリート打放し 防塵塗装
床	コンクリート金コテ 防塵塗装
備考	



工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	休憩室棟 展開図 (2)				
図面番号	A18/	図面作成	令和 8年 4月	日	
課長		補佐		係長	
設計					
蔵市都市整備部 道路公園課					

休憩所棟 建具表

S=1:50 (A3)

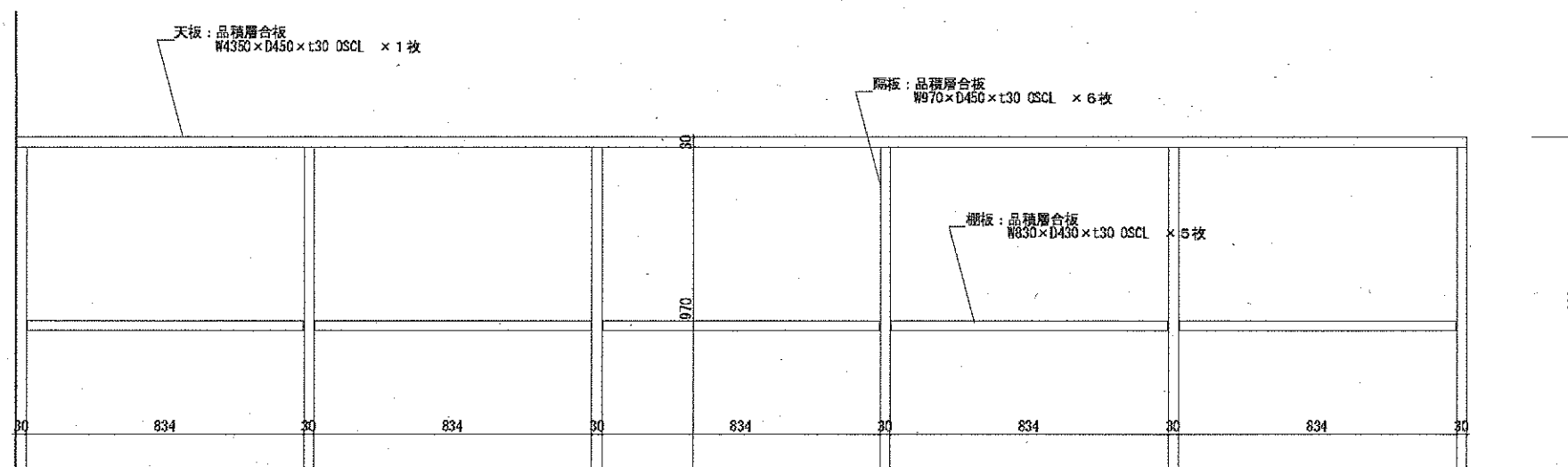
記 号	AW 01 内倒し窓 アルミサッシ		AW 02 縦滑出し窓 アルミサッシ		AD 01 引分け+片引きフォールディングドア アルミサッシ	
参 照						
	室 名		更衣室兼授乳室、倉庫		屋内遊び場	
	仕 上	数 量	BB-2	2	BB-2	1
	ガラス	見 込	FL-3	70	FL-3	70
	金 物		上部引掛けラッチ、付属金物一式、ステンレス製固定網戸		戸先錠、下振錠、ステンレスレール、吊り金物、付属金物一式	
備 考		飛散防止フィルム貼		飛散防止フィルム貼		
記 号	SD 01 片開き スチールフラッシュドア		SS 01 手動軽便スチールシャッター		WD 01 片開き 木製フラッシュドア	
参 照						
	室 名		倉 庫		更衣室兼授乳室、倉庫	
	仕 上	数 量	DP (3級)	1	品合板 OSC1 三方枠：木製(スプルース) OSC1	1
	ガラス	見 込	FL-3 Φ350	40 170	-	40 120
	金 物		丁番・レバーハンドル・シリンダー錠、ドアクローザー ドアストッパー		丁番・レバーハンドル・シリンダー錠兼錠、ドアクローザー ドアストッパー	
備 考		飛散防止フィルム貼				

工 事 名		錦町1号公園整備工事			
図 面 名		休憩室棟 建具表			
図面番号		A19/	図面作成	令和 8年 4月	日
課長		補佐		係長	
設計					
蔵市都市整備部 道路公園課					

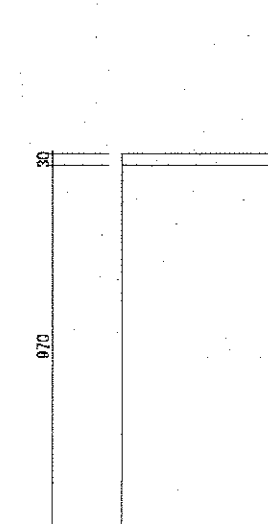
休憩所棟 部分詳細図

S=1:10 (A3)

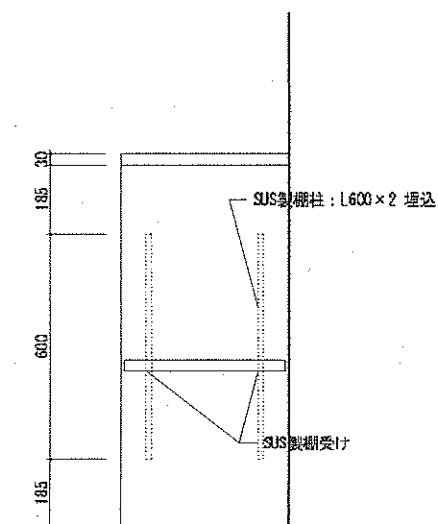
木製收納棚：W4350×D450×H1000



正面图

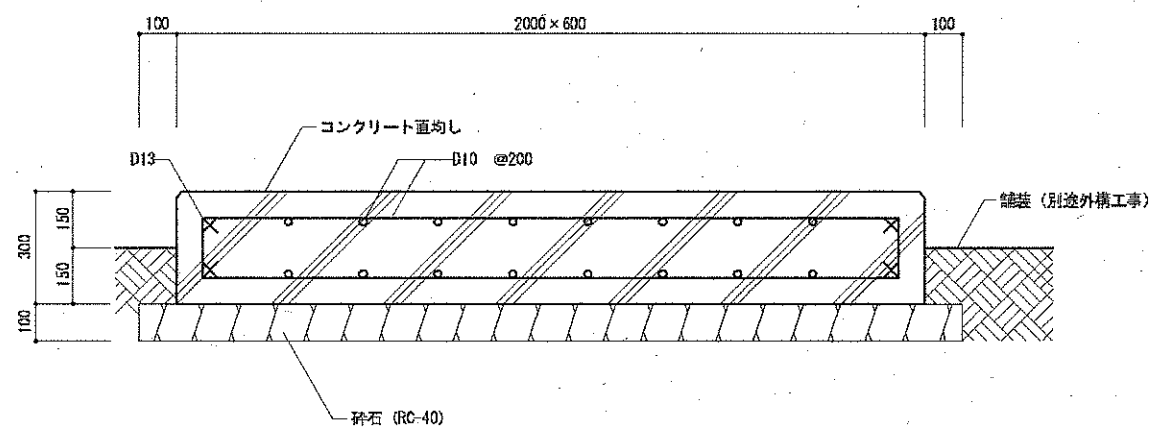


側面図



断面図

空調機基礎【新設】詳細図



工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		休憩室棟 部分詳細図					
図面番号		A20/	図面作成		令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長		設計	
堺市都市整備部 道路公園課							

構造設計標準仕様

注1: 構造図に記載された事項は本標準図に優先して適用する。 注2: 適用は ☒ 印を記入する。
注3: 図面及び仕様書に抵触が生じた場合は書面を工事管理者に提出し協議すること。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 本市錦町6丁目175街区の一部
- (2) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築
- (3) 構造一般建築士の関与 ☐ 必要 ☒ 必要としない
- 法第20条第一号 (高さ60m超)
- 法第20条第二号 (☐ R0造高さ20m超 ☐ S造4階建以上 ☐ 木造高さ13m超 ☐ その他)
- (4) 構造種別
- ☐ 木造 (W) ☐ 補強コンクリートブロック造 (CB) ☒ 鉄骨造 (S)
- ☐ 鉄筋コンクリート造 (RC) ☐ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
- ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
- ☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) ☐
- (5) 階数
- 地下 0 階 地上 1 階 地盤 0 階
- (6) 主要用途 公園内 (休憩所)
- (7) 屋上付建物
- ☐ 高架水槽 kN ☐ キュービカル kN ☐ 広告塔 ☐ 煙突
- (8) 特別な荷重
- ☐ エレベーター 人乗り (ロープ式 油圧式) ☐ リフト kN ☐ ホイスト kN
- ☐ 倉庫積載床用 kN ☐ 受水槽 kN
- (9) 付帯工事
- ☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐ ☐ ☐
- (10) 地盤計画 ☐ 有 () ☒ 無
- (11) 構造計算ルート X方向ルート 1 - (2) Y方向ルート 1 - (2)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート (レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIC Q 1011, JIC A 5309)				
運用箇所	種類	設計基準強度	品質管理強度	スランプ
		$F_c = N/mm^2$	$F_q = N/mm^2$	cm
捨てコンクリート	普通	15	15	18
土間コンクリート	普通	18	18	18
基礎、基礎梁	普通	24	24	15
柱、梁、壁、床	普通	24	24	15
抑えコンクリート	普通、軽量	21	21	15
鉄骨材の種類	鋼材	鋼材	鋼材	鋼材
組骨材の種類	鋼材	鋼材	鋼材	鋼材
水の区分	水道水	地下水	工業用水	
混和剤の種類 (JIS A6204-2011)	AE減水材	高性能AE減水材		
呼び強度を保証する材料、養成	鋼材 (鋼 28 日 56 日)			
鋼材の養成	鋼材 (鋼 28 日 56 日)			

- 鋼 単位重量は185kg/m³以下、単位セメントは270kg/m³以上とする。
- (2) コンクリートブロック (CB)
- ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 180 使用箇所 ()
- (3) 鉄筋
- 種類 径 使用箇所 継手工法
- 異形鉄筋 (JIS Q 3112) ☒ SD295A ☐ SD345 ☐ SD390 ☐ SD440 ☐ SD490 ☐ SD540 ☐ SD590 ☐ SD640 ☐ SD690 ☐ SD740 ☐ SD790 ☐ SD840 ☐ SD890 ☐ SD940 ☐ SD990 ☐ SD1040 ☐ SD1090 ☐ SD1140 ☐ SD1190 ☐ SD1240 ☐ SD1290 ☐ SD1340 ☐ SD1390 ☐ SD1440 ☐ SD1490 ☐ SD1540 ☐ SD1590 ☐ SD1640 ☐ SD1690 ☐ SD1740 ☐ SD1790 ☐ SD1840 ☐ SD1890 ☐ SD1940 ☐ SD1990 ☐ SD2040 ☐ SD2090 ☐ SD2140 ☐ SD2190 ☐ SD2240 ☐ SD2290 ☐ SD2340 ☐ SD2390 ☐ SD2440 ☐ SD2490 ☐ SD2540 ☐ SD2590 ☐ SD2640 ☐ SD2690 ☐ SD2740 ☐ SD2790 ☐ SD2840 ☐ SD2890 ☐ SD2940 ☐ SD2990 ☐ SD3040 ☐ SD3090 ☐ SD3140 ☐ SD3190 ☐ SD3240 ☐ SD3290 ☐ SD3340 ☐ SD3390 ☐ SD3440 ☐ SD3490 ☐ SD3540 ☐ SD3590 ☐ SD3640 ☐ SD3690 ☐ SD3740 ☐ SD3790 ☐ SD3840 ☐ SD3890 ☐ SD3940 ☐ SD3990 ☐ SD4040 ☐ SD4090 ☐ SD4140 ☐ SD4190 ☐ SD4240 ☐ SD4290 ☐ SD4340 ☐ SD4390 ☐ SD4440 ☐ SD4490 ☐ SD4540 ☐ SD4590 ☐ SD4640 ☐ SD4690 ☐ SD4740 ☐ SD4790 ☐ SD4840 ☐ SD4890 ☐ SD4940 ☐ SD4990 ☐ SD5040 ☐ SD5090 ☐ SD5140 ☐ SD5190 ☐ SD5240 ☐ SD5290 ☐ SD5340 ☐ SD5390 ☐ SD5440 ☐ SD5490 ☐ SD5540 ☐ SD5590 ☐ SD5640 ☐ SD5690 ☐ SD5740 ☐ SD5790 ☐ SD5840 ☐ SD5890 ☐ SD5940 ☐ SD5990 ☐ SD6040 ☐ SD6090 ☐ SD6140 ☐ SD6190 ☐ SD6240 ☐ SD6290 ☐ SD6340 ☐ SD6390 ☐ SD6440 ☐ SD6490 ☐ SD6540 ☐ SD6590 ☐ SD6640 ☐ SD6690 ☐ SD6740 ☐ SD6790 ☐ SD6840 ☐ SD6890 ☐ SD6940 ☐ SD6990 ☐ SD7040 ☐ SD7090 ☐ SD7140 ☐ SD7190 ☐ SD7240 ☐ SD7290 ☐ SD7340 ☐ SD7390 ☐ SD7440 ☐ SD7490 ☐ SD7540 ☐ SD7590 ☐ SD7640 ☐ SD7690 ☐ SD7740 ☐ SD7790 ☐ SD7840 ☐ SD7890 ☐ SD7940 ☐ SD7990 ☐ SD8040 ☐ SD8090 ☐ SD8140 ☐ SD8190 ☐ SD8240 ☐ SD8290 ☐ SD8340 ☐ SD8390 ☐ SD8440 ☐ SD8490 ☐ SD8540 ☐ SD8590 ☐ SD8640 ☐ SD8690 ☐ SD8740 ☐ SD8790 ☐ SD8840 ☐ SD8890 ☐ SD8940 ☐ SD8990 ☐ SD9040 ☐ SD9090 ☐ SD9140 ☐ SD9190 ☐ SD9240 ☐ SD9290 ☐ SD9340 ☐ SD9390 ☐ SD9440 ☐ SD9490 ☐ SD9540 ☐ SD9590 ☐ SD9640 ☐ SD9690 ☐ SD9740 ☐ SD9790 ☐ SD9840 ☐ SD9890 ☐ SD9940 ☐ SD9990 ☐ SD10040 ☐ SD10090 ☐ SD10140 ☐ SD10190 ☐ SD10240 ☐ SD10290 ☐ SD10340 ☐ SD10390 ☐ SD10440 ☐ SD10490 ☐ SD10540 ☐ SD10590 ☐ SD10640 ☐ SD10690 ☐ SD10740 ☐ SD10790 ☐ SD10840 ☐ SD10890 ☐ SD10940 ☐ SD10990 ☐ SD11040 ☐ SD11090 ☐ SD11140 ☐ SD11190 ☐ SD11240 ☐ SD11290 ☐ SD11340 ☐ SD11390 ☐ SD11440 ☐ SD11490 ☐ SD11540 ☐ SD11590 ☐ SD11640 ☐ SD11690 ☐ SD11740 ☐ SD11790 ☐ SD11840 ☐ SD11890 ☐ SD11940 ☐ SD11990 ☐ SD12040 ☐ SD12090 ☐ SD12140 ☐ SD12190 ☐ SD12240 ☐ SD12290 ☐ SD12340 ☐ SD12390 ☐ SD12440 ☐ SD12490 ☐ SD12540 ☐ SD12590 ☐ SD12640 ☐ SD12690 ☐ SD12740 ☐ SD12790 ☐ SD12840 ☐ SD12890 ☐ SD12940 ☐ SD12990 ☐ SD13040 ☐ SD13090 ☐ SD13140 ☐ SD13190 ☐ SD13240 ☐ SD13290 ☐ SD13340 ☐ SD13390 ☐ SD13440 ☐ SD13490 ☐ SD13540 ☐ SD13590 ☐ SD13640 ☐ SD13690 ☐ SD13740 ☐ SD13790 ☐ SD13840 ☐ SD13890 ☐ SD13940 ☐ SD13990 ☐ SD14040 ☐ SD14090 ☐ SD14140 ☐ SD14190 ☐ SD14240 ☐ SD14290 ☐ SD14340 ☐ SD14390 ☐ SD14440 ☐ SD14490 ☐ SD14540 ☐ SD14590 ☐ SD14640 ☐ SD14690 ☐ SD14740 ☐ SD14790 ☐ SD14840 ☐ SD14890 ☐ SD14940 ☐ SD14990 ☐ SD15040 ☐ SD15090 ☐ SD15140 ☐ SD15190 ☐ SD15240 ☐ SD15290 ☐ SD15340 ☐ SD15390 ☐ SD15440 ☐ SD15490 ☐ SD15540 ☐ SD15590 ☐ SD15640 ☐ SD15690 ☐ SD15740 ☐ SD15790 ☐ SD15840 ☐ SD15890 ☐ SD15940 ☐ SD15990 ☐ SD16040 ☐ SD16090 ☐ SD16140 ☐ SD16190 ☐ SD16240 ☐ SD16290 ☐ SD16340 ☐ SD16390 ☐ SD16440 ☐ SD16490 ☐ SD16540 ☐ SD16590 ☐ SD16640 ☐ SD16690 ☐ SD16740 ☐ SD16790 ☐ SD16840 ☐ SD16890 ☐ SD16940 ☐ SD16990 ☐ SD17040 ☐ SD17090 ☐ SD17140 ☐ SD17190 ☐ SD17240 ☐ SD17290 ☐ SD17340 ☐ SD17390 ☐ SD17440 ☐ SD17490 ☐ SD17540 ☐ SD17590 ☐ SD17640 ☐ SD17690 ☐ SD17740 ☐ SD17790 ☐ SD17840 ☐ SD17890 ☐ SD17940 ☐ SD17990 ☐ SD18040 ☐ SD18090 ☐ SD18140 ☐ SD18190 ☐ SD18240 ☐ SD18290 ☐ SD18340 ☐ SD18390 ☐ SD18440 ☐ SD18490 ☐ SD18540 ☐ SD18590 ☐ SD18640 ☐ SD18690 ☐ SD18740 ☐ SD18790 ☐ SD18840 ☐ SD18890 ☐ SD18940 ☐ SD18990 ☐ SD19040 ☐ SD19090 ☐ SD19140 ☐ SD19190 ☐ SD19240 ☐ SD19290 ☐ SD19340 ☐ SD19390 ☐ SD19440 ☐ SD19490 ☐ SD19540 ☐ SD19590 ☐ SD19640 ☐ SD19690 ☐ SD19740 ☐ SD19790 ☐ SD19840 ☐ SD19890 ☐ SD19940 ☐ SD19990 ☐ SD20040 ☐ SD20090 ☐ SD20140 ☐ SD20190 ☐ SD20240 ☐ SD20290 ☐ SD20340 ☐ SD20390 ☐ SD20440 ☐ SD20490 ☐ SD20540 ☐ SD20590 ☐ SD20640 ☐ SD20690 ☐ SD20740 ☐ SD20790 ☐ SD20840 ☐ SD20890 ☐ SD20940 ☐ SD20990 ☐ SD21040 ☐ SD21090 ☐ SD21140 ☐ SD21190 ☐ SD21240 ☐ SD21290 ☐ SD21340 ☐ SD21390 ☐ SD21440 ☐ SD21490 ☐ SD21540 ☐ SD21590 ☐ SD21640 ☐ SD21690 ☐ SD21740 ☐ SD21790 ☐ SD21840 ☐ SD21890 ☐ SD21940 ☐ SD21990 ☐ SD22040 ☐ SD22090 ☐ SD22140 ☐ SD22190 ☐ SD22240 ☐ SD22290 ☐ SD22340 ☐ SD22390 ☐ SD22440 ☐ SD22490 ☐ SD22540 ☐ SD22590 ☐ SD22640 ☐ SD22690 ☐ SD22740 ☐ SD22790 ☐ SD22840 ☐ SD22890 ☐ SD22940 ☐ SD22990 ☐ SD23040 ☐ SD23090 ☐ SD23140 ☐ SD23190 ☐ SD23240 ☐ SD23290 ☐ SD23340 ☐ SD23390 ☐ SD23440 ☐ SD23490 ☐ SD23540 ☐ SD23590 ☐ SD23640 ☐ SD23690 ☐ SD23740 ☐ SD23790 ☐ SD23840 ☐ SD23890 ☐ SD23940 ☐ SD23990 ☐ SD24040 ☐ SD24090 ☐ SD24140 ☐ SD24190 ☐ SD24240 ☐ SD24290 ☐ SD24340 ☐ SD24390 ☐ SD24440 ☐ SD24490 ☐ SD24540 ☐ SD24590 ☐ SD24640 ☐ SD24690 ☐ SD24740 ☐ SD24790 ☐ SD24840 ☐ SD24890 ☐ SD24940 ☐ SD24990 ☐ SD25040 ☐ SD25090 ☐ SD25140 ☐ SD25190 ☐ SD25240 ☐ SD25290 ☐ SD25340 ☐ SD25390 ☐ SD25440 ☐ SD25490 ☐ SD25540 ☐ SD25590 ☐ SD25640 ☐ SD25690 ☐ SD25740 ☐ SD25790 ☐ SD25840 ☐ SD25890 ☐ SD25940 ☐ SD25990 ☐ SD26040 ☐ SD26090 ☐ SD26140 ☐ SD26190 ☐ SD26240 ☐ SD26290 ☐ SD26340 ☐ SD26390 ☐ SD26440 ☐ SD26490 ☐ SD26540 ☐ SD26590 ☐ SD26640 ☐ SD26690 ☐ SD26740 ☐ SD26790 ☐ SD26840 ☐ SD26890 ☐ SD26940 ☐ SD26990 ☐ SD27040 ☐ SD27090 ☐ SD27140 ☐ SD27190 ☐ SD27240 ☐ SD27290 ☐ SD27340 ☐ SD27390 ☐ SD27440 ☐ SD27490 ☐ SD27540 ☐ SD27590 ☐ SD27640 ☐ SD27690 ☐ SD27740 ☐ SD27790 ☐ SD27840 ☐ SD27890 ☐ SD27940 ☐ SD27990 ☐ SD28040 ☐ SD28090 ☐ SD28140 ☐ SD28190 ☐ SD28240 ☐ SD28290 ☐ SD28340 ☐ SD28390 ☐ SD28440 ☐ SD28490 ☐ SD28540 ☐ SD28590 ☐ SD28640 ☐ SD28690 ☐ SD28740 ☐ SD28790 ☐ SD28840 ☐ SD28890 ☐ SD28940 ☐ SD28990 ☐ SD29040 ☐ SD29090 ☐ SD29140 ☐ SD29190 ☐ SD29240 ☐ SD29290 ☐ SD29340 ☐ SD29390 ☐ SD29440 ☐ SD29490 ☐ SD29540 ☐ SD29590 ☐ SD29640 ☐ SD29690 ☐ SD29740 ☐ SD29790 ☐ SD29840 ☐ SD29890 ☐ SD29940 ☐ SD29990 ☐ SD30040 ☐ SD30090 ☐ SD30140 ☐ SD30190 ☐ SD30240 ☐ SD30290 ☐ SD30340 ☐ SD30390 ☐ SD30440 ☐ SD30490 ☐ SD30540 ☐ SD30590 ☐ SD30640 ☐ SD30690 ☐ SD30740 ☐ SD30790 ☐ SD30840 ☐ SD30890 ☐ SD30940 ☐ SD30990 ☐ SD31040 ☐ SD31090 ☐ SD31140 ☐ SD31190 ☐ SD31240 ☐ SD31290 ☐ SD31340 ☐ SD31390 ☐ SD31440 ☐ SD31490 ☐ SD31540 ☐ SD31590 ☐ SD31640 ☐ SD31690 ☐ SD31740 ☐ SD31790 ☐ SD31840 ☐ SD31890 ☐ SD31940 ☐ SD31990 ☐ SD32040 ☐ SD32090 ☐ SD32140 ☐ SD32190 ☐ SD32240 ☐ SD32290 ☐ SD32340 ☐ SD32390 ☐ SD32440 ☐ SD32490 ☐ SD32540 ☐ SD32590 ☐ SD32640 ☐ SD32690 ☐ SD32740 ☐ SD32790 ☐ SD32840 ☐ SD32890 ☐ SD32940 ☐ SD32990 ☐ SD33040 ☐ SD33090 ☐ SD33140 ☐ SD33190 ☐ SD33240 ☐ SD33290 ☐ SD33340 ☐ SD33390 ☐ SD33440 ☐ SD33490 ☐ SD33540 ☐ SD33590 ☐ SD33640 ☐ SD33690 ☐ SD33740 ☐ SD33790 ☐ SD33840 ☐ SD33890 ☐ SD33940 ☐ SD33990 ☐ SD34040 ☐ SD34090 ☐ SD34140 ☐ SD34190 ☐ SD34240 ☐ SD34290 ☐ SD34340 ☐ SD34390 ☐ SD34440 ☐ SD34490 ☐ SD34540 ☐ SD34590 ☐ SD34640 ☐ SD34690 ☐ SD34740 ☐ SD34790 ☐ SD34840 ☐ SD34890 ☐ SD34940 ☐ SD34990 ☐ SD35040 ☐ SD35090 ☐ SD35140 ☐ SD35190 ☐ SD35240 ☐ SD35290 ☐ SD35340 ☐ SD35390 ☐ SD35440 ☐ SD35490 ☐ SD35540 ☐ SD35590 ☐ SD35640 ☐ SD35690 ☐ SD35740 ☐ SD35790 ☐ SD35840 ☐ SD35890 ☐ SD35940 ☐ SD35990 ☐ SD36040 ☐ SD36090 ☐ SD36140 ☐ SD36190 ☐ SD36240 ☐ SD36290 ☐ SD36340 ☐ SD36390 ☐ SD36440 ☐ SD36490 ☐ SD36540 ☐ SD36590 ☐ SD36640 ☐ SD36690 ☐ SD36740 ☐ SD36790 ☐ SD36840 ☐ SD36890 ☐ SD36940 ☐ SD36990 ☐ SD37040 ☐ SD37090 ☐ SD37140 ☐ SD37190 ☐ SD37240 ☐ SD37290 ☐ SD37340 ☐ SD37390 ☐ SD37440 ☐ SD37490 ☐ SD37540 ☐ SD37590 ☐ SD37640 ☐ SD37690 ☐ SD37740 ☐ SD37790 ☐ SD37840 ☐ SD37890 ☐ SD37940 ☐ SD37990 ☐ SD38040 ☐ SD38090 ☐ SD38140 ☐ SD38190 ☐ SD38240 ☐ SD38290 ☐ SD38340 ☐ SD38390 ☐ SD38440 ☐ SD38490 ☐ SD38540 ☐ SD38590 ☐ SD38640 ☐ SD38690 ☐ SD38740 ☐ SD38790 ☐ SD38840 ☐ SD38890 ☐ SD38940 ☐ SD38990 ☐ SD39040 ☐ SD39090 ☐ SD39140 ☐ SD39190 ☐ SD39240 ☐ SD39290 ☐ SD39340 ☐ SD39390 ☐ SD39440 ☐ SD39490 ☐ SD39540 ☐ SD39590 ☐ SD39640 ☐ SD39690 ☐ SD39740 ☐ SD39790 ☐ SD39840 ☐ SD39890 ☐ SD39940 ☐ SD39990 ☐ SD40040 ☐ SD40090 ☐ SD40140 ☐ SD40190 ☐ SD40240 ☐ SD40290 ☐ SD40340 ☐ SD40390 ☐ SD40440 ☐ SD40490 ☐ SD40540 ☐ SD40590 ☐ SD40640 ☐ SD40690 ☐ SD40740 ☐ SD40790 ☐ SD40840 ☐ SD40890 ☐ SD40940 ☐ SD40990 ☐ SD41040 ☐ SD41090 ☐ SD41140 ☐ SD41190 ☐ SD41240 ☐ SD41290 ☐ SD41340 ☐ SD41390 ☐ SD41440 ☐ SD41490 ☐ SD41540 ☐ SD41590 ☐ SD41640 ☐ SD41690 ☐ SD41740 ☐ SD41790 ☐ SD41840 ☐ SD41890 ☐ SD41940 ☐ SD41990 ☐ SD42040 ☐ SD42090 ☐ SD42140 ☐ SD42190 ☐ SD42240 ☐ SD42290 ☐ SD42340 ☐ SD42390 ☐ SD42440 ☐ SD42490 ☐ SD42540 ☐ SD42590 ☐ SD42640 ☐ SD42690 ☐ SD42740 ☐ SD42790 ☐ SD42840 ☐ SD42890 ☐ SD42940 ☐ SD42990 ☐ SD43040 ☐ SD43090 ☐ SD43140 ☐ SD43190 ☐ SD43240 ☐ SD43290 ☐ SD43340 ☐ SD43390 ☐ SD43440 ☐ SD43490 ☐ SD43540 ☐ SD43590 ☐ SD43640 ☐ SD43690 ☐ SD43740 ☐ SD43790 ☐ SD43840 ☐ SD43890 ☐ SD43940 ☐ SD43990 ☐ SD44040 ☐ SD44090 ☐ SD44140 ☐ SD44190 ☐ SD44240 ☐ SD44290 ☐ SD44340 ☐ SD44390 ☐ SD44440 ☐ SD44490 ☐ SD44540 ☐ SD44590 ☐ SD44640 ☐ SD44690 ☐ SD44740 ☐ SD44790 ☐ SD44840 ☐ SD44890 ☐ SD44940 ☐ SD44990 ☐ SD45040 ☐ SD45090 ☐ SD45140 ☐ SD45190 ☐ SD45240 ☐ SD45290

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
d ... 異形鉄筋の呼び名に用いた数値 D ... 部材の径 R ... 半径
e ... 間隔 r ... 半径 【 ... 中心線 lo ... 部材間の内法距離 ho ... 部材間の内法高さ
ST ... あばら筋 HOOP ... 帯筋 S.HOOP ... 補強帯筋 φ ... 直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の全長	4d以上	6d以上(4d以上)	9d以上(4d以上)

折曲げ角度90°はスラブ・壁の末端部またはスラブと壁の打ち込み形状およびL形鉄筋のキャップタイにのみ用いる。
*片持スラブ上端筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状

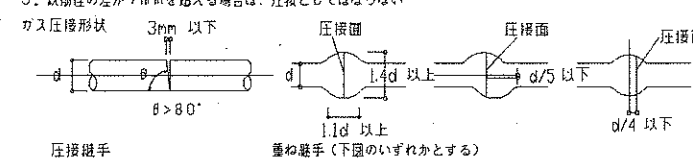
図	鉄筋の使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内径(R)
	帯筋 あばら筋 スライフル筋	SR235, SD295A SR295B, SD345	16φ以下 19φ以上	3d 以上 4d 以上
	上記以外の鉄筋	SR235, SD295A SR295B, SD345 SD390	16φ以下 19φ~25φ 28φ~32φ D19~D25 D29~D41	6d 以上 8d 以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね接手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね接手の長さ(LI)
		一般 (L2)	下は筋 (L3)	
SR235	21 ~ 36	35d フックつき 18以下	25d フックつき 15cm フックつき	40d フックつき 45d フックつき
SD295A SD295B SD345	21 ~ 36	40d またはフックつき※ 18以下	25d またはフックつき※ 15cm フックつき	40d またはフックつき※ 45d またはフックつき※
SD390	27 ~ 36	40d またはフックつき※ 21 ~ 24	40d またはフックつき※	40d またはフックつき※ 45d またはフックつき※

重ね手

1. 末端のフックは、定着および重ね接手の長さに含まない。
2. 重ね手位置は、筋力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 直径の異なる鉄筋の重ね接手長さは、揃い方の鉄筋の接手長さとする。
4. D25以上の異形鉄筋は、原則として、重ね接手としてはならない。
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接とではならない。



(4) かぶり厚さ

部 位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	30	20
土に接する部分	40(1)	30(20)
柱・はり・床スラブ・耐力壁	40(2)	30(30)
基礎・隅・壁	50(3)	40
柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40(4)
基礎・隅・壁	70	60(5)

- (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
- (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- (3) コンクリートの品質及び施工方法に於いて、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- (4) 軽量コンクリートの場合は、1.0mm増しの値とする。
- (5) () 内は仕上げがある場合。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、異形鉄筋の最大寸法1.25倍以上かつ25以上



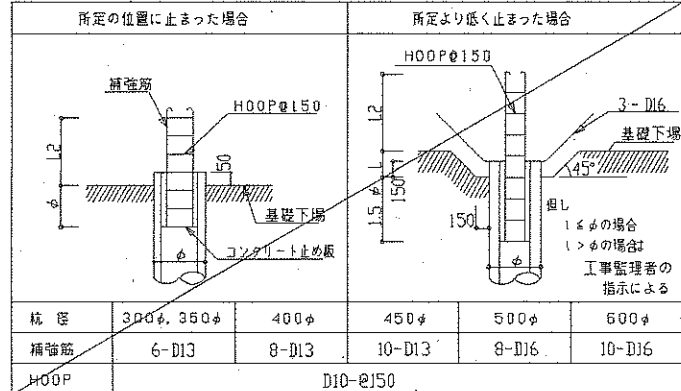
(6) 鉄筋のフック

- a. 丸鋼
- b. あばら筋、帯筋
- c. 角鉄筋
- d. 柱、梁（基礎梁を除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
- e. 単独梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準図に記載する箇所

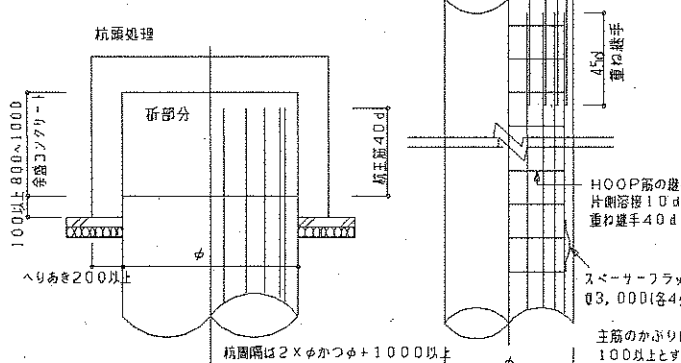
3. 杭

(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PHC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

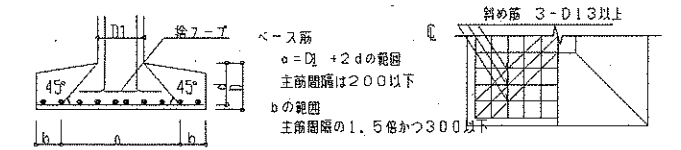


(2) 現場打ちコンクリート杭

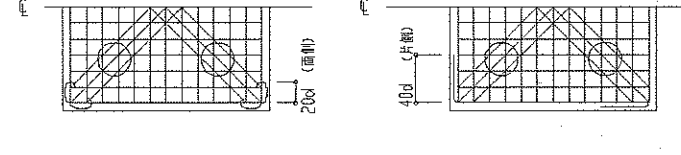
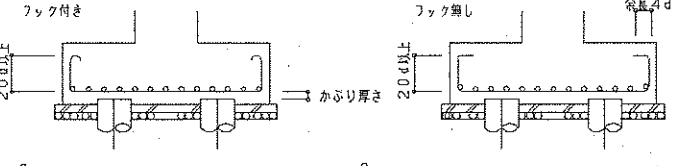


4. 基礎

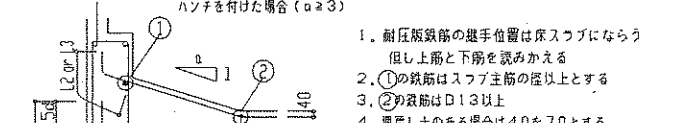
(1) 直接基礎



(2) 杭基礎

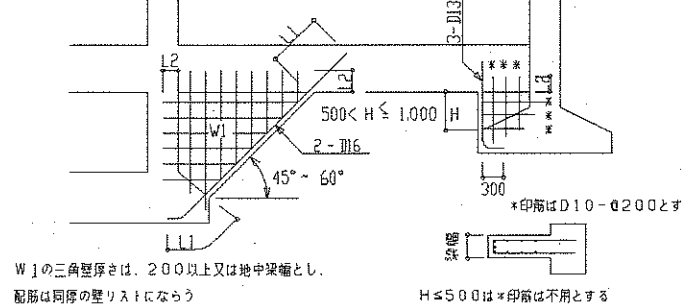


(3) ベタ基礎



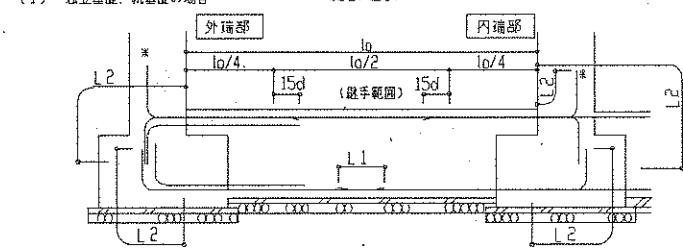
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう、但し上筋と下筋を読みかえる。
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
3. ②の鉄筋はD13以上。
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする。

(4) 基礎埋込部の補強

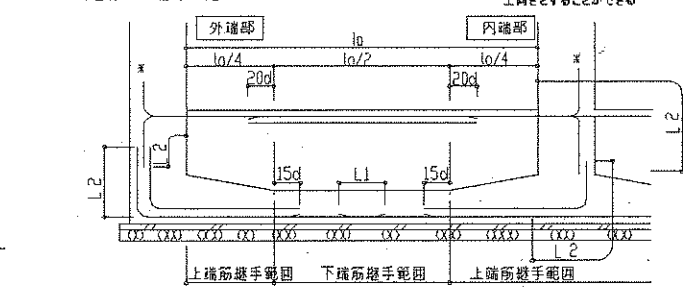


5. 地中梁

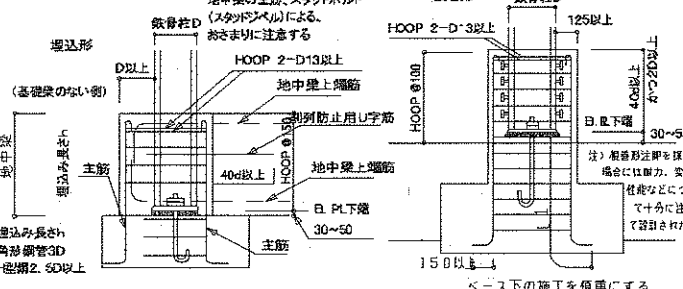
(1) 独立基礎、杭基礎の場合



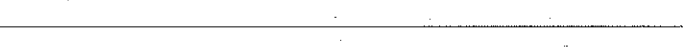
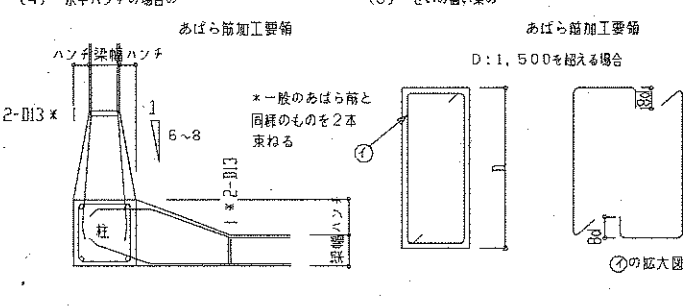
(2) 布基礎、ベタ基礎の場合



(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定配筋

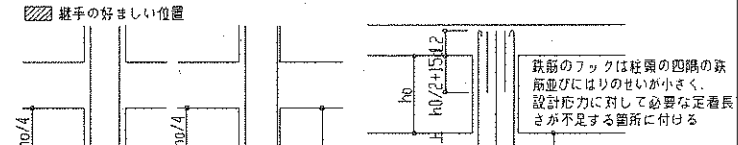


(4) 水平ハンチの場合

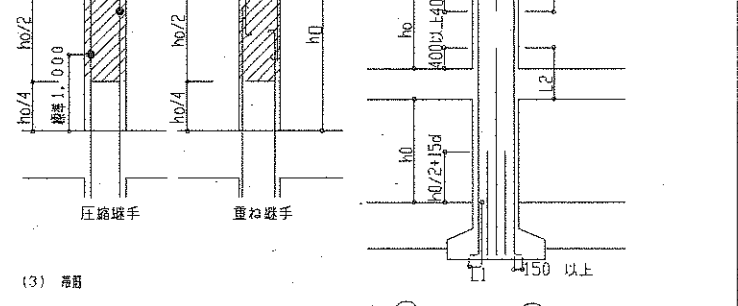


6. 柱

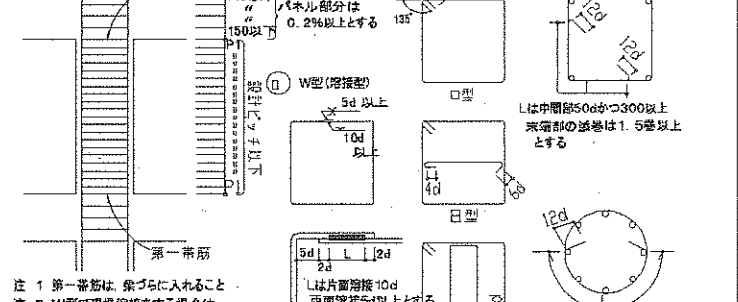
(1) 柱主筋の継手



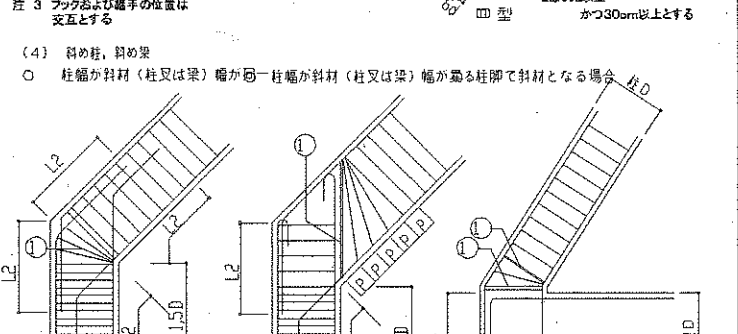
(2) 柱主筋の定着



(3) 帯筋



(4) 斜め柱、斜め梁



- 注 1. 50の範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとしφ100以下とする。
- 注 2. 斜め梁の帯筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする。

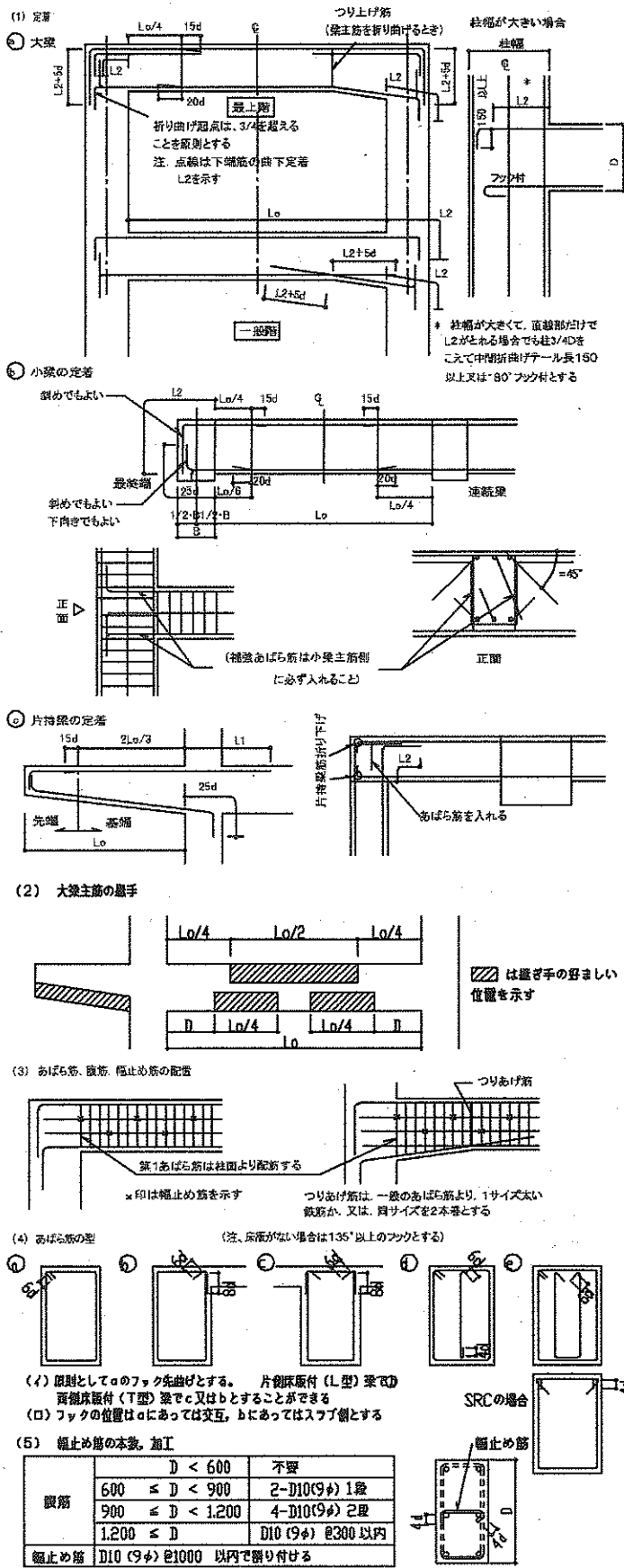
工事名	錦町1号公園整備工事
図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
図面番号	S02/
図面作成	令和 8年 4月 日
課長	補佐
係長	設計

藤市都市整備部 道路公園課

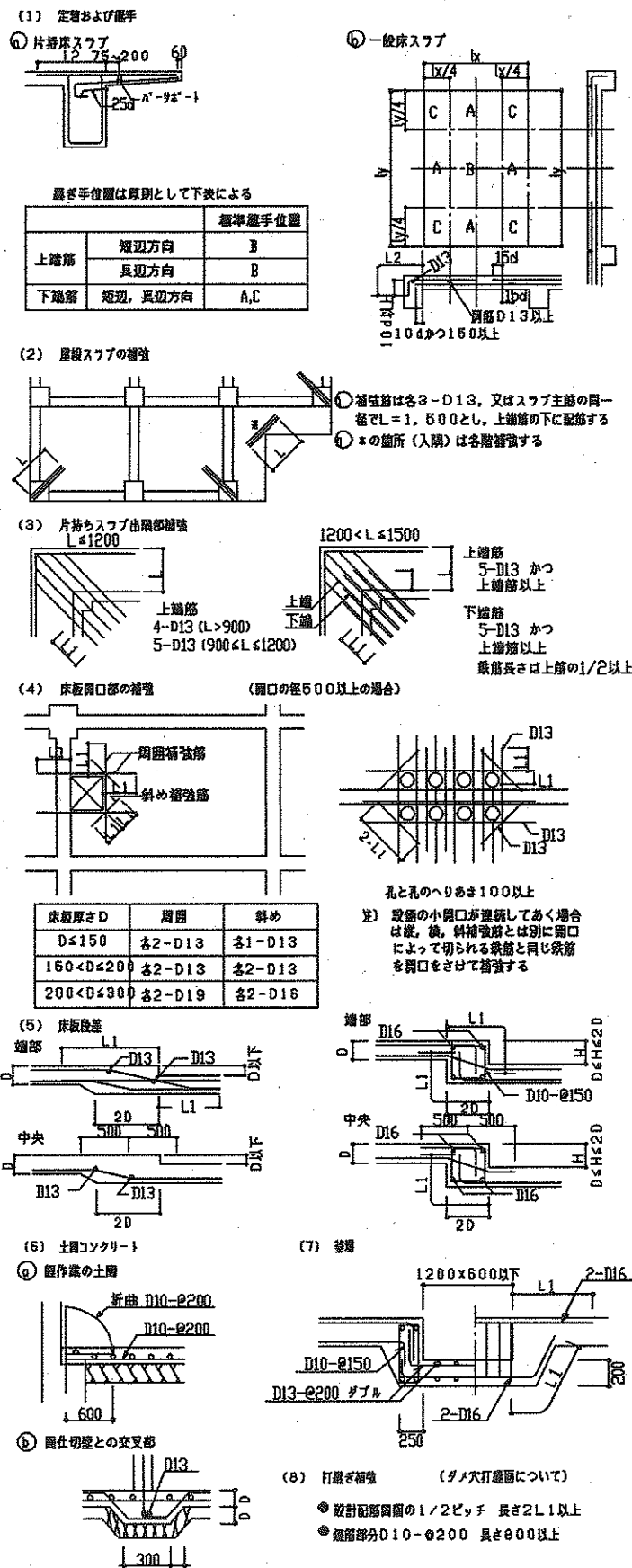
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による

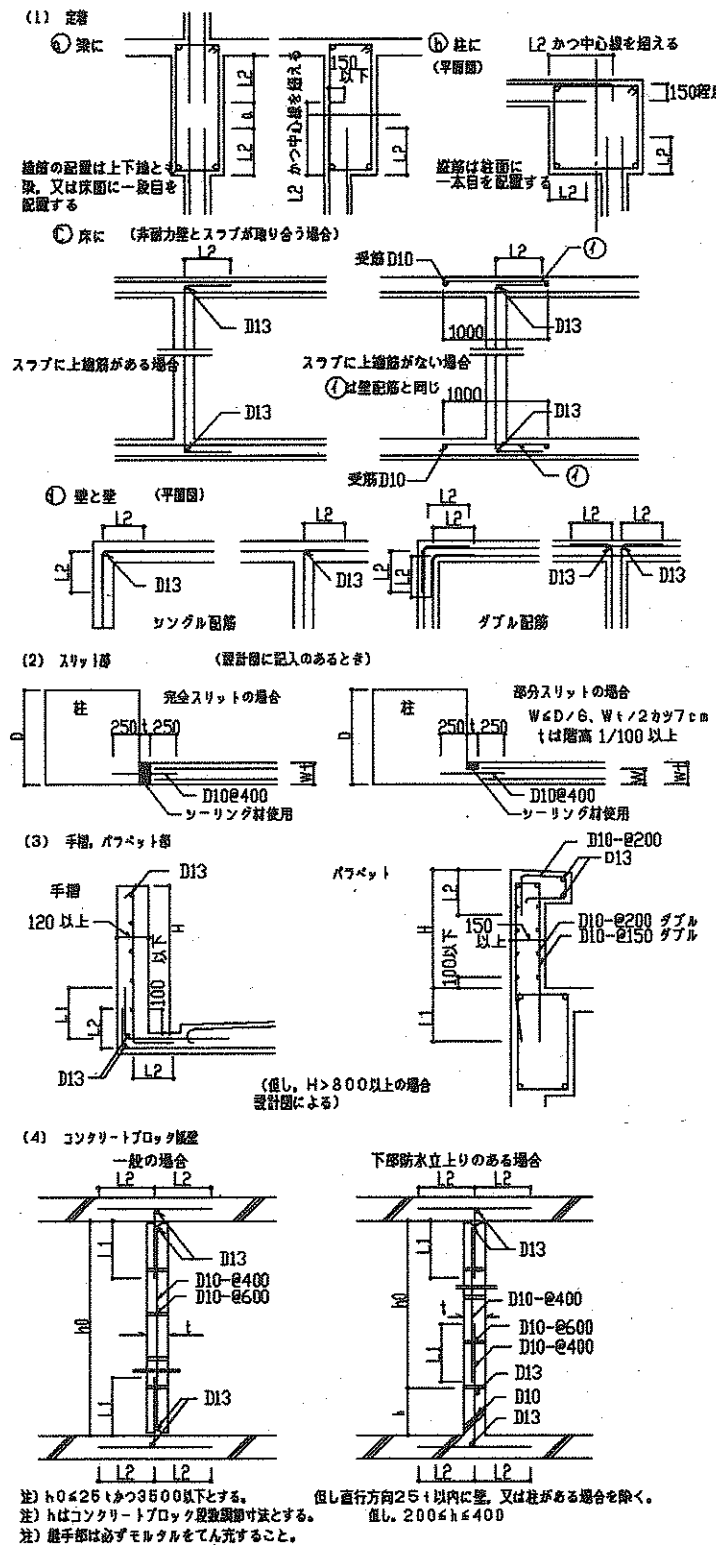
7. 大梁、小梁、片持梁



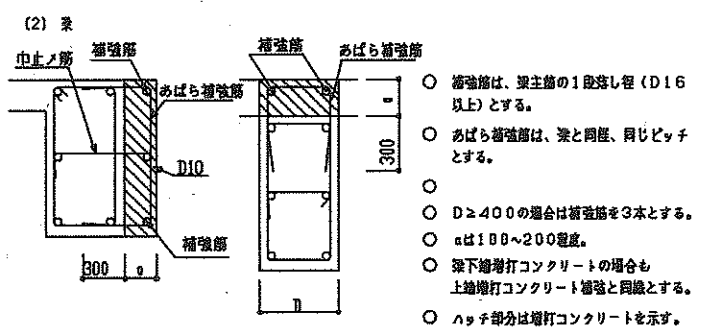
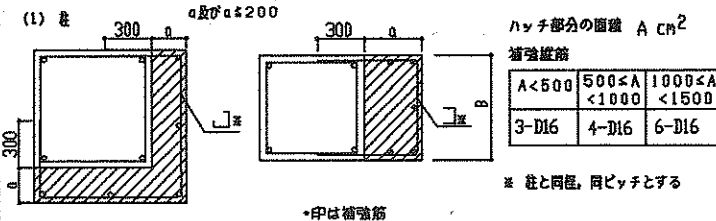
8. 床版



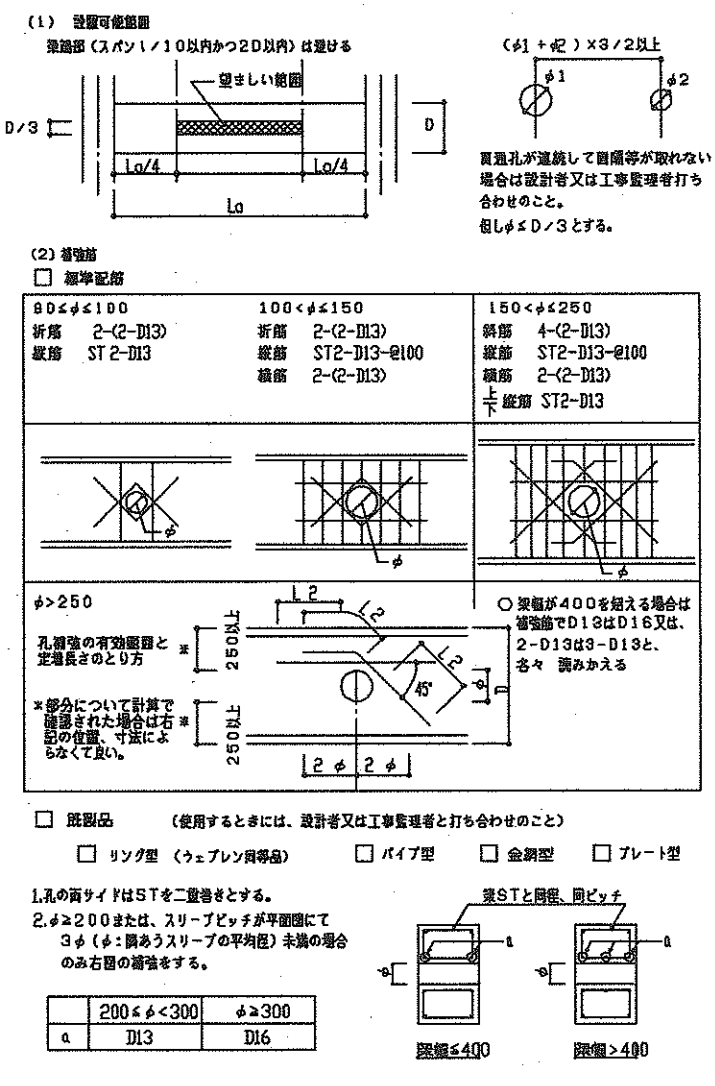
9. 壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強



11. 梁貫通孔補強



工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）					
図面番号		S03/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
藤市都市整備部道路公園課							

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- 構造設計特記仕様による。
- 本標準図は、ベースプレートを除き鋼材の厚さが40mm以下のものとする。但し、ベースプレートの厚さは除く。
- 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する。

(2) 工作一般

- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る。
- 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
- 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

(3) 高力ボルト接合

- 本図に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
- 高力ボルトの摩損面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。但しショットブラストによる処理で表面荒さが、50μm以上である場合は、さびの発生は要しない。
- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するように注意して行う。

(4) 溶接接合

- 平成12年建設省告示第146号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適合するJISZ3801(手溶接)又はJISZ3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。

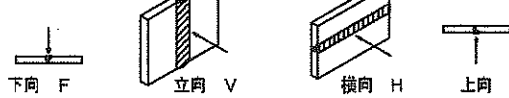
(c) 溶接機器

- 交流アーク溶接機 300A~500A
- 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- アークエアーガウジング機(直流)
- 溶接電流を測定する電流計
- サブマージアーク溶接機一式
- 溶接棒乾燥機

(d) 溶接方法

- 被覆アーク溶接(アーク手溶接、MC、MP) ガスシールドアーク溶接(半自動溶接、GC、GP)
- セルフシールドアーク溶接(半自動溶接、NGC) アークエアーガウジング(AAG)

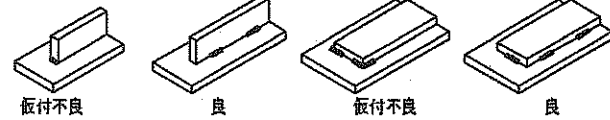
(e) 溶接姿勢



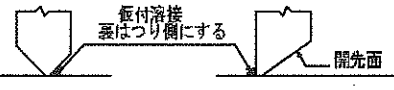
- 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。

(イ) 仮付位置

- 組立て溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



- 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。

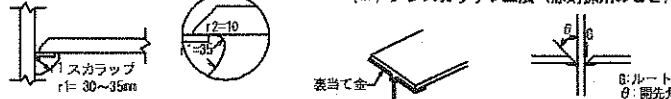


(g) 溶接施工

(イ) エンドタブ

- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で両端先形状のエンドタブを取り付ける。
- エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分な実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には工事監督者の承認を受けて他の方法とすることができる。
- エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
- プレス鋼板タブ、図形タブ仕様については、資料を提出し設計者、又は工事監督者の承認を得る。
- 溶接部金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば工事監督者の承認を得て変更することができる。
- 溶接部金
半径はr1=30~35mmと、r2=10mmのダブルアールとする。但し、梁成がφ=150未満の場合のスカラップはr1=20mmとする。

(ニ) ノンスカラップ工法(原則採用のこと)



(ホ) 裏はつり

- 現場溶接においてAAGと記載のある部分は全て、アークエアーガウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける。

- 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行う。

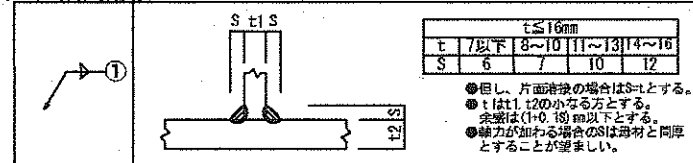
(5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

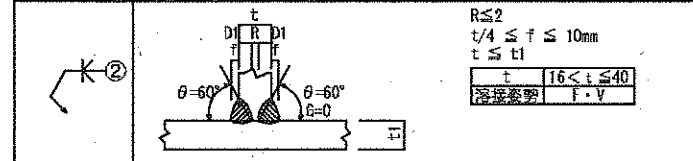
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

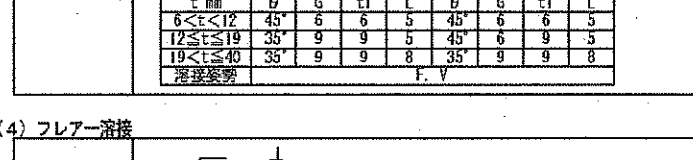
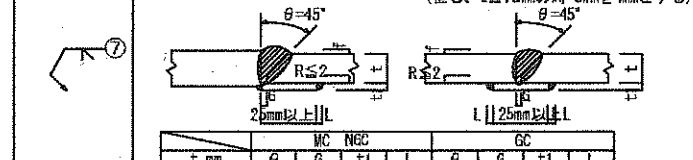
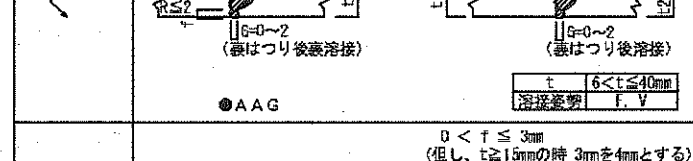
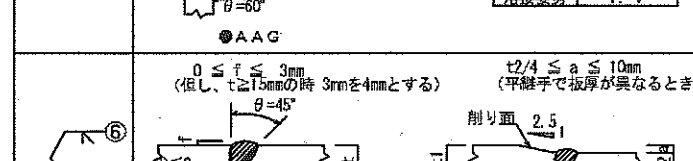
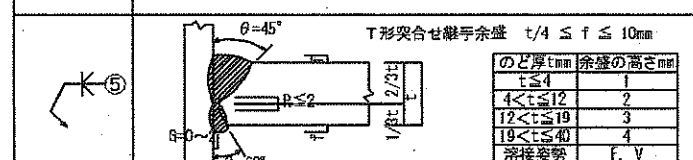
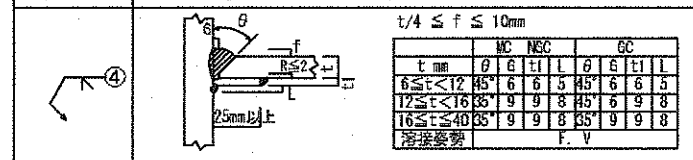
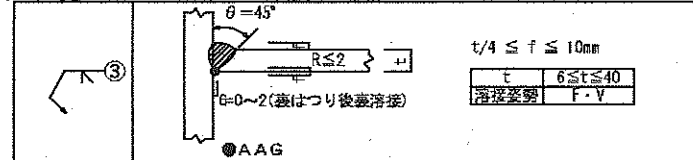
(1) 隅肉溶接



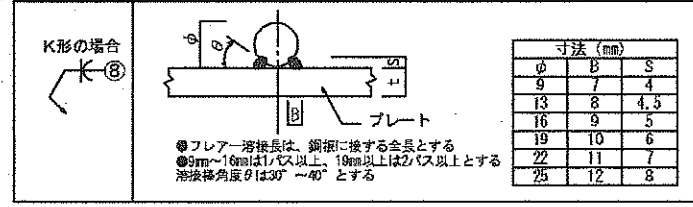
(2) 部分溶け込み溶接(使用箇所注意)



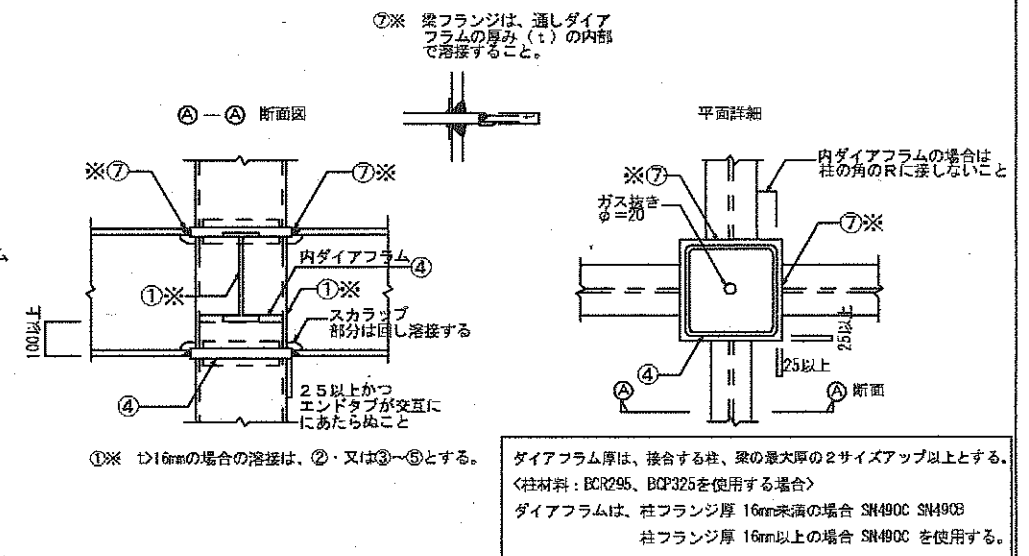
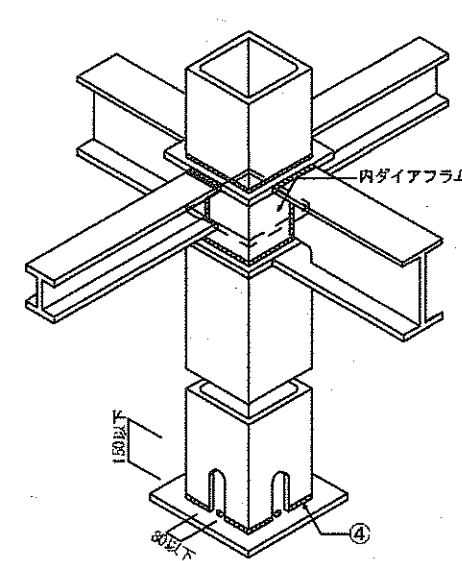
(3) 完全溶込み溶接(平継手、T形継手)



(4) フレア溶接



●BOX型(通しダイアフラムの場合)

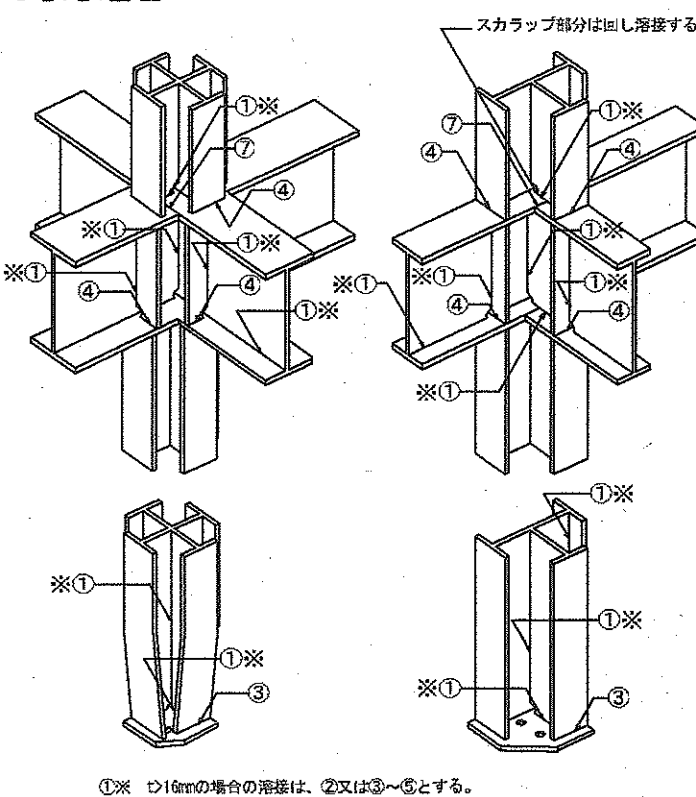


●鋼材種別による溶接条件

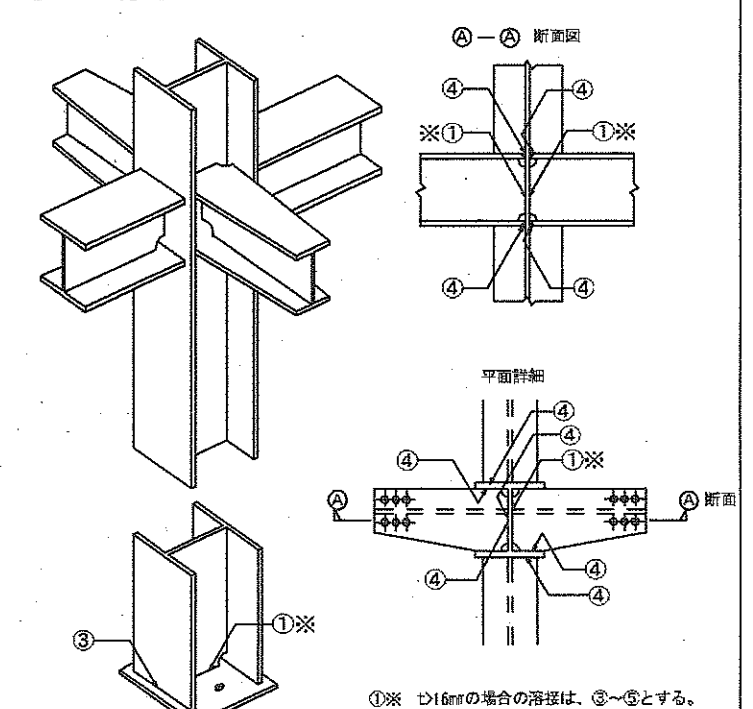
鋼材の種別	溶接材料と入熱量・バス温度	
	溶接材料	入熱量(kJ/cm) / バス温度(℃)
400N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40 以下
	YGM-11.15	350 以下
	YGM-18.19	350 以下
	JIS Z 3315	40 以下
490N/mm ² 級鋼	YGA-50W、50P	40 以下
	JIS Z 3312	40 以下
	YGM-11.15	350 以下
	YGM-18.19	350 以下
	JIS Z 3315	40 以下
	YGA-50W、50P	350 以下

注) S18R、BCR、BCP材は、JIS Z 3312 のみ使用可
「構造特記仕様 6 鉄骨工事 (2) 認定又は登録工場」の
グレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による。

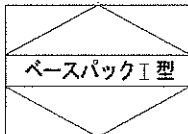
●B・I型



●B・H方式



工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	鉄骨構造標準図(1)			
図面番号	S04/	図面作成	令和 8年 4月	日
課長	補佐	係長	設計	
藤市都市整備部道路公園課				



角形鋼管

F値295N/mm²以下
□-150×150 ~ □-300×300 用

(財)日本建築センターによる一般認定「BCJ認定-ST0093-17」(平成30年9月21日付)

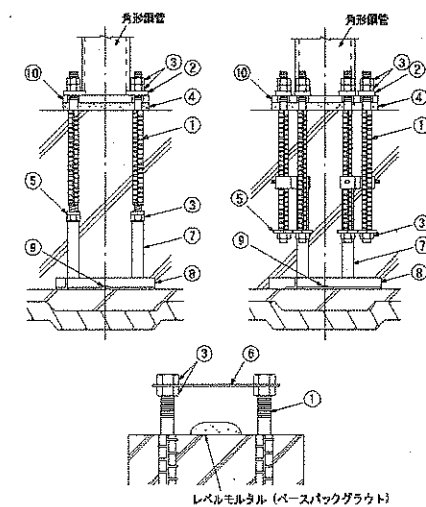
ベースパック柱脚工法 設計標準図

岡部株式会社 旭化成建材株式会社
TEL03 (3624) 5336 TEL03 (3296) 3515

2019年1月作成

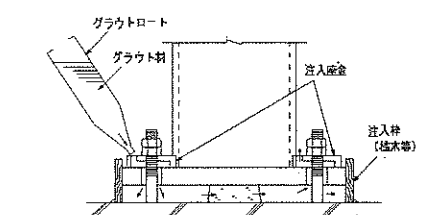
1. 工法概要

1.1 構成部材



- ① アンカーボルト
 - ② 注入座金
 - ③ Mナット
 - ④ ベースパックグラウト(グラウト材)
 - ⑤ 定着座金
 - ⑥ テンプレート
 - ⑦ フレームポスト
 - ⑧ フレームベース
 - ⑨ ステコンアンカー
 - ⑩ ベースプレート
- (注) 上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注) 上記⑤～⑩は現場状況により仕様変更がある場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要



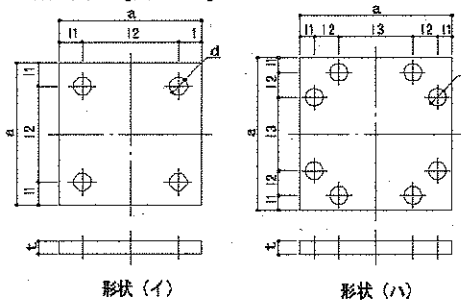
2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	C1
	TSC295	

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質
SN490B [JIS G 3136]



3.3 Mナット

呼び	A	B	(c)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3.4 定着座金

呼び	適用	e1	t	d	材質
M27	7分	55	9	28	SS400
M30	8分	55	9	31	SS400
M33	9分	60	9	34	SS400
M36	10分	65	12	37	SS400
M39	11分	80	12	40	SS400

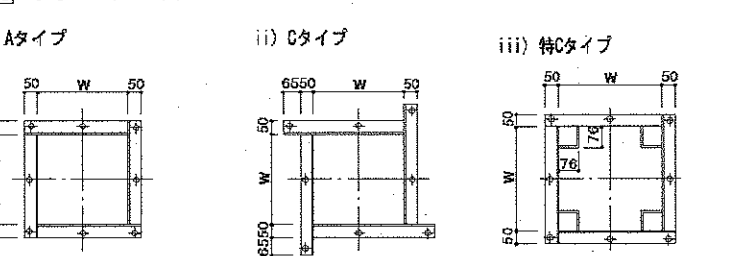
3.5 注入座金

記号	適用	a1	a2	c	t	d
FM27	M27	32	42	101	18	28
FM30	M30	32	42	101	18	31
FM33	M33	35	45	110	18	34
FM36	M36	35	45	110	18	37
FM39	M39	38	48	118	18	40

3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

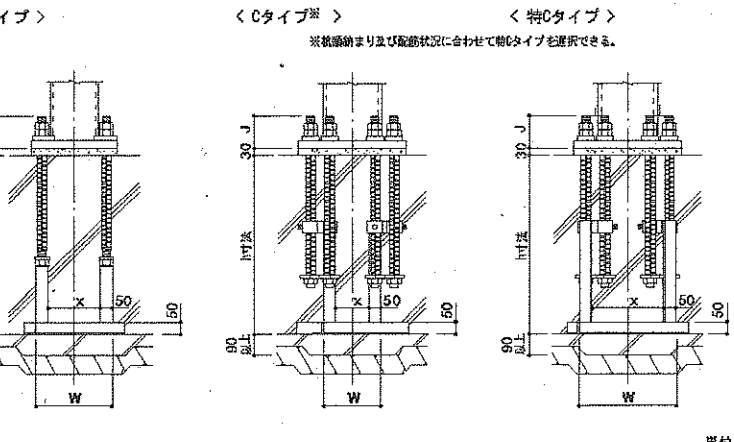
呼び	規格	L	X	b	単位 mm
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	735	45	140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	810	60	135	490

3.6 フレームベース



3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

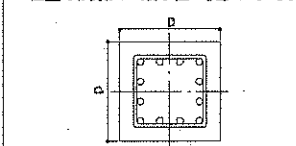
●ベースパックの据付け高さ (h寸法) はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ (最低h寸法) は下表に記載の値とする。



4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

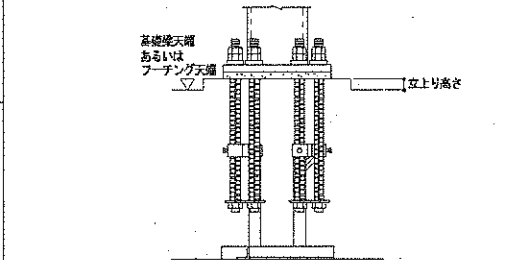


●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D19, D22)

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが30mmを超え300mm以下の場合は、Lシリーズを使用することができる。



5. 工場製作 (溶接)

■組立

●ベースプレートの中心線 (h寸法) に柱軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の引張強度 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	溶接厚 (mm)	溶接強度 (N/mm ²)	溶接強度 (N/mm ²)	溶接強度 (N/mm ²)	溶接強度 (N/mm ²)	溶接強度 (N/mm ²)	溶接強度 (N/mm ²)
1	溶接	7	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
2	溶接	9	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
3	溶接	6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
4	溶接	7	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

※溶接強度は、溶接部の引張強度を示す。
※溶接強度は「溶接部引張強度」に規定する許容値 (t: 板厚、w: 溶接厚、d: 溶接径) を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温 (鋼材表面温度) が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚 (mm)	予熱温度 (℃)
溶接	SN490B	t ≤ 32	予熱なし
溶接	SN490B	32 < t ≤ 40	50℃
溶接	SN490B	40 < t ≤ 50	50℃

■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

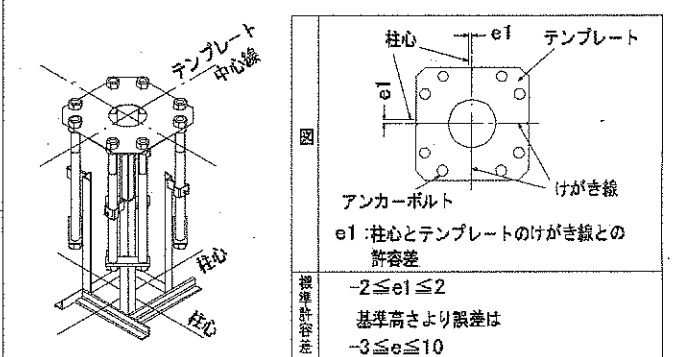
6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の指コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト (フレーム) の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地盤等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト (フレーム) との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト (グラウト材) を使用し、大きさは右図による。

6.5 アンカーボルトの本締め (弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースパックグラウト (グラウト材) の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋 (6kg) に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

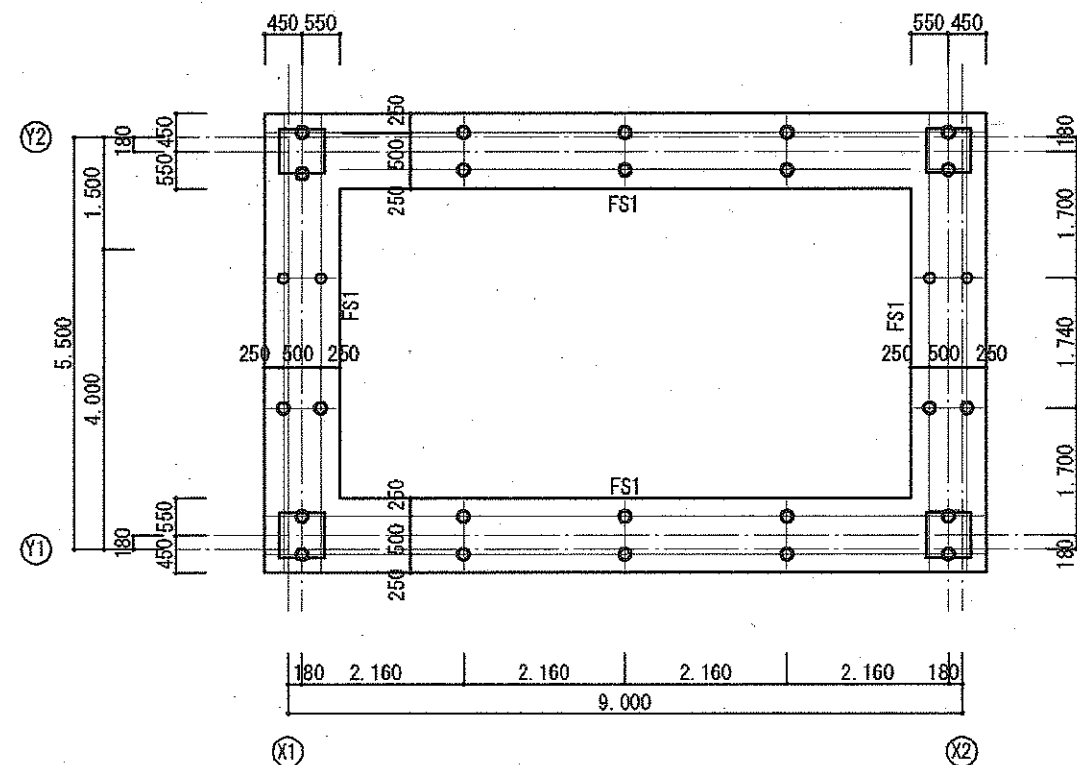
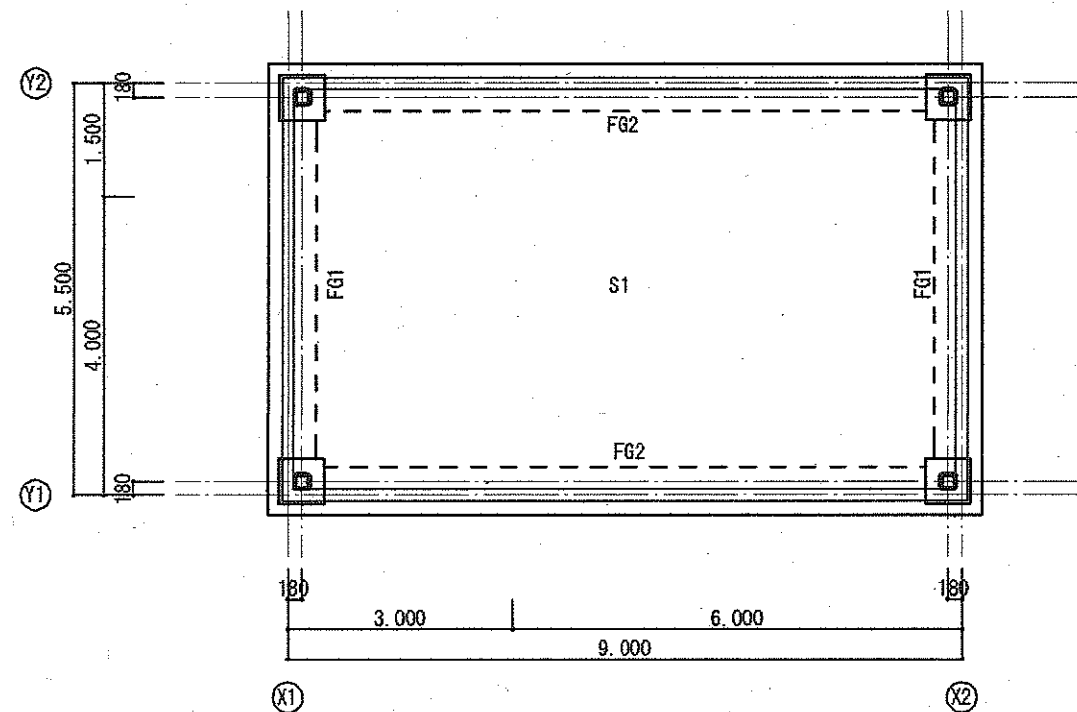
7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者 (元請) の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6.2アンカーボルト据付け及び6.6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者 (ベースパック施工管理技術者・施工技能者) が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

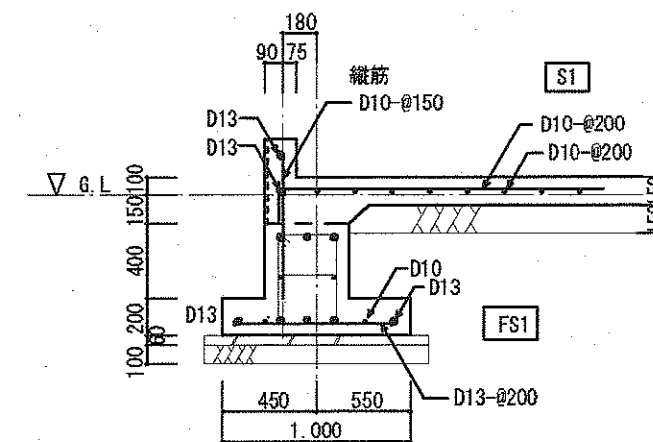
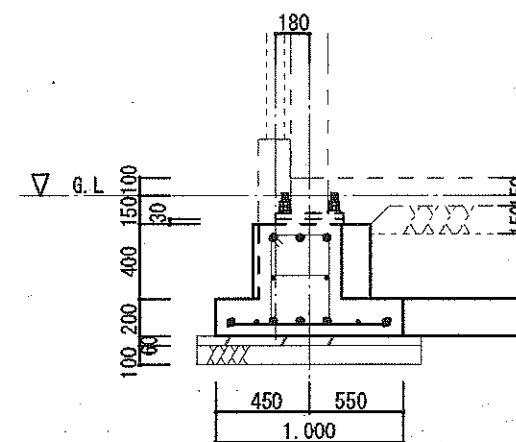
工事名	錦町1号公園整備工事
図面名	ベースパック柱脚工法 標準図
図面番号	S06/
図面作成	令和 8年 4月 日
課長	補佐
係長	設計
藤市都市整備部	道路公園課



基礎伏図 1/100

基礎梁リスト 1/40

	F01	F02	
	全断面	端部	中央
▽ G.L.	450	450	450
150			
400			
200			
B x D	450 x 600	450 x 600	450 x 600
上端筋	3-D19	3-D19	5-D19
下端筋	3-D19	3-D19	3-D19
あばら筋	□ - D10 @150	□ - D10 @150	□ - D10 @150
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10



基礎配筋図 1/40

環境パイ工法 (ロータリー材)

φ140mm x 3.0m x 28本

必要設計地耐力 28.16 kN/m² 布基礎

施工管理値 : 68.2 kN/本

実施にあたり、地質調査を行い結果により工法の変更有り。

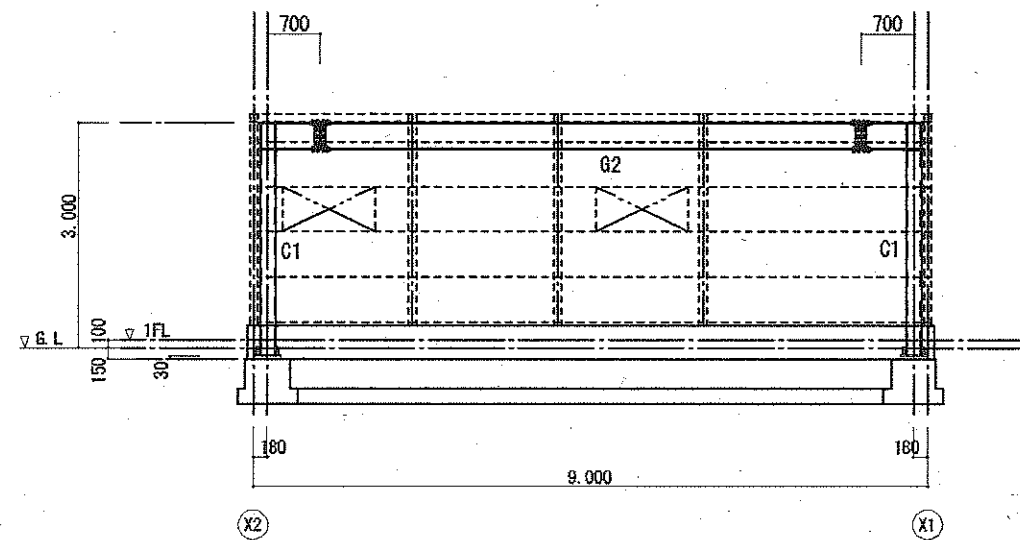
工事名 錦町1号公園整備工事

図面名 基礎伏図、基礎詳細図

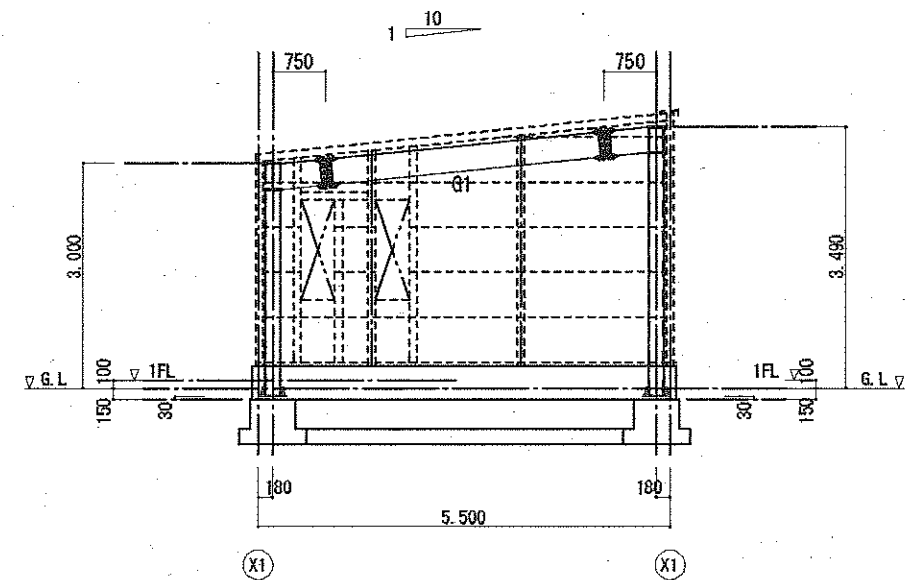
図面番号 S07/ 図面作成 令和 8年 4月 日

課長 補佐 係長 設計

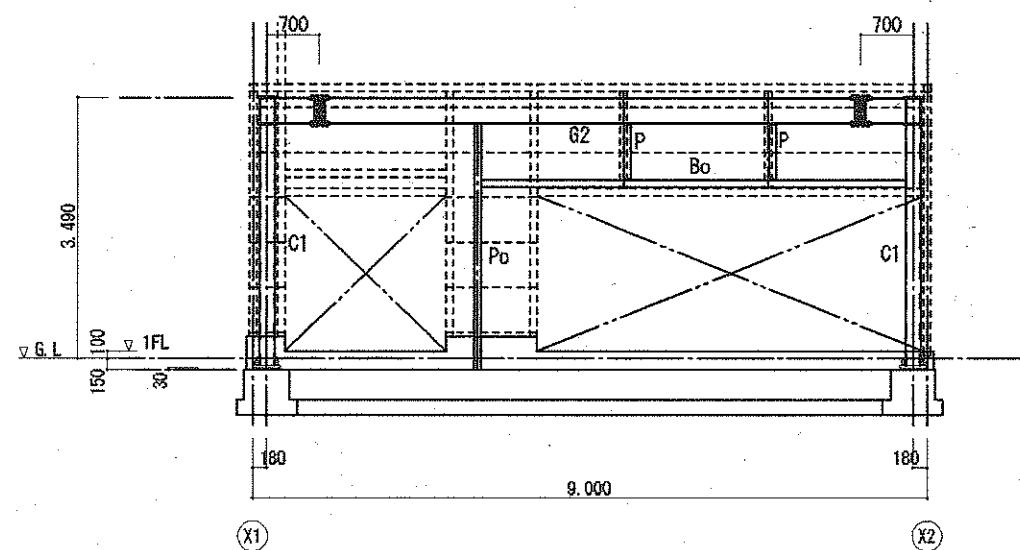
蕨市都市整備部道路公園課



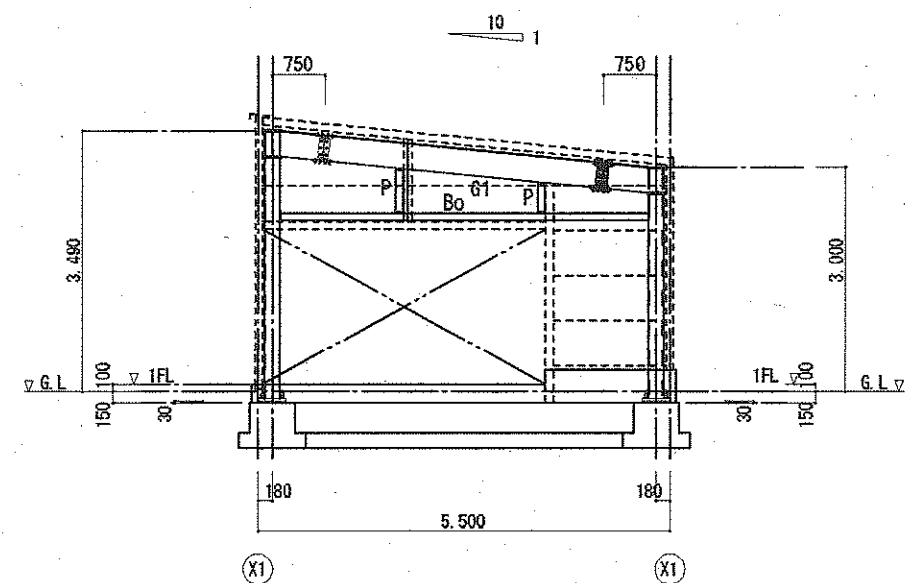
Y2通り軸組図 1/100



Y1通り軸組図 1/100



Y1通り軸組図 1/100



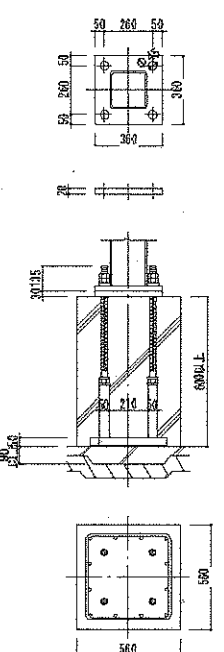
Y1通り軸組図 1/100

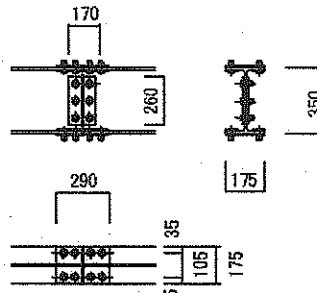
工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		軸組図					
図面番号		S09/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
蕨市都市整備部 道路公園課							

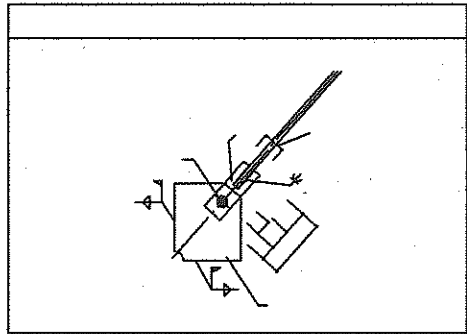
柱リスト 1:40		使用材料 □ BCR295
	SC1	Po
1 階 柱		
	□ - 200x200x 9	H-200x100x5. 5x8

梁リスト 1:40		材料 : SN400B
	G1	
R 階 梁		
端部	H - 350x175x 7x11	
中央	H - 350x175x 7x11	

小梁リスト 1:40		材料 : SN400A
符号	B20	B25
断面		
主材 H-200x100x5. 5x8		H-250x125x6x9
継手	H. T. B 2-M16	2-M20
	G. E G. PL-9	G. PL-12

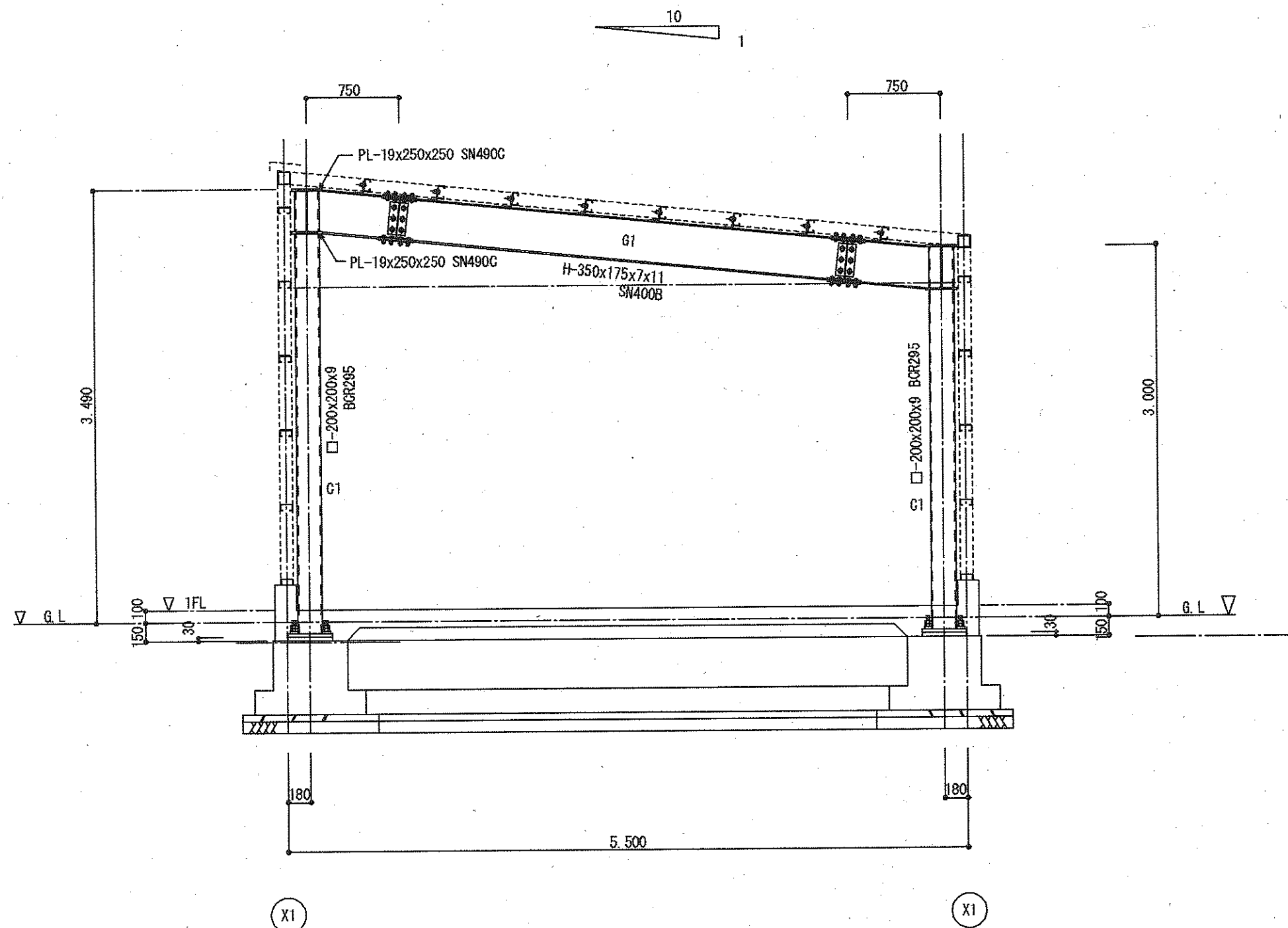
ベースパック 2D-09V	
	
柱部材	□-200×200× 6 □-200×200× 8 □-200×200× 9
ベースプレート	360×360×28
アンカーボルト	4-M30 (RFM-SD490)
コンクリート柱断面	560×560
立上り筋	12-D16 (SD295)
フープ筋	D13@100 (SD295)
コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上

梁継手リスト 1:40		材料 : SN400B
断面		
主材	SG1 H-350x175x7x11	
継手	フランジ	16 - M20 PL- 9x175x290
		2 PL- 9x 70x290
	ウェブ	6 - M20 2 PL- 9x170x260

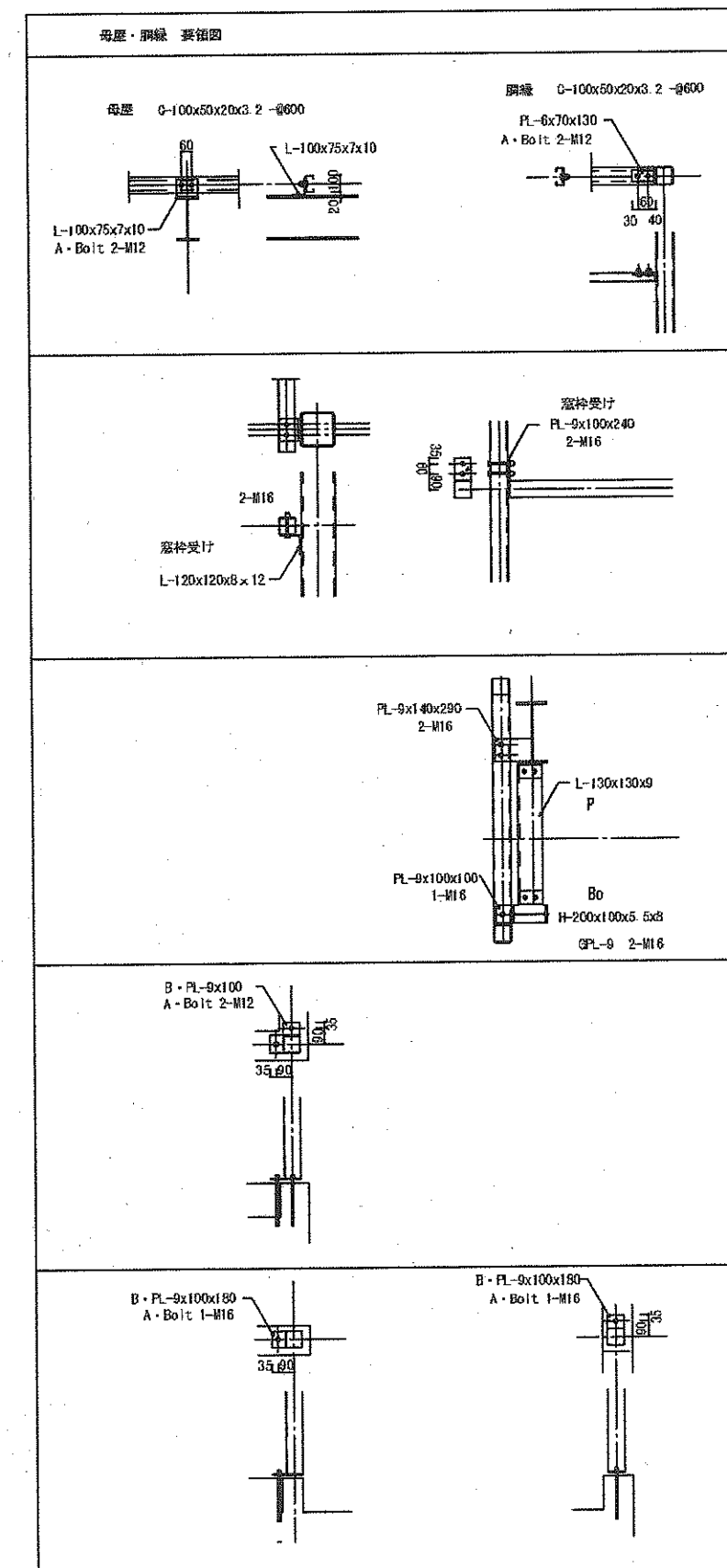


梁の材料	
SN490C	共通
	端部 中央
	SN400B SN400B
SN490C	L
	柱 BCR295

工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		部材リスト					
図面番号		S10/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
藤市都市整備部 道路公園課							



Y1通り架構詳細図 1:40



工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	架構詳細図			
図面番号	S11/	図面作成	令和 8年 4月	日
課長	補佐	係長	設計	
藤市都市整備部道路公園課				

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
- 1.1 工事名 錦町1号公園整備工事
- 1.2 工事場所 麻市錦町6丁目17番街区の一部
- 1.3 工期 契約日から令和年月日まで
- 現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
- 現場施工期間中は、施設管理者との調整により変更することがある。
- 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

○ 電灯設備	・ テレビ共同受信設備
○ 動力設備	・ テレビ電波障害防止設備
・ 電線設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管理設備
・ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備	・ 自動火災報知設備
・ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
・ 構内情報通信設備	・ ガス漏れ火災警報設備
・ 構内交換設備	・ 構内交換設備
・ 情報表示設備	・ 電話配管設備
・ 状態、音響設備	・ 中央監視制御設備
・ 拡声設備 (非常放送設備)	・ 医療観望設備
・ 誘導表示、呼出し設備	・ 昇降機設備

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有 (工期:令和 年 月 日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
- 1 専任期間の始期
- 請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・ 令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期
- 工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手帳を、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断
- 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 1.7 建築概要
- 1.8 工事概要
- 施設内電源供給は別途工事とする。施設メーターを新設し、受電点二次側の工事とする。
- 空調機設置に伴う動力電源新設、配管設備及びコンセントの新設を行う。

- 1.9 同時期施工の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事
- 2 工事仕様
- 2.1 共通仕様
- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、地玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準仕様書 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。
- なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を優先とする。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、●印のものは適用しない。○印と●印の付いた場合は、共に適用する。)

項 目	特 記 事 項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとす。なお、資材名、製造所名および発注者を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。
2 施工条件	施工時間
3 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、発注者の負担とする。
4 工事用仮設備	すべて発注者の負担とし、構内につくことができる。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の発注者が定着したものは無償で利用できる。
6 監督員事務所	本工事で、設ける (規模) ※設けない
7 保 険	発注者は工事目的他及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている独立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、汚損及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について
10 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない
11 発注材処理	引渡を要するもの以外に構外に搬出し、適切に処理する。

- 12 金属電線管の塗装
- 13 鍵
- 14 地中電線路

敷き均し土	管 種 別
良質土	・ 硬質ビニル電線管 (VE)
	・ 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE)
	・ 波付硬質合成樹脂管 (FEP)
	・ ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び導線シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の導線シートは図面特記による。
- (3) 地中電線路の敷設は管方式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管線等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。
- ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、同路の種類、行先の表示を行う。
- 湿度の高い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し目目絶着テープを巻付けたうえで絶縁テープ巻くとする。
- 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタ による接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
- 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したおなじ工法としてもよい。
- 漏電遮断器で保護されている電線と保護されていない電線の直接接地が共用していない場合の接地線は、漏電防止のため、緑色・緑・黄又は緑・色帯で区別する。
- 埋め戻し後の埋設残土は、※監督員が指示する構内の場所敷きならす。
- ・ 構外搬出適切処理する。

- 20 再生砂・再生砕石
- 再生アスコン使用

- 2.1 耐震施工
- 設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。
- なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
- (1) 設計用水平地震力
- 機器の重量 [kg] に、設計用水平地震係数を乗じたものとする。
- なお、特記なき場合、設計用水平地震係数は、次による。

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
壁・柱及び塔上	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
地下・2階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

- 【備 考】(※1) : 水櫃類には、オイルタンク等を含む。
- 重要機器
- ・ 配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
- ・ 交換機 ・ 火災報知等受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
- 上層階の定数は次による。
- 2~6階建の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
- (2) 設計用耐直地震力
- 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- 2.2 あと施工アンカー
- 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
- 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
- 施工は、(一社)日本建築協会と施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技術及び経験を有した者が行うこと。
- 金属系強系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
- 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清浄状況、マーキング、カプセル挿入、型込みの完了が分かる記録を添付すること。
- (原則として、接着系アンカーは用い支持に使用しないものとする。)
- あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- 2.3 はつり及びあと施工アンカー打設
- 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
- 電動ドリル等の刃が鋭利、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

- 2.4 改修部分の足場
- 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
- (1) 内部足場 ※ 脚立足場
- (2) 外部足場 ※ A型 (伸縮足場) ・ B型 ・ C型 ・ D型 ・ E型 ・ F型
- ※足場を設ける場合は、「『手すり先行工法等に関するガイドライン』について」(厚生労働省高規格024001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する選定、解体又は変更の作業は、『手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準』の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- 2.5 壁架止用器具 (フルハーネス型)
- ※使用を要する 壁架止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による
- ・ 使用を要しない

- 2.6 アスベスト事前調査結果の報告
- 2.7 その他

- (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
- (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
- (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
- (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
- (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
- (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象場所の専属 撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
- (7) 受注者は、施工にあたって施設設備 等に支障の無いように細密に打合せを行うこと。
- (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
- (9) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校週 営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
- (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又は、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
- 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.8 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)
- 1 電灯設備
- (1) 配線器具
- スイッチ・壁付コンセント (P15A) は適用形とする。なお、2口コンセントは板式を使用してもよい。
- フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新風金を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。
- コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。
- (2) 照明器具
- 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。
- (3) 照度測定
- 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。
- (4) 分電盤
- 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。
- (5) 結線
- 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継接を使用する。ただし、ボード張り、ボード裏面と塗りしろカバーの間に隙が離れないように施工した場合は、継接を必要としない。
- (6) 位置ボックスの省略
- ケーブルこるがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。

- 2 動力設備
- (1) 動力制御盤及び開閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきJ・V・W・Eの4Pを原則とする。
- (2) 電動機等を負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。

- 3 雷保護設備
- 受雷棒尖利はLR1とする。

- 4 受変電設備
- 高圧引込・・・
- 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その地味処理は監督員の立会いのうえで施工する。
- 高圧ケーブル地味部はシースずれ防止対策を施す。
- (地味処理 ・ 耐圧用 ・ 一般用)
- 受電電圧・・・
- 交流3相3線式 6.6kV 50Hz
- 定格電圧 7.2kV 定格電流 A
- 負荷閉閉器 (PAS)
- 主遮断装置
- 変圧器設備容量
- 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA
- 動力用 kVA × 台
- 電灯用 kVA × 台
- 高圧連絡コンデンサ
- 直列リアクトル ・ 8% ・ 1.3%
- kVar × 台
- kVar × 台

- 5 構内情報通信網設備
- ネットワーク機器を壁内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。

- 6 電力貯蔵設備
- ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
- ・ (概要)

- 7 発電設備
- ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置
- ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置
- ・ 燃料電池発電装置 ・ 燃料電池 (SOFC) 発電装置
- ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置
- ・ (概要)

項 目	特 記 事 項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係機関等に問い合わせる。 (2) 結合室内の接続は端子を使用し、同業者を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。

- 2.4 取付高さ
- 壁付、壁架型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

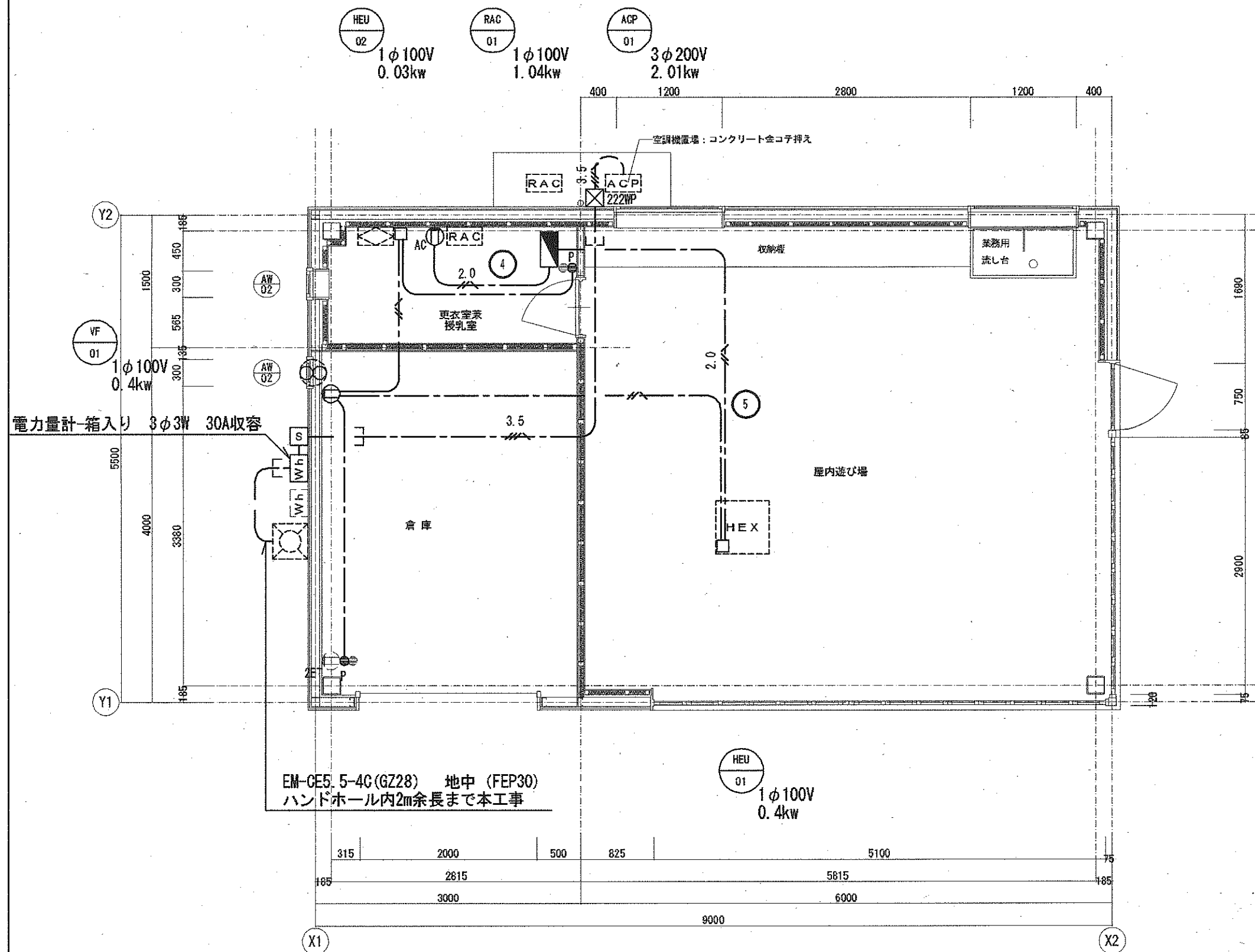
名 称	測 点	取付高さ (mm)	留意事項
スイッチ (一般)	床面中心	1,300	1,200
「 (身体障害者用) 」	「	1,100	1,000
「 (入居センサー利用) 」	「	2,000	2,000
呼びボタン (一般)	「	300	400
「 (30cm) 」	「	150	200
「 (台) 」	「	150	500
防水型 コンセント	「	500	500
分電盤、制御盤、開閉器等	「	(上端1,900以下) 1,500 (上端1,900以下) 1,500	
呼びボタン (身体障害者用)	「	900	900
復帰ボタン (「	「	1,800	1,800
床下表示灯 (「	「	2,000	2,000
端子箱	「	(上端1,900以下) 1,500	2,000

- 3 その他
- 3.1 他工事との取合区分
- 発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺
- 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。
- 3.3 図 表
- 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において、記載が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

工事範囲の主な設置機器メーカー	
機器名称	設置機器メーカー名

- 官公庁等打ち合わせ機関
- 建設 :
- 設計 :
- 監理 :
- 電力会社 :
- 電気会社 :
- ケーブルテレビ会社 :
- 消防本部 :

工 事 名	錦町1号公園整備工事				
図 面 名	電気設備特記仕様書				
図面番号	E01/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課 長	補 佐	係 長	設 計		
麻市都市整備部道路公園課					



EM-CE5.5-4C (GZ28) 地中 (FEP30)
ハンドホール内2m余長まで本工事

平面詳細図

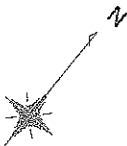
特記なき記号は下記による。

記号	名称
	分電盤
	ブロッカー SS200×200×200 WP Z49
	ジョイントボックス 0.8中浅
	ハンドホール
	開閉器 漏電 3P30AT ×1
	電力量計-破線は電灯用
	パッケージ型空調機
	換気扇
	空調換気扇
	全熱交換機
	コンセント-2P15A×1
	コンセント-2P15A×2 ET付 (電灯設備)
	コンセント-2P15A×1 ET 17コ用
	スイッチ 1P15A×1 (電灯設備)
	スイッチ 1P15A×1 確認表示灯付

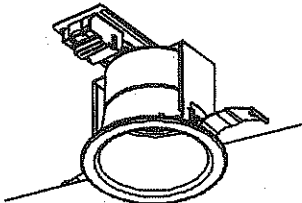
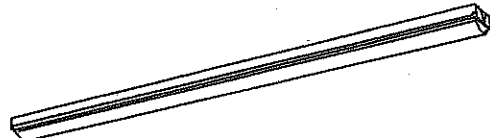
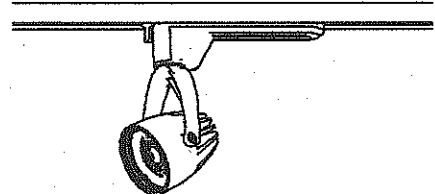
特記なき配線は下記による。

	EM-EEF2.0-3C (保護管 PF22)
	EM-EEF1.6-3C (保護管 PF22)
	EM-EEF1.6-2C (保護管 PF16)
	EM-CE3.5-4C
	EM-CE3.5-4C (GZ28)

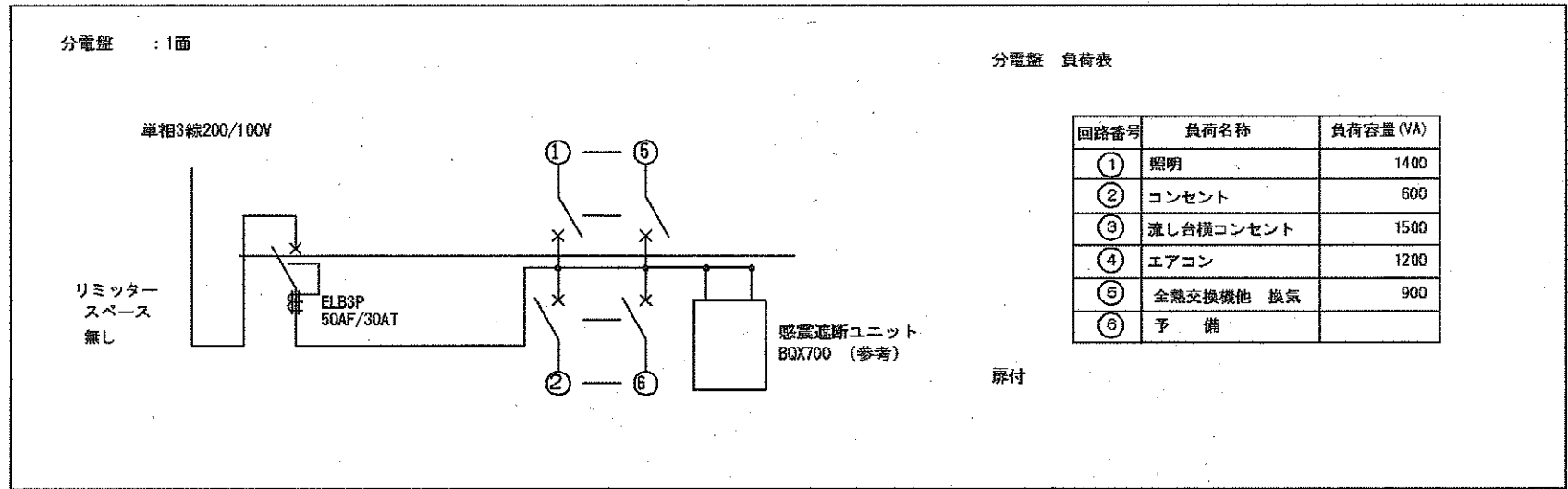
屋外 GZ記号は 厚鋼電線管
溶融亜鉛めっき仕上 HDGZ49とする。



工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	休憩所棟 動力設備平面図				
図面番号	E02/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長	
蕨市都市整備部道路公園課					

A	LED灯	B	LED灯	C	LED灯
	高気密S形 ダウンライト		LSS1-4-37		スポットライト 100形
 器具光束700lm 電球色 電圧100V				 器具光束790lm 拡散型 3500K 電圧100V 100V配線ダクト取付型	

注1 姿図は参考とする。
注2 ランプ色温度は監督員と協議の上決定のこと。



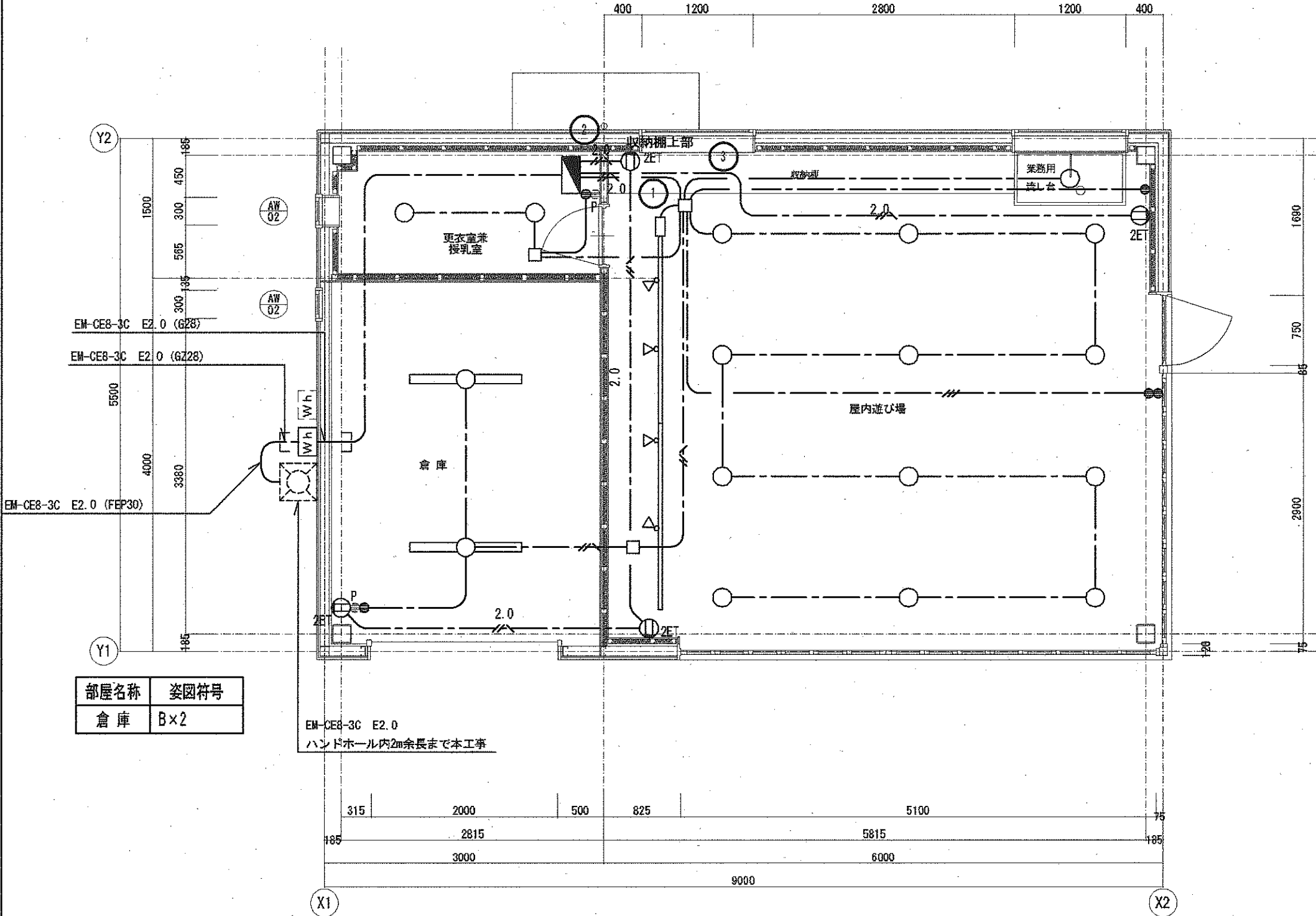
工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		休憩所棟 照明器具要図					
図面番号		E03/	図面作成		令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長		設計	
福岡市都市整備部道路公園課							

部屋名称	姿図符号
更衣室兼授乳室	A×2

部屋名称	姿図符号
屋内遊び場	A×13 C×4

特記なき記号は下記による。	
記号	名称
	分電盤
	ジョイントボックス 0.8中浅
	ハンドホール
	電力量計-箱入り 1φ3W 30A収容 破線は動力用
	コンセント-2P15A×2 ET付
	スイッチ 1P15A×1
	スイッチ 1P15A×2
	LED照明器具 直付型
	LEDスポットライト 埋込型 断熱施工仕様
	ライティングダクト 直付露出型 2m×2 電源部1個

特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF2.0-3C (保護管 PF22)
	EM-EEF1.6-2C (保護管 PF16)
	EM-EEF1.6-3C (保護管 PF22)
	EM-EEF1.6-3C (保護管 PF22)



部屋名称	姿図符号
倉庫	B×2

EM-CE8-3C E2.0
ハンドホール内2m余長まで本工程

平面詳細図

工事名	錦町1号公園整備工事			
図面名	休憩所棟 電灯設備平面図			
図面番号	E04/	図面作成	令和 8年 4月	日
課長		補佐		係長
				設計
蔵市都市整備部道路公園課				

① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発売先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材については、7A(1)各条の有益を証し、7A(2)をきむ機材は、使用しないこと。 ①箇条による環境物品等の流通の促進に関する法律（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、記録事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・値く 監査かない																																																											
② 電気保安技術者	施工時間																																																											
③ 施工条件	※行政機関の休日に関する法律（563第91号）に定める行政機関の休日以外。 上記以外の場合に施工する場合は事前に監督員と協議すること。																																																											
④ 技能士の適用	・配管施工（配管工事） ・建築電気施工（風通気及び取付け） ・熱気絶施工（保温工事） ・冷凍空調配管機器施工（冷凍空調機器の据付け）																																																											
⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※取付に供する設備機器の取付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準」に関する法令（化学的・物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承認を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸塩濃度、④硝酸塩濃度及び亜硝酸塩濃度、⑤酸化水イオンと、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の取付に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。																																																											
⑥ 監督員事務所	本工事で、設ける（規模） 設けない																																																											
⑦ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し滞りなく行う。																																																											
⑧ 工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。																																																											
⑨ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくること 添できる ・できない																																																											
⑩ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が完結したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。																																																											
⑪ 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設発生土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																																											
⑫ 埋め戻し土・盛土	※根切土中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の砂																																																											
⑬ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代換し、表層以外において監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1畝あたり1枚の六面クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																											
⑭ 発生土の処理等	※引取りを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途） (1) 引取りを要するもの() (2) 買取処分を要するもの() (3) 再生資源化を要するもの(・硬質塩化ビニル管) (4) 特別管理産業廃棄物() ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は諸書を提出すること。																																																											
⑮ 容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																																											
⑯ 配 管	(1) 地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設標（コンクリート製） ※表（図示の箇所） ・不要 2) 地中埋設標（キャットアイ） ※表（補強部の分岐、曲部） ・不要 3) 埋設表示テープ（2倍折込み） ※表 ・不要																																																											
⑰ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力 K_v 及び設計用鉛直地震力 K_v （ $K_v/2$ ）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平地震力 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr> <tr> <th colspan="2">○ 特定の施設</th><th colspan="2">● 一般の施設</th></tr> <tr> <th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>地上及び柱層</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td></tr> <tr> <td></td><td><2.0</td><td><1.5</td><td><1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td></td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td></tr> <tr> <td></td><td><1.5</td><td><1.0</td><td><1.0</td><td><0.6</td></tr> <tr> <td></td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr> <tr> <td>1階及び地下階</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr> <tr> <td></td><td><1.0</td><td><1.0</td><td><1.0</td><td><0.6</td></tr> </tbody> </table> (注)〔 〕内の数値は耐震支持の標準に適用する。 < 〇 内の数値は水増しに適用する。 ※上層階とは2～6階層の場合は最上層、7～9階層の場合は上層2階、10～12階層の場合は上層3階、13階層以上の場合は上層4階。 ※中間階とは地下1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） ※重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気装置 空調機 換気扇 換気扇 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵設備 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器	設置場所	耐震安全性の分類				○ 特定の施設		● 一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	地上及び柱層	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)		<2.0	<1.5	<1.5	1.0		1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)		<1.5	<1.0	<1.0	<0.6		1.0	0.6	0.6	0.4	1階及び地下階	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		<1.0	<1.0	<1.0	<0.6
設置場所	耐震安全性の分類																																																											
	○ 特定の施設		● 一般の施設																																																									
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																								
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
地上及び柱層	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																								
	<2.0	<1.5	<1.5	1.0																																																								
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)																																																								
	<1.5	<1.0	<1.0	<0.6																																																								
	1.0	0.6	0.6	0.4																																																								
1階及び地下階	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																								
	<1.0	<1.0	<1.0	<0.6																																																								
17-1 あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承認を受けなければならない。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一般）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、張設の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の厚み剥離、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類別に1か所引張試験を実施すること。																																																											

空気調和設備工事の保溫の種類別		
区 分	施 工 箇 所	保 溫 種 別
ド レ ン 管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅷ
	焼結室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ
	天井内、PS内及び空腔壁中	c2・(ロ)・Ⅷ
	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	a3・(ハ)・Ⅷ
	屋外露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ
蒸 気 管	焼結室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ
	天井内、PS内及び空腔壁中	C2・(ロ)・Ⅱ
	床下、暗渠内 (ビツト内、共肉溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅱ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(イ)・Ⅱ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
冷水・冷温水管 (配管管、空気配管、 膨張タンクからボ イラー等への供給 水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ
	焼結室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、PS内及び空腔壁中	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内 (ビツト内、共肉溝を含む。)	D・(ハ)・Ⅲ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(ハ)・Ⅲ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
温 水 管 (配管管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
	焼結室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、PS内及び空腔壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗渠内 (ビツト内、共肉溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(イ)・Ⅰ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆管を使用し、外装は下記による。
 屋内露出部 ※保温化被覆材 (※樹脂製・重鉛メッキ鋼板製・SUS製)
 屋外露出部 ※保温化被覆材 (※樹脂製・重鉛メッキ鋼板製・SUSラッキング・保温化被覆材) (※樹脂製・重鉛メッキ鋼板製・SUS製)
 2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に準え、アルミガラス化被覆材を使用する。
 3. 被覆材の保温材の種類は、(※グラスウール被覆材・ロックウール被覆材)とする。

ダクトの保溫の種類別		
区 分	施 工 箇 所	保 溫 種 別
長方形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	J1・(イ)・XI
	屋内露出 (焼結室、書庫、倉庫)	I・(イ)・XI
	屋内隠ぺい、DS内	I・(ロ)・XI
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	K3・(イ)・XI
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
円形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	O1・(イ)・XI
	屋内露出 (焼結室、書庫、倉庫)	N・(イ)・XI
	屋内隠ぺい、DS内	N・(ロ)・XI
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	P3・(イ)・XI
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
消音内貼り	サブライチャンパー	M・(ロ)・IX
	消音チャンパー・消音エルボ	L・(ロ)・IX

給排水衛生設備工事の保溫の種類別		
区 分	施 工 箇 所	保 溫 種 別
給排水配管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅷ
	焼結室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅷ
	PS内及び空腔壁中	—
	居室住宅PS内	c2・(ハ)・Ⅷ
排水及び通気管	床下、暗渠内 (ビツト内、共肉溝を含む。)	—
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	a3・(ハ)・Ⅷ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	—
	焼結室、書庫、倉庫	c2・(ロ)・Ⅷ
給排水配管	PS及び空腔壁中	—
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	a3・(ハ)・Ⅷ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	焼結室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
給排水配管	天井内	c2・(ロ)・Ⅰ
	PS内及び空腔壁中	d・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	a3・(イ)・Ⅰ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨間の天井内は含まない。)	
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	a3・(イ)・Ⅰ

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。
 2. 排水管の管径が耐火2層管、耐火VPの場合は、保温を要しない。
 3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に準え、アルミガラス化被覆材を使用する。
 4. 被覆材の保温材の種類は、(※グラスウール・ロックウール)とする。
 5. 消火管壁外露出部保温仕様は、a3・(ハ)・Ⅷとする。
 6. 便所内露出SUS管及び直内露出SUS管は保温を要しない。
 7. 空調設備を要する便所 (特別支援学校等) 以外の便所で高湿度ポリエチレン管を使用する場合は、施工箇所により保温を要しない。
 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。

19 防 凍 保 温 ※屋外露出給水管 (呼び径20以下のみ) は、保温40mmの防凍保温を行うこと。
 ・図示の屋外露出部 (給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。) は下記仕様により防凍保温を行う。
 ※保温仕様は保温厚さを40mmとする。
 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

20 塗 装 下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
 ※焼結室、書庫、倉庫。
 下記の金属電線管は塗装を行う。
 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (※見えかきり部)

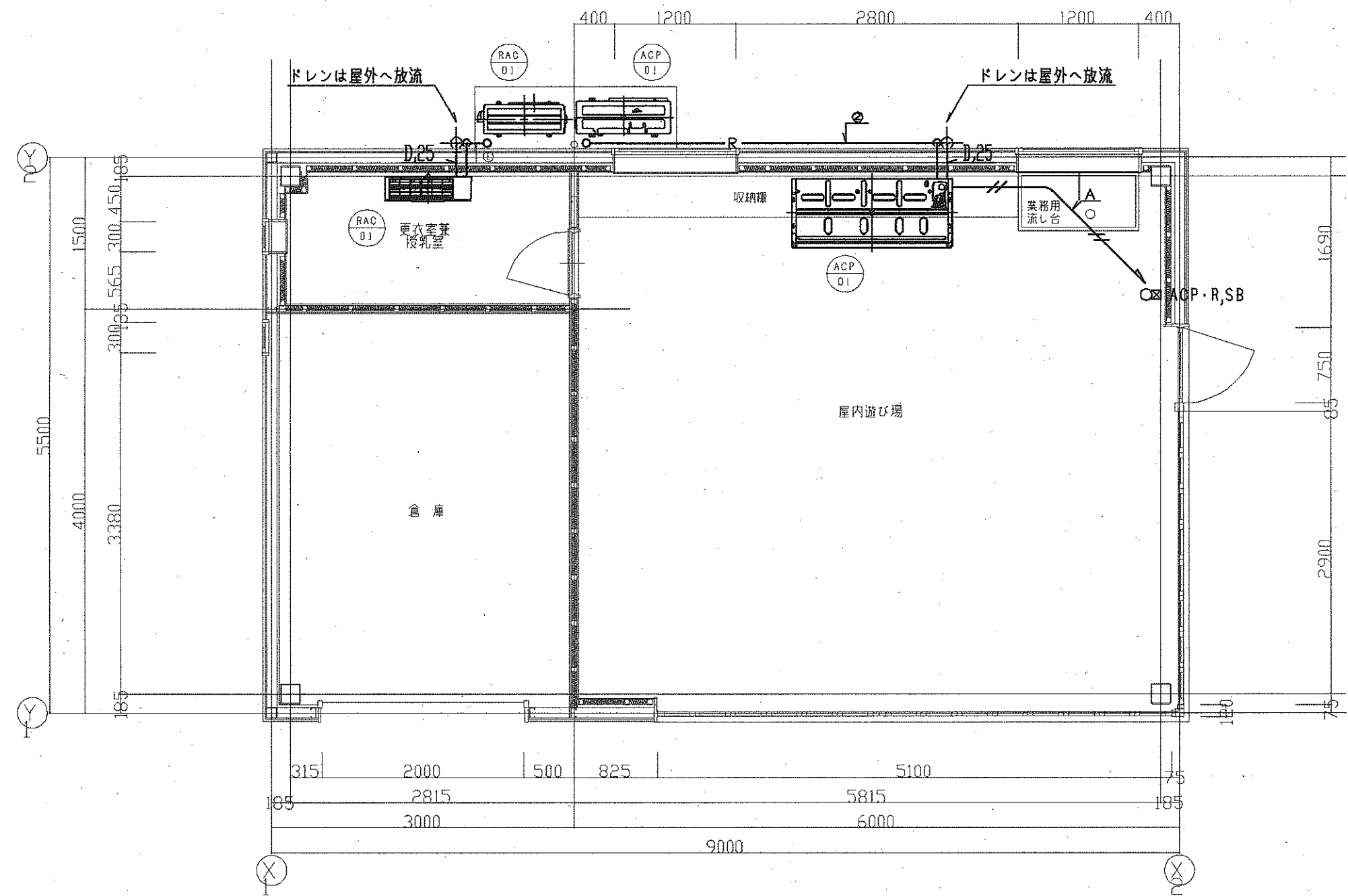
(21) 電 線 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマリアル電線・ケーブルとし、露出部に使用する場合は耐薬液性能を有するものとする。
 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

22 はつり及びびと 既存コンクリート床、壁等の配管経路部の穴開け及び施工アンカー打設前、図面に明示する箇所についてX線探査調査を実施すること。
 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

(23) 管の埋設深さ (1) 公道路上は、道路管理者の指定する深さとする。
 (2) 構内車内道路では、陸揚げ下面から管の上端まで600mmとする。
 (3) その他場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。

工 事 名		錦町1号公園整備工事					
図 面 名		機械設備工事特記仕様書（1）					
図面番号		M01/		図面作成		令和 8年 4月 日	
課長		補佐		係長		設計	
課 園 公 道 部 整 備 市 都 市 市 府							

Construction specification form for mechanical equipment. It includes sections for general conditions, materials, and specific equipment details like air conditioning, ventilation, and plumbing. The form is organized into columns for different types of equipment and their associated specifications.



平面詳細図

凡例

種別	記号	備考
冷媒配管	R	断熱材被覆銅管 (液管+ガス管)
ドレン配管	D	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

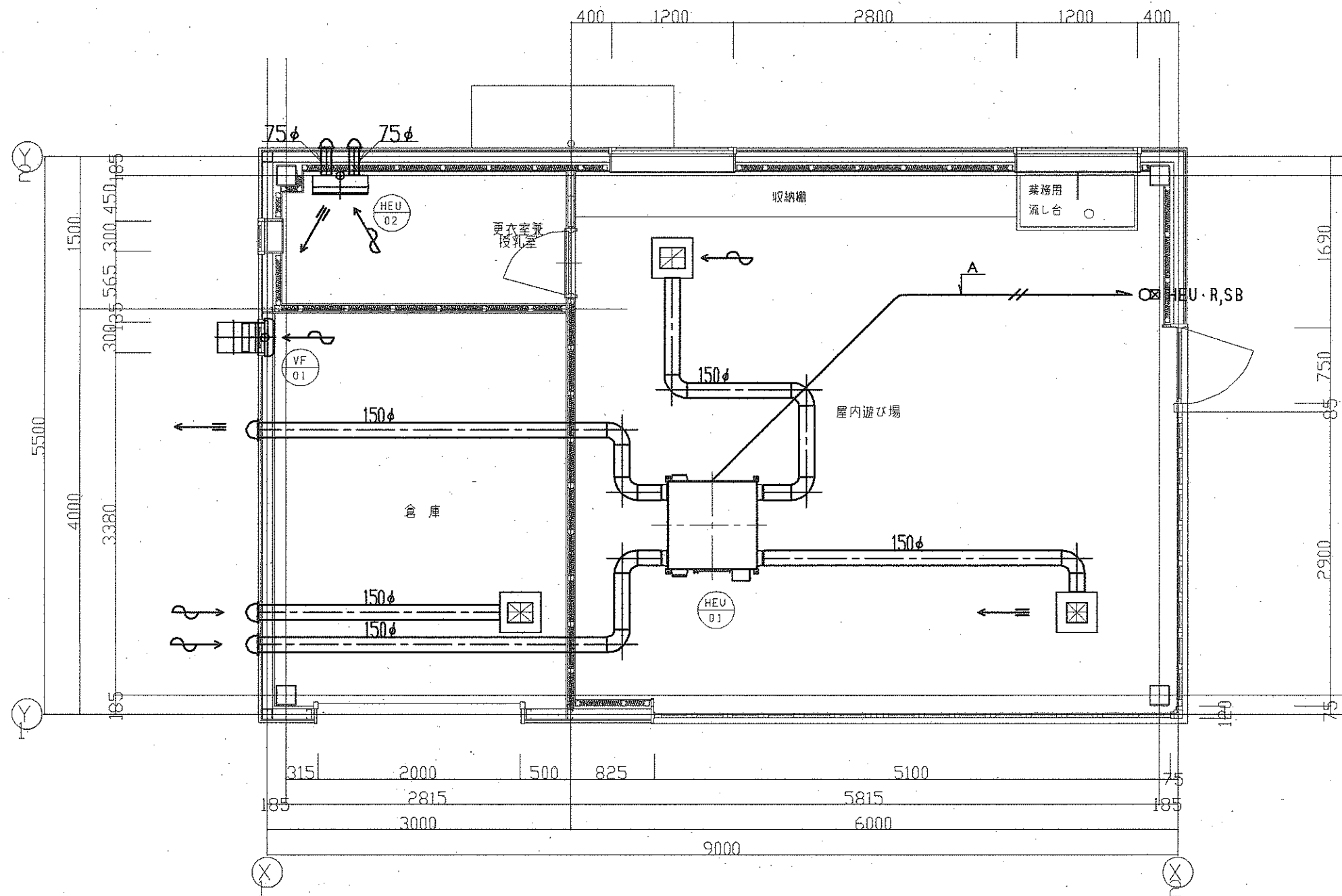
記号	液管	ガス管	備考
①	6.4	9.5	EEF2.0-30 (共巻)
②	9.5	15.9	EEF2.0-30 (共巻)

※特記無き配管は露出配管とする。

記号	備考
○ACP・R	エアコン用リモコン (本体付属品)
■SB	スイッチボックス (露出型)

記号	配管名称	配管配線サイズ (参考)	備考
A	リモコン配線	CEE1.25-2C (コロガシ)	壁立下げ部はPF22

工事名	錦町1号公園整備工事		
図面名	休憩所棟 空調設備平面詳細図		
図面番号	M04/	図面作成	令和 8年 4月 日
課長	補佐	係長	設計
蕨市都市整備部道路公園課			



吹出口	VH (アルミ)
200x200	
Q=300m ³ /h	1
屋内遊び場	
BOX 400x400x400H	

吸込口	GV (アルミ)
250x200	
Q=300m ³ /h	1
屋内遊び場	
BOX 400x400x400H	

吹出口	VH (アルミ)
200x200	
Q=150m ³ /h	1
倉庫 (自然給気)	
BOX 400x400x400H	

凡例

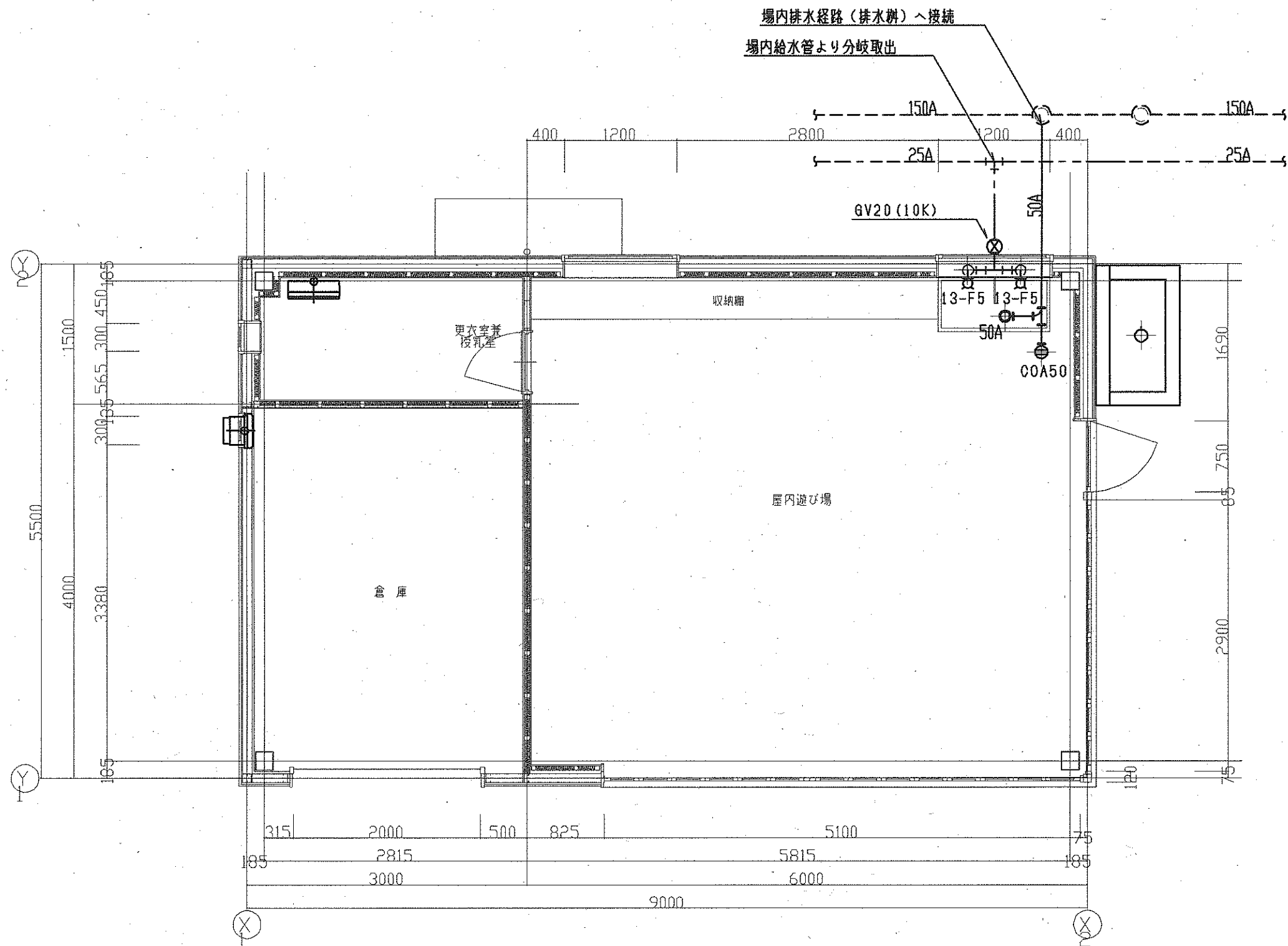
垂鉛線板取ダクト	
----------	--

記号	備考
○HEU・R	エアコン用リモコン (本体付属品)
■SB	スイッチボックス (露出型)

記号	配管名称	配管配線サイズ (参考)	備考
A	リモコン配線	CEE1.25-2C (コロガシ)	壁内立下付部はPF22

平面詳細図

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	休憩所棟 換気設備平面詳細図				
図面番号	M05/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長	
設計					
蔵市都市整備部道路公園課					



凡例

種別	記号	備考
給水管	— — — —	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H1VP
排水管	— — — —	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡断熱管 (RF-VP)

平面詳細図

工事名	錦町1号公園整備工事				
図面名	休憩所棟 給排水設備平面詳細図				
図面番号	M06/	図面作成	令和 8年 4月 日		
課長		補佐		係長	設計
蔵市都市整備部道路公園課					